

静岡県立美術館

第三者評価委員会評価報告書

平成 30 年 3 月

静岡県立美術館第三者評価委員会

目次

はじめに	1
------------	---

【報告編】

1 静岡県立美術館第三者評価委員会について	2
2 平成 28 年度 静岡県立美術館第三者評価委員会評価総括表	5
2-1 基本方針別自己評価	7

【資料編】

1 展覧会に関する自己点検評価表（平成 28 年度）	11
2 調査・研究に関する自己点検評価報告書（平成 28 年度）	17
3 定性評価の状況（平成 28 年度）	28
4 静岡県立美術館評価業務 報告書（平成 28 年 3 月）	37
5 平成 28 年度第三者評価委員会での意見と対応状況	134
6 平成 28 年度設置者の取組状況	137

はじめに

本委員会は、評価を通じて静岡県立美術館の自律的かつ継続的な運営改善を推進することを目的として、平成 18 年 9 月に発足しました。

本委員会の使命は三つあります。第一は、県立美術館が自ら行う自己評価（一次評価）に対して、外部の視点から二次評価することです。第二には、美術館に対する県庁（本庁）の支援体制を委員会が独自の視点に立って評価することです。第三は、美術館の運営及び評価の方法について、次年度の改善に向けた提言をすることです。

本年度の活動としては、平成 29 年 11 月に第三者評価委員会を開催し、平成 28 年度の美術館自己評価に対する二次評価、設置者の取組に対する意見、今後の改善課題について討議しました。この報告書はその結果に基づき作成したものです。

本報告書が県庁と県立美術館のますますの発展と充実に資することを願います。

平成 30 年 3 月

静岡県立美術館第三者評価委員会

委員長 村田 眞宏

1 静岡県立美術館第三者評価委員会について

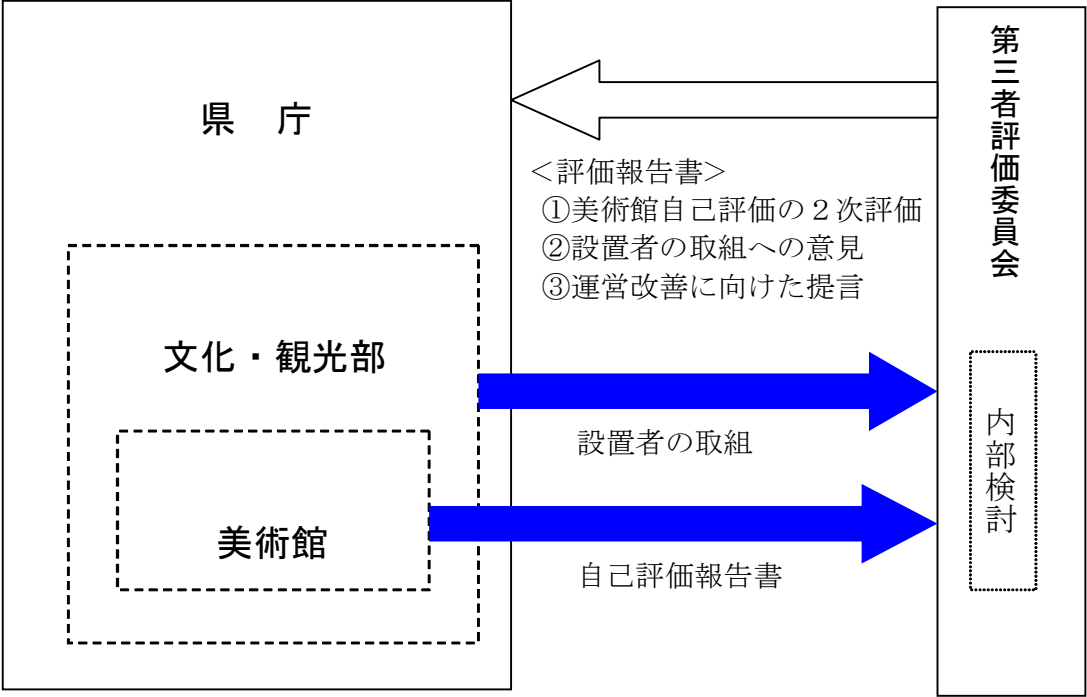
静岡県立美術館第三者評価委員会委員名簿（敬称略、五十音順）

	候補者	役職
委員長	むらた まさひろ 村田 眞宏	豊田市美術館館長
委員	かみやま まり 神山 眞理	日本大学教授
〃	きんばら ひろゆき 金原 宏行	一般財団法人名都美術館理事
〃	たなか ひらき 田中 啓	静岡文化芸術大学教授
〃	さくらい とおる 櫻井 透	公益財団法人静岡県産業振興財団理事長
〃	やまぐち ゆみ 山口 裕美	株式会社 YY ARTS 代表

平成 28 年度の活動

会議名等	内容等
第 1 回第三者評価委員会	日時：平成 29 年 11 月 28 日（火）13:30～16:30 会場：静岡県立美術館 講座室ほか 内容：（1）平成 28 年度の取組に対する評価 （2）企画展視察

評価システム全体図（第三者評価委員会の位置付け）



静岡県立美術館第三者評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 静岡県立美術館（以下「美術館」という。）では、より良いサービスの提供を図るため、事業の運営等の効果について、多面的かつ客観的な測定・評価を行う自己評価活動を実施しているが、美術館の自律的かつ継続的な運営改善を推進するため、美術館の自己評価及び県庁の支援体制等を第三者の視点から評価する「静岡県立美術館第三者評価委員会」（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所管する。

- (1) 美術館の自己評価に対する2次評価
- (2) 県庁の支援体制等に関する評価
- (3) 評価結果の報告及びそれに基づく美術館の運営改善に向けた提言
- (4) その他、この委員会の目的達成に関すること

(委員)

第3条 委員は、知事が委嘱する。

2 委員の人数は、10名以内とする。

3 委員の任期は2年とする。ただし、その委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長1人を置く。

2 委員長は、知事が指名する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は公開とし、その傍聴に関して必要な事項は、別に定める。

3 委員会は、必要に応じて個別課題検討のための分科会を置くことができる。

4 委員会及び分科会には、委員以外の者に出席を求めることができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務を処理するため、事務局を静岡県文化・観光部文化政策課内に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成18年9月21日から施行する。

2 この要綱の施行の日に委嘱する委員の任期は、第3条第3項の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

(最終改正 平成23年6月17日)

2 平成28年度 静岡県立美術館第三者評価委員会評価総括表

【使命】＝美術館のめざす姿 静岡県立美術館は、創造的で多様性に富んだ社会を実現していくために存在します。そのためにコレクションを基盤として人々が美術と出会い新たな価値を見出す体験の場をより多く提供するとともに、地域をパートナーと考える経営を行い、日本の新しい公立美術館となります。

基本方針	計画(P)			実施状況(D)		評価(C)		
	重点目標	評価指標	目標	実績	自己評価	第三者評価		
A 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します	1 県民の視点に立ち「静岡らしさ」を表現できるよう、文化資源を十分活用した展覧会事業を展開します	1 展覧会の来館者数(人)	135,000 人	154,243 人	【成果】 ・開館以来30年かけて収集してきたコレクションを活かした「東西の絶景」は、予想を超える3万人の入館者数を記録し、当館の「コレクション力」を発揮するものとなった。 ・親子向けに現代美術コレクションを分かりやすく紹介する当館では初めての企画「美術館へ行こう!」は、これまで、あまり例のない親子向けイベントとして、新たな顧客層を開拓した。 ・芳賀前館長(現名誉館長)の長年の研究成果と学芸員の研究とを合わせた「徳川の平和」は、江戸美術の優品を展示し、その内容が充実したものとなった。 ・他の美術館と連携し学芸員の研究成果を活かした「再発見! ニッポンの立体」は、これまでない新しい切り口で日本の立体表現の面白さを紹介できた。 ・「蜷川実花展」は、作家本人によるPRが成功し、比較的若い層が来館した。SNSを通じた広報が効果を発揮した。 ・収蔵品展、移動美術展についても、当館コレクションを展示し、普及する機会となった。 ・展覧会の内容を評価する研究活動評価では、一定の成果を評価され、また来館者による満足度も、88.4%という高い評価を得ている。 【課題】 ・「展覧会における新規来館者の割合」は、目標に達することができなかった。「美術館へ行こう!」「蜷川実花展」など、新たな顧客層の開拓に努めたが、今後もこうした取組を継続する必要がある。 ・マスコミ等と共催する大型の企画展の開催が難しい現状の中で、学芸員の研究にもとづく、コレクションを活かした企画展のあり方の方向性を検討していく必要がある。 ・作品の収集については、寄贈に依拠している現状であるが、今後のコレクション活用を図るためにも、必要な購入予算の確保が課題である。	4 回	4 回	【成果】 ・寄贈だけでは必ずしも館が欲しい作品が入手できないため、作品購入を館の方針として前面に考えていくべきである。(神山13) ・コレクションの形成においては、購入がしっかりとできたうえで、寄贈を含めた形でコレクションを作っていかなければならない(村田14) ・「東西の絶景」展や「美術館に行こう!」展の集客において成果を収めた手法を、他の展覧会にも活用していくべきである(村田18) ・「東西の絶景」展については、普段の常設展ではあまりコレクションが見られないなかで名品をまとめて紹介したため、来館者が集まったのではないかと(村田24) ・「蜷川実花展」の来館者数が目標を上回っていることは現代アートに人気が集まっている表ではないか。(山口29) ・近い将来、新聞社等と共催する文明展のような展覧会は開催が難しくなってくると思われるため、集客を考慮して2、3年先を見越した展覧会の準備をすべきである。(金原30)
		2 自主企画・企画参加型の展覧会の回数(回)	4 回	4 回				
		3 作品やテーマに興味を持った人の割合(%)	88.0 %	88.4 %				
		4 展覧会における新規来館者の割合(%)	20.0 %	19.0 %				
		5 収蔵品展の観覧者数(人)	12,000 人	7,932 人				
		6 収蔵品の公開件数(件)	500 件	357 件				
		7 展覧会に対する外部評価【定性】	—	別添				
	2 他の美術館・大学・地域の専門機関と連携し、新たな公立美術館の姿を示します	8 内部セミナー・研究会・研修の回数(回)	14 回	10 回				
		9 他の美術館や大学と連携した取り組み件数(回)	5 回	5 回				
		10 公開・貸し出した展覧会における学芸員のレポート【定性】	—	別添				
	3 調査研究を美術館活動の基盤と考え、成果を広く公表することで質の向上を図ります	11 調査研究の発表回数(回)	15 回	10 回				
		12 作品購入件数・価格(件・千円)	— 千円	2 件 3,000 千円				
		13 作品寄贈件数・価格(件・千円)	10 件	38 件 97,670 千円				
		14 調査研究に関する外部評価【定性】	—	別添				
B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します	1 美術館の役割を明確にし、業務の再構築等を図るとともに、学校・県民のニーズを先取りするプログラムを開発、普及します	15 学校教育と連携した取り組み数(件)	300 件	208 件	【成果】 ・教育普及プログラムの実施件数は、208件、利用者数は、34,024人で、いずれのプログラムも利用者の満足度は高い。 ・鑑賞教育についての専門的知識を求められ、それを活用する機会が増えてきたことは、大きな成果である。 ・開館30周年記念展にあわせて講義系プログラムの充実を図ったことから、特別講演会、フロアレクチャー等のプログラム数及び参加者数が大きく増加した。 ・草薙の街づくりに積極的に参加し、JR草薙駅南口を「県大・美術館口」と命名するなど、静岡県立美術館の存在感をPRすることに貢献した。 【課題】 ・学校現場の実態に即して、当館コレクションを活用したプログラムを開発することが課題である。 ・今後も、草薙の街づくりに積極的に参加し、美術館を核とした地域連携に取り組んでいく必要がある。	・学芸員を地元企業に派遣し、新入社員教育の一環としてアートに関する講義を行うことにより、企業との連携を深めてはどうか。(櫻井16) ・県庁の広報担当に協力を得ながら、商工会議所や経営者協会と接触しニーズの把握に努めれば、様々なアイデアが生まれてくるのではないかと(櫻井16) ・文化政策学科を持つ静岡文化芸術大学の学生を、普及活動の担い手として組み込んでどうか(櫻井18) ・展覧会の特設サイトの作成や運用を学生に任せ、大学のゼミ等で単位認定することはできないかと(村田19) ・孤独になりがちな留学生に声を掛け、広報活動に参加してもらったらどうか(山口19)		
		16 鑑賞系プログラム数(件)	20 件	24 件				
		17 コレクションを活用したプログラム数(件)	20 件	22 件				
		18 普及・教育プログラムに関する美術館職員のレポート【定性】	—	別添				
	2 静岡県立美術館の活動をアピールする普及事業を開催します	19 講演会等の開催件数(回)	160 回	178 回				
		20 学芸員のフロアレクチャー等の数(回)	120 回	118 回				
	3 地域住民、企業、友の会、ボランティア等との連携を深化させ、美術館を核とした地域づくりに努めます	21 地域住民等と連携した取り組み数(件)	6 件	6 件				
		22 館内空間を生かした催事の件数・参加者数(件・人)	90 件 5,000 人	85 件 6,735 人				
		23 地域空間、住民等と連携した取組に関する職員レポート【定性】	—	別添				

C さらに積極的な 広報を工夫し、 美術館活動の 情報発信に努 めます	1	県民が「静岡県の 誇りと自慢できる 美術館」を目指 し、様々な戦略的 広報を発信してい きます	24	美術館に関する情報が「入手しやすい」と する人の割合(%)	70.0	%	75.2	%	【成果】 ・フェイスブック、インスタグラム等、SNSを活用した情報発 信を試みたことにより、美術館に関する情報が「入手しやす い」とする人の割合は、目標の70.0%を超え、75.2%となっ た。 ・スマートフォンにも対応した、見やすく分かりやすいホーム ページにするため、デザインや機能を一新したことで、スマ ートフォンからのアクセス件数が増加した。 ・「有度山フレンドシップ協定」をはじめとして、地域と連携し たPRに取り組むなど、草薙地域との連携に積極的に組み 込み成果を得た。 ・「ロダンウィーク」の充実による集客数の大幅な増加によ り、「ロダン館の入場者数」も増加した。	・SNSの情報発信については、美術館の職員以外のボラン ティアや、アートマネジメントを学ぶ学生等の若い世代に依 頼してはどうか。(山口14) ・県立美術館周辺の回遊者に対して、スタンプラリーを活用 するのは有効ではないか(山口20) ・ロダンウィークの期間中はロダン館の観覧料を無料にし てはどうか(村田21) ・ロダン館の展示内容が変化しているということを周知すれ ば来館者も増えるのではないか(金原22)
			25	ホームページのアクセス件数(件)	600,000	件	315,000	件		
			26	ホームページの満足度(%)	75.0	%	72.2	%		
2	観光業界等と連 携した新たな広報 手段を開拓し、県 立美術館の魅力 を積極的に広報し ます	27	観光業界や他のイベントとの広報連携の取 組数(件)	7	件	13	件			
			28	広報手法における新たな取組状況に関し ての美術館職員のレポート【定性】	—		別添			
3	ロダン館、富士山 絵画を「静岡県立 美術館の顔」とし てその魅力を発 信していきます	29	ロダン館の入場者数(人)	80,000	人	85,046	人	【課題】 ・新しいホームページに様々な不具合が生じており、今後 の修正・改善が課題である。 ・ホームページのアクセス件数については、例年30万件前 後で推移しており、適切な目標値の設定が課題である。 ・観光ルートマップの今後の活用、ホームページのリニュー アル後の活用効果など、様々な媒体の効果的活用が課題 である。 ・イベントによる来館者増加にともなう当日の誘導や駐車場 対策が課題である。		
D 常に施設の改 善に努め、美術 館の快適度を高 めていきます	1	お客様の満足度 を高める施設を目 指し、環境整備に 努め、利便性を高 めます	30	美術館利用者数(人)	254,800	人	316,223	人	【成果】 ・美術館利用者総数は、316,223人であり、目標の254,800 人を大きく上回り、県民をはじめとする利用者の多くの皆様 にご利用いただいた。 ・改修工事を実施し、施設・設備の維持管理に努めるととも に、屋外の園地管理については、良好な環境を保つことが できた。 ・レストラン・カフェ、ミュージアムショップについては、メ ニュー数や値段で、やや不満の意見が見られるが、概ね利 用者から好評を得ている。 【課題】 ・開館30年を過ぎ、施設の不具合が目立ち、中長期的な視 野を見据えた改修計画が必要である。 ・来館者のアクセス満足度が目標値に達することができな かった。駐車場のキャパシティについては、今後の検討課 題である。 ・レストラン・カフェについては、新しい業者にメニュー及び サービスの充実を促していく必要がある。 ・県民をはじめとする利用者、美術品の安全・安心につい て、幅広い視点から施設の改修等の検討をしていく必要が ある。	・ただ照明をLED化するのではなく、20年、30年先を考え、 詳細な制御ができる機器に更新すべきである。(櫻井23) ・企画展展示室から収蔵品展の展示室に入る際、収蔵品展 の会場に入ったということが分かりにくい。(神山24) ・収蔵品展会場が限られているため、コレクションの根幹の 部分がほとんど見られない(村田24) ・コレクションを展示するスペースが普段十分に確保されて いないということは、本来の美術館の機能の一部が大きく欠 けている状態で運営しているということである。(村田25) ・8割の来館者が自家用車を利用しているということから、 駐車場を確保することは大きな問題である。(金原26)
			31	来館者のアクセス満足度(%)※再掲 ※上段：公共交通機関利用、下段：自家用 車利用	80.0	%	77.5	%		
			32	レストラン・カフェに対する満足度(%)	80.0	%	76.7	%		
			33	ミュージアムショップに対する満足度(%)	85.0	%	92.9	%		
	2	施設再始動検討 を始め、より県民 に愛される美術館 を目指します	34	鑑賞環境に対する満足度(%)	90.0	%	90.5	%		
			3	作品やテーマに興味を持った人の割合 (%)※再掲	88.0	%	88.4	%		
			21	地域住民等と連携した取り組み数(件)※ 再掲	6	件	6	件		
			30	美術館利用者数(人)※再掲	254,800	人	316,223	人		
			32	レストラン・カフェに対する満足度(%)※再 掲	80.0	%	76.7	%		
			33	ミュージアムショップに対する満足度(%) ※再掲	85.0	%	92.9	%		

	取組の状況	第三者評価委員意見
設置者の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館企画展等の広報において、報道機関への情報提供や他県への周知等を行い協力した。 ・県立美術館、グランシップ、SPACの三館が連携して、今後の企画事業等を共同で実施するよう、推進役として三館の協議の場を設けた。 ・月1回開催されている美術館企画運営会議に文化政策課長が出席して情報共有を図った。 ・美術館の広報委員会に担当職員が出席し、「県民だより」等の広報媒体の情報共有を図った。 ・美術館内の施設設備担当者打合せに職員が出席し、工事の執行管理等における助言を行った。 ・経年化に伴い不具合が生じている電気、機械設備の更新を計画的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の移転は美術館の将来を大きく決定するものである。美術館と設置者の間でコミュニケーションを取り、次の美術館活動が展開できるハードの確保に取り組んでほしい。(村田26) ・静岡県全体を考えた取組を行政側も行うべきである。(神山28) ・本評価委員会は、少なくとも第1四半期が終わる辺りまでに開催し、その結果を今年度の事業に反映する程度のスピードで行うべきである。(櫻井29) ・29年度予算における、固定費も含めた一律2割削減のシーリングは非現実的であり、知恵を出して財政当局と交渉すべきである。(櫻井32)

2-1基本方針別自己評価
基本方針A

基本方針	A 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します
------	--

計画(P)			実施状況(D) H29.3.31現在		評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	特記事項	自己評価
1 県民の視点に立ち「静岡らしさ」を表現できるよう、文化資源を十分活用した展覧会事業を展開します	1 展覧会の来館者数(人)	135,000 人	154,243 人	◆は、自主企画・企画参加型展覧会。 ※収蔵品の公開件数は、 ・収蔵品展(7室+名品コーナー) <136件> ・企画展「東西の絶景」<107件> ・企画展「美術館へ行こう」<14件> ・企画展「徳川の平和」<9件> ・他館への貸出件数 <91件> を合計したものである。	【成果】 ・開館30周年の記念展として、春には収蔵品を活用した「東西の絶景」展を、秋には芳賀前館長の提案による「徳川の平和」展、夏休みには家族で楽しめる「美術館へいこう」展、そして、若い女性に人気のある蜷川実花の展覧会に、「再発見！ニッポンの立体」展と、多種多様な展覧会を揃えることができた。 ・それぞれの展覧会で、観覧者の高い満足度を獲得し、結果として目標以上の観客動員総数を達成できた。また、展覧会ごとに想定する観客層が微妙に違っていたことも、動員数の確保につながったと思われる。 ・「蜷川実花展」は、実行委員会を組んでいただいた静岡朝日テレビの広報戦略に助けられ、予想以上の観覧者を得た。 【課題】 ・三館の学芸員の研究成果をふまえた「再発見！ニッポンの立体」展の観客動員数が伸び悩んだ。こうした、今までにない、新しい切り口の展覧会企画の広報の方法を開拓することが課題である。 ・今年度は若冲ブームの影響が当館の「樹花鳥獣図屏風」にもおよび、動員につながった一方で、陳列替えに対するクレームも多く頂いた。文化財を将来へ伝えていくために必要な措置への理解が得られるよう、丁寧な説明が求められている。 ・館内写真撮影可とする美術館、博物館がふえつつあるなかで、観覧者サービスとしての、収蔵品の写真撮影の可否について、より丁寧な説明と対応が求められている。 ・大手のマスコミが共催者となって行う展覧会企画の価格の高騰により、当館での開催が不可能になっているとともに、県内のマスコミからの資金的な助力も得にくくなってきており、これまで当館が継続してきたような、企画展中心の展覧会構成がむずかしくなっている。今後の展覧会の組み立ては、動員数目標の設定や、予算ともからみ、美術館事業全体に関わる大きな課題である。
	◆開館30周年記念「東西の絶景」(61日間)	20,000 人	30,299 人		
	◆美術館へ行こう! (53日間)	20,000 人	25,030 人		
	◆開館30周年記念「徳川の平和」(41日間)	21,000 人	26,442 人		
	◆再発見 ニッポンの立体(14日間)	16,000 人	8,783 人		
	蜷川実花展(47日間)	38,000 人	48,012 人		
	収蔵品展	15,000 人	7,932 人		
	移動美術展	5,000 人	7,745 人		
	2 自主企画・企画参加型の展覧会の回数(回)	4 回	4 回		
	3 作品やテーマに興味を持った人の割合(%)	88.0 %	88.4 %		
	4 展覧会における新規来館者の割合(%)	20.0 %	19.0 %		
	5 収蔵品展の観覧者数(人)	15,000 人	7,932 人		
	6 収蔵品の公開件数(件)	500 件	357 件		
	7 展覧会に対する外部評価【定性】	—	別添		
2 他の美術館・大学・地域の専門機関と連携し、新たな公立美術館の姿を示します	8 内部セミナー・研究会・研修の回数(回)	14 回	10 回		
	9 他の美術館や大学と連携した取り組み件数(回)	5 回	5 回		
	10 公開・貸し出した展覧会における学芸員のレポート【定性】	—	別添		
3 調査研究を美術館活動の基盤と考え、成果を広く公表することで質の向上を図ります	11 調査研究の発表回数(回)	15 回	10 回		
	12 作品購入件数・価格(件・千円)	— 件 千円	2 件 3,000 千円		
	13 作品寄贈件数・価格(件・千円)	10 件	38 件 97,670 千円		
	14 調査研究に関する外部評価【定性】	—	別添		

2-1 基本方針別自己評価
基本方針B

基本方針	B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します
------	--------------------------------------

計画(P)			実施状況(D) H29.3.31現在		評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	特記事項	自己評価
1 美術館の役割を明確にし、業務の再構築等を図るとともに、学校・県民のニーズを先取りするプログラムを開発、普及します	15 学校教育と連携した取り組み数	300 件	208 件	※プログラムの内訳は、別紙。 ・学校向け事業では「粘土・絵の具教室」「粘土貸出」などの図画工作科指導要領上の「造形遊び」分野への需要が高い。 ・学校向け「粘土・絵の具教室」、一般向け「粘土・絵の具開放日」利用者が、展示室観覧へつながるよう、企画や広報の方法を工夫している。 ・一般向けプログラムでは、企画展や収蔵品展の内容とかわりをもたせることで、参加者にとって満足度が高いワークショップを展開できた。 ・平成27年度より、当館作成のアートカード貸出事業を運用開始。	【成果】 ・8月に当館で行われた静岡県教育研究会図工・美術部の夏季研究大会において「学校教育と美術館」の題目で講演を行い、県全体から参加した小中学校の先生方に対して、美術館の活動紹介と鑑賞教育についての考え方を伝えることができた。 ・今までの出張授業は、内容に関しては美術館にお任せという形が多かったが、平成28年度では学校側と内容検討の上、行う出張授業も増え、その他にも鑑賞題材の授業案検討の協力要請など、鑑賞教育分野での専門的知識を求められる需要が増え始めている。 ・平成26年度から、当館のアートカードを教員研修等で紹介をし、平成27年度から貸し出しを行っている。学校の先生方への認知度も高くなり、貸出数も増加した。 【課題】 ・鑑賞系プログラムの利用回数が微減し、非鑑賞系プログラム「美術館の秘密を探れ」の利用が増加。学校の多忙化により、図工・美術科の授業としての来館が困難な状態であることと推測される。指導要領の改定により、その傾向は強まると予測される。 ・大規模校の団体観覧時の鑑賞プログラムが「ボランティアとの鑑賞」しか現状はない状態。現行の鑑賞プログラムは1クラス40人上限を対象に考案されたプログラムがほとんどだが、当館のコレクションを活用した新たな鑑賞系プログラム開発も検討する必要がある。
	16 鑑賞系プログラム数	20 件	24 件		
	17 コレクションを活用したプログラム数	20 件	22 件		
	18 普及・教育プログラムに関する美術館職員のレポート【定性】	—	別添		
2 静岡県立美術館の活動をアピールする普及事業を開催します	19 講演会等の開催件数	160 回	178 回	※数値内訳 No.20＝学芸員による美術講座(4回)+鑑賞講座(4回)+フロアレクチャー(43回)+オリエンテーション(49回)+出張美術講座(18回) No.19＝上記+特別講演会・シンポジウム(13回)+ボランティア等によるギャラリーツアー(47回)	【成果】 ・開催件数はおおむね目標に近い実績数値となった。 ・参加者数を前年度と比較すると、特別講演会・27年度780名→28年度1,906名、フロアレクチャー27年度952名→28年度1,262名など、大幅な増加がみられた。 ・上述の実績については、開館30周年の記念展にあわせて講義系プログラムの充実を図ったことが寄与したと考えられる。『東西の絶景』展における「学芸員のこの1点」、「学芸員によるフロアレクチャー」(計16回507人)、『徳川の平和』展における「連続講演会」(全9回1486人)等、プログラムの工夫が功を奏した。 【課題】 ・引き続き、展覧会の内容に即しつつ利用者のニーズに適応したプログラムを工夫する。加えて、多彩な形式による講座や講演会のあり方を検討・試行する。
	20 学芸員のフロアレクチャー等の数	120 回	118 回		
3 地域住民、企業、友の会、ボランティア等との連携を深化させ、美術館を核とした地域づくりに努めます	21 地域住民等と連携した取り組み数	6 件	6 件	・地域住民と連携した取組に関する詳細は、【定性レポート】を参照。 ・館内空間を生かした催事については、本館エントランスを使用した「ちょこっと体験」、「ドット若冲」の展示、「めぐりアート」の展示、ロダン館ギャラリートークを実施した。	【成果】 ・地域住民と連携した取組としては、草薙駅周辺まちづくり検討会議に参加し、草薙駅周辺のランドデザイン策定に協力するとともに、JR草薙駅南口を「県大・美術館口」と命名した。 ・草薙商店会企画の「まちゼミ」に参加し、県大・県立図書館・美術館を紹介する「文化の丘めぐりツアー」を開催した。 ・ムセイオン静岡、静岡大学、静岡県立大学等との共同事業も引き続き実施した。 ・館内空間を生かした催事は、ちょこっと体験3,152人、みんなでドット若冲34人、めぐりアート3,000人、ギャラリーツアー549人の参加者があり、目標数値を超える成果を得た。 【課題】 ・地域住民と連携した取組については、美術館を核とした地域づくりに努め、様々な取組を定着させるべく努力していくことが課題である。 ・ロダン館内部空間を利用した催事では、他の観覧客が観覧制限を受けたり、普段生じない騒音が発生したりするため苦情が発生するケースがある。催事と観覧客の調整が重要課題となる。
	22 館内空間を生かした催事の件数・参加者数	90 件 5,000 人	85 件 6,735 人		
	23 地域住民等と連携した取組に関する職員レポート【定性】	—	別添		

2-1基本方針別自己評価
基本方針C

基本方針	C さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます
------	---------------------------------

計画(P)			実施状況(D) H29.3.31現在		評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	特記事項	自己評価
1 県民が「静岡県の誇りと自慢できる美術館」を目指し、様々な戦略的広報を発信していきます	24 美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合	70.0 %	75.2 %	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会・イベントについての情報や来館案内をホームページに掲載。 ・フェイスブック、インスタグラムなどのSNSやブログも活用しており、随時、情報発信を行った。 ・開館30周年を機にホームページの全面的なリニューアルを行った。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蜷川実花展ではInstagramを意識し、写真撮影可のエリアを設けたところ、同展だけで約2,000件の展示室内写真が投稿され、情報を効果的に拡散できた。 ・リニューアルしたホームページを平成29年3月30日に公開した。デザインや階層を一新し、視認性・操作性を高めるとともに、レスポンス・ウェブ・デザインを導入することでスマートフォンにおいても最適化された表示が可能になった。平成29年4月現在、アクセス数の半数以上はスマートフォンからであることが判明しており、一般利用者にとっても利便性の向上につながっていると見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度ということもあり、リニューアルしたホームページに、いくつかの小さな不具合が生じており、これをできるだけ早い時期に改善していく必要がある。 ・今回は予算の都合上、作品紹介ページやロダン館ページは従来のものをそのまま転用せざるを得なかった。今後はこれらについてもリニューアルを検討したい。
	25 ホームページのアクセス件数	600,000 件	315,000 件		
	26 ホームページの満足度	75.0 %	75.2 %		
2 観光業界等と連携した新たな広報手段を開拓し、県立美術館の魅力を積極的に広報します	27 観光業界や他のイベントとの広報連携の取組数	7 件	13 件	<ul style="list-style-type: none"> ・観光業界や他のイベントとの広報連携の取組 「有度山フレンドシップ協定」 「草薙商店会等との協働」 「草薙駅周辺まちづくり検討会議」 「企画展における企業との連携」6件 「ムセイオン静岡」 「静岡大学主催のめぐりアート」 「JR東海さわやかウォーキング」 「テーマパークEXPO国際劇場産業展」 詳細は【定性レポート】を参照。 ・広報手法における新たな取組状況に関しての詳細は、【定性レポート】を参照。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業界や他のイベントとの広報連携については、「有度山フレンドシップ協定」参加施設による地域を一体とした誘客PR(大商談会)、草薙商店会との連携(つながるくさなぎフェス、マルシェ、まちゼミ)、JR東海の草薙駅新装に伴うまちづくり検討会議への参加等を行った(その成果については、今後、確認する必要がある)。 ・広報手法における新たな取組状況については、ホームページ、ポスター・チラシ、広報サポーター、Facebook等、様々な媒体を用いて積極的な広報を実施した。それにくわえて、展覧会ごとに、新たな広報に向けた会議やイベントの実施、チラシの配布、企業の協力要請など、様々な取組を実施し、積極的な広報を展開した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業界や他のイベントとの広報連携については、美術館単独では静岡県外の誘客を図ることが困難なため、「有度山フレンドシップ協定」参加施設では、各施設を巡る観光ルートマップの作成を進めており、ルートマップの商談会等での活用が課題である。 ・広報手法における新たな取組状況については、ホームページをリニューアルし情報の拡散を図った。今後効果を確認していきたい。
	28 広報手法における新たな取組状況に関しての美術館職員のレポート【定性】	—	別添		
3 ロダン館、富士山絵画を「静岡県立美術館の顔」としてその魅力を発信していきます	29 ロダン館の入場者数	80,000 人	85,046 人	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度から、地域や大学等と連携しロダン館を一層活性化させるための事業、「ロダンウィーク」を開催している。 平成28年度は、地域の若手アーティストによる作品展示、販売、ワークショップを行う「アートプラット」を新設するとともに、静岡ゆかりの作家を中心とした、今を生きるアートを紹介する「めぐりアート静岡」をロダン館及びエントランスで同時開催した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の「ロダンウィーク」集客数は、平成26年度の5,000人、平成27年度の6,600人に対し、今年度は9,400人と大幅に増加した。今後もロダン館を中心とした地域の賑わい創りを進めるとともに、平成29年度の「ロダン没後100年」を念頭にロダン館の情報発信を進めていく予定である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めぐりアート静岡」の継続開催によるロダンウィーク(特にマルシェの客)参加者の美術館内への誘導が課題である。 ・イベント開催が集中する日には、当日の駐車場対策が必要である(公共交通機関の利用促進、鉄道会社と連携した割引チケットの発行他)。 ・草薙周辺の「文教のまちづくり」と「ロダンウィーク」事業の連携が課題である。

2-1基本方針別自己評価
基本方針D

基本方針	D 常に施設の改善に努め、美術館の快適度を高めていきます
------	------------------------------

計画(P)			実施状況(D) H29.3.31現在		評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	特記事項	自己評価
1 お客様の満足度を高める施設を目指し、環境整備に努め、利便性を高めます	30 美術館利用者数	254,800 人	316,223 人	平成28年度は次の工事(小規模を除く)を行った。 ・県民ギャラリー照明LED化工事 ・本館高圧機器工事 ・本館照明用電灯盤工事 ・空調熱源機器(R-2)内高圧電気機器工事 ・展示室温湿度環境の改善等に向けた基本設計を実施した。平成29年度に実施設計を経て、工事に着手する計画である。 ・レストラン及びカフェは年度末に委託業者が代わり、29年度当初リニューアルオープンに向け内装工事等の施工を進めた。	【成果】 ・安心安全な環境づくりのため、特記事項に記したとおり電気設備に関する機器の更新を行ったほか、必要な改修工事等を実施し、良好な施設・設備の維持管理に努めた。 ・屋外の園地緑地環境についても、計画的な植栽・池の管理、プロムナードのベンチ改修、トイレ外壁清掃など、委託業者等と連携して良好な環境整備に努めた結果、来館者等からのクレームが減少した。 ・レストラン・カフェの満足度は昨年度の65.7%から今年度は76.7%に向上し、目標(70.0%)を上回った。レストランにおいては、企画展に合わせて特別料理(ミューゼスペシャリテ)を提供するなど、質の高いサービスを提供し、リピーターのお客様を中心に好評を得ている。 ・ミュージアムショップの満足度は92.9%で、昨年度の92.1%より向上し、目標(85.0%)を上回った。特に企画展に合わせた商品のレイアウトの工夫や、図録フェア(過去開催した企画展図録の廉価販売)を行い、お客様の満足度向上に努めた。 ・当館への利用交通機関で最も多いのは自家用車であり、アクセス満足度は77.5%と目標の80%には達しなかったが、来館者の多い企画展、ゴールデンウィークやイベント(ロダンウィーク)の際には、隣接する県立大学の職員駐車場を借用し、交通渋滞を招かないように誘導するなどの対応を行った。 【課題】 ・当館は開館から30年が経過し、経年劣化等により建築及び各設備に多くの不具合が生じている。このため中長期的には建築及び各設備の大規模改修(リニューアル)計画の具体化に向けて検討する必要がある。短期的には劣化診断結果等をもとに、リニューアル計画の検討状況を踏まえつつ、緊急度の高い施設・設備の修繕等を計画的に実施する。 ・自家用車・公共交通機関ともアクセス満足度は目標を下回った。自家用車利用者のアクセスについては、敷地内に無料の駐車場があるものの、収容台数が約400台と限られているために、週末などに利用者が集中してしまうと、近くの駐車場から順次満車になり、駐車できるまでに時間がかかってしまうという問題がある。 ・公共交通機関を利用される場合については、お客様からのアクセスに関する問合せに対して、「JR草薙駅から運行する100円バスを利用するのが便利であること」を引き続き周知するよう配慮しているものの、来館者の多い日曜、祝日の運行が1時間間隔(土曜のみ30分間隔)であることなどが影響していると考えられる。今後はバス会社への増便等の協力要請を含め対策を検討する必要がある。 ・レストラン・カフェの運営については次年度以降の委託業者を公募してリニューアルオープンする準備を進めた。新たに営業を委託する事業者においても、引き続き美術館レストランとして質の高いサービスの提供に努め、一層のお客様のニーズの把握に努めることが求められる。
	◆展覧会観覧者数	130,000 人	154,243 人		
	◆移動美術展	2,000 人	7,745 人		
	◆教育普及プログラム参加者数	23,800 人	34,024 人		
	◆ミュージアムコンサート入場者数	200 人	160 人		
	◆県民ギャラリー入場者数	40,000 人	42,386 人		
	◆講堂入場者数	8,000 人	8,743 人		
	◆レストラン・カフェ利用者数	30,000 人	34,867 人		
	◆ミュージアムショップ利用者数	20,000 人	33,012 人		
	◆図書閲覧室利用者数	800 人	1,043 人		
31 来館者のアクセス満足度 ※上段:公共交通機関利用 下段:自家用車利用	80.0 %	77.5 % 76.0 %			
32 レストラン・カフェに対する満足度	80.0 %	76.7 %			
33 ミュージアムショップに対する満足度	85.0 %	92.9 %			
2 施設再始動検討を始め、より県民に愛される美術館を目指します	34 鑑賞環境に対する満足度(%)	90.0 %	90.5 %	施設改善の詳細については、上記を参照。	【成果】 ・様々な取組を実施した結果、美術館利用者数は、31万人を超えることができ、「より県民の皆様にも愛される美術館」という重点目標に近づくことができた。 ・展覧会における「作品やテーマに興味を持った人の割合」及び「ミュージアムショップに対する満足度」は高く、利用者から、その内容を高く評価されている。 【課題】 ・レストラン・カフェの満足度については、目標に僅かに及ばなかったが、質・量ともに充実しており、新たな業者に対して、さらなる充実を促すことが必要である。
	3 作品やテーマに興味を持った人の割合(%)※再掲	88.0 %	88.4 %		
	21 地域住民等と連携した取り組み数(件)※再掲	6 件	6 件		
	30 美術館利用者数(人)※再掲	254,800 人	316,223 人		
	32 レストラン・カフェに対する満足度(%)※再掲	80.0 %	76.7 %		
	33 ミュージアムショップに対する満足度(%)※再掲	85.0 %	92.9 %		

【資料編】

展覧会に関する自己点検評価表（平成 28 年度）

- 1 「東西の絶景」展
- 2 「美術館に行こう！」展
- 3 「徳川の平和」展
- 4 「再発見！ニッポンの立体」展
- 5 「蜷川実花」展

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	開館30周年記念展「東西の絶景」 モネ、ゴッホ、若冲も、大観も。
------	----------------------------------

期 間	4月12日(土)～6月19日(日) (61日間)
場 所	静岡県立美術館第1～6展示室

担当者名	泰井良、浦澤倫太郎
------	-----------

学芸員の企画への参加の有無	有・無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	有・無
マスコミ等による共催の有無	有・無	巡回の有無	有・無

記入日	企画	2016年4月1日(金)
	実績	2016年7月6日(水)

企画		実績・検証	
目的・内容	<p>・静岡県立美術館は、平成28年度に開館30周年を迎える。これを記念して、風景画コレクションの優品を一室に展示する。</p> <p>・最初に、日本の室町時代以来の多彩な風景表現から、伊藤若冲など、多種多様な表現を紹介する。また、明治になると油彩画が日本に本格的に入ってくる。日本人画家たちは、西洋伝来の油彩画と格闘しながら、「日本人の油彩画」を作り出そうとした。その試みは、つづく西洋の近代絵画と比べると明らかになるであろう。最後に、現代社会や現代人の心の風景を映し出した作品を展示するとともに、美術館のバックヤードで続けている地道な研究や保存・修復活動の一端を紹介する。</p>	<p>【研究活動評価委員会からの意見(要約)】</p> <p>・風景画を収集の柱としてきた30年間の成果が一覧でき、優品を多く含む見ごたえのある展覧会であった。收藏品だけでストーリーのある展覧会を構成するのは困難が多いと思うが、本展は人と自然の関わりを16世紀以降の東西の優品で追うことができるまとまった展示となっており、東西の風景画という骨太の収集方針に従って、学芸員が風景画の展開の諸相を常に考えつつ相当の予算をもって収集を進めて来たことがうかがえる展覧会となっていた。コレクションの質の高さを改めて認識した。学芸員のこれまでの営為と努力の賜物と思う。(山梨委員)</p> <p>・美術館開館30周年記念ということもあり、全力投球(余力を残した)をしつつも、実にオーソドックスな展示ができたと思う。今回の展覧会は、静岡県立美術館の歴代館長、歴代学芸員諸氏が築き上げてきた館の運営方針、そしてそこに向けて傾注してきた努力の成果になっていると思う。(潮江委員)</p>	
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	<p>【ねらい】</p> <p>・30年かけて築いてきた当館の風景画コレクションから選りすぐりの作品をご覧いただくことにより、当館の魅力を県内及び全国に向けて発信する。</p> <p>・長期的な視点で、当館コレクションのファン層を開拓する。</p> <p>【ターゲット】</p> <p>・静岡県内の若年層からファミリー層に到るまでの幅広い層に対してコレクションの魅力を発信する。</p> <p>・また、首都圏への広報にも取り組む。</p>	<p>【アンケートにみる特徴】</p> <p>・男女いずれも50歳代及び60歳代の来館者が多い。</p> <p>・新規来館者の全体来館者に占める割合が、25.41%と比較的高い。</p> <p>・県外からの来館率14.5%は、相対的に高い。</p> <p>・来館要因としては、ポスターと新聞、当館ホームページを見てが多い。</p> <p>・自由回答欄における「生活における美術館の存在・位置づけ」については、「リフレッシュできる場所」、「心が潤う場所」など、ある種の「癒し」を求める回答が多かった。</p> <p>・「展覧会または当館へのご意見」欄では、「素晴らしい作品、コレクションである」という積極的な評価が見られる一方で、「解説を分かりやすくしてほしい」、「若冲をもっと観たかった」という要望もあった。</p>	
指標(数値目標)	観覧者数見込 20,000人	観覧者数 30,228人	
収支計画	<p>・歳出 8,911 円</p> <p>・歳入 5,734千円</p> <p>・特財率 64.3 %</p>	<p>・歳出 3,177千円</p> <p>・歳入 10,826 千円</p> <p>・特財率 316.3 %</p>	
広報戦略 主な取組	<p>・静岡新聞・静岡放送と連携し、県内への積極的な広報に努める。</p> <p>・様々な美術雑誌、媒体を通じて、当館コレクションの魅力を伝えるようにする。</p>	<p>・静岡新聞・静岡放送との連携により、県内への積極的な広報を行なったことで、「来館要因」では、全回答者185人中43人が「新聞を見て」と回答した。これは、新聞による広報に一定の効果があつたことを示している。</p> <p>・また、NHK静岡による連続番組で、当館コレクションを魅力を発信したことで、若冲が展示替となった後期展示においても、来館者数を一定に維持することができた。</p>	
自己評価 今後の課題	<p>・年度当初の来館者目標数20,000人を大きく超え、30,000人余の方にご覧いただけたことで、当館コレクションの持つ魅力を多くの方に伝えることができた。</p> <p>・研究評価活動委員の意見にもあるように、当館コレクションポリシーである「東西の風景画」の意義を示すことができた。</p> <p>・NHK静岡による連続番組放送というタイアップにより、本展及び当館コレクションの意義と魅力発信に大きく貢献することができた。</p> <p>・県外、首都圏に向けた広報にも一定の効果があつた。</p> <p>・後期展示に入り、若冲の展示替に関する告知が十分ではなく、「若冲を観たかったのに」との声を多くいただいた。周知を徹底することが、今後の課題である。</p> <p>・目標としていた若年層からファミリー層に向けた魅力発信については、数値を見る限り、十分に達成できたとは言いがたく、今後の課題である。</p> <p>・今後は、NHK静岡との連携を強め、当館及び当館コレクションの魅力を長期的に継続して発信していくことが課題である。</p> <p>※これについては、NHKからの提案で継続した番組企画を検討中である。</p>		

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	美術館に行こう! ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方
------	--------------------------------------

期 間	7月9日(土)～9月8日(木) (53日間)
場 所	静岡県立美術館 第1～6展示室

担当者名	石上充代
------	------

学芸員の企画への参加の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
マスコミ等による共催の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	巡回の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

記入日	企画	2016年5月30日(月)
	実績	2016年10月13日(木)

企画		実績・検証	
目的・内容	ディック・ブルーナの絵本『うさこちゃん びじゅつかんへい』は、両親と一緒に初めて美術館を訪れたうさこちゃんが、さまざまな作品と出会い、美術館を満喫するストーリーである。モダン・アートに造詣の深いブルーナが、絵本を通じてその楽しみ方を伝えようとしたものであり、本展は、この絵本を起点とし、絵本の内容に沿って当館の近現代美術コレクションを様々な切り口から紹介するものである。あわせて、ブルーナのイラスト、ペーパーバック、ポスターなどの仕事から、グラフィック・デザイナーとしての独創性と魅力に迫る。展示室内にはワークショップコーナーを設置し、ブルーナの制作方法の一端を簡単な手作業を通して体験してもらい、興味と理解を深める一助とする。	【研究活動評価委員会からの意見(要約)】 (評価対象外)	
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	【ねらい】 ミッフィーをガイド役とすることで、モダンアートをわかりやすく紹介し、コレクションの魅力を広く伝える。 小さな子供を含む普段美術館に来館しづらい層に来館機会を提供し、教育普及に力を入れる美術館の姿勢をアピールする。 【ターゲット】 ・幼児を含むファミリー層 ・主に県内在住者	【アンケートにみる特徴】 ・総合満足度は全体89.8%、新規来館者93.5%。おおむね当館の平均的な数値である。 ・スタッフの対応に満足した人の割合は全体87.7%、新規91.3%。小さな子どもが多く、作品保全のため監視スタッフによる声かけ機会も多いなかで高い満足度を示したことは、スタッフの努力や工夫の成果といえる。 ・来館のきっかけは、「ポスターを見て」29.3%(27平均17.2%)、「チラシを見て」25.0%(同8.7%)、「当館のHP・facebookを見て」20.4%(同13.8%)が上位となった。HP・facebookの数値の高さは来館者の年齢層を反映しているようだが、紙媒体での広報も使い次第では依然として有用であることが分かった。 ・複数名で来館した人のうち自分の子どもと来館した人の割合は全体44.8%、新規来館者51.2%。子どもと一緒に訪問できることが大人の新規来館の契機となったことがうかがえる。 (補足:展覧会日計表によると観覧者の割合は、未就学児12.8%、小・中学生18.2%であり、ねらい通り低年齢の子どもの来館契機となったことが分かる。アンケートにみる観覧者の年齢は12歳以下0.5%、13～19歳10.5%となっており、新規来館者の割合23.5%も実態とはズレがあると見るべきであろう。)	
指標(数値目標)	観覧者数見込 20,000人	観覧者数 25,030人	
収支計画	・歳出 12,580千円 ・歳入 8,072千円 ・特財率 64.2%	・歳出 11,386千円 ・歳入 8,539千円 ・特財率 75.0%	
広報戦略 主な取組	・共催者であるテレビ静岡と協力し、CM放送や情報番組での告知、イベント会場での広報などを行う。 ・通常の広報物のほか、幼稚園・保育園や小学校低学年向けのフライヤーを作成し、市内各園・各校に配布、ターゲット層への周知の徹底を図る。	・市内の幼稚園・保育園、小学校低学年に配布したフライヤーの回収数は507枚(回収率1.6%)。市内の認可外保育園や県内の児童館や子育て施設、図書館にポスター・チラシを配布する等ターゲットを明確にした集中的な広報活動が功を奏した。 ・テレビ静岡によるCM放映や情報番組での告知、イベント会場でのチラシや割引券の配布を行い、幅広い認知に繋がった。	
自己評価 今後の課題	・ミッフィーの絵本をきっかけに現代アートを展覧するという企画が秀逸であったうえに、当館の現代コレクションを最大限に活用した作品選択が功を奏して、子どもだけでなく大人にも充実した鑑賞体験を提供できた。展示内容は予想外だったが満足できたという趣旨のアンケート回答(自由記述)がいくつか見られた。コレクションの有効活用の一例となり、今後の参考になった。 ・親子または子どものためのフロアレクチャーは、予想を大幅に上回る参加者を得た(290人/4回)。小さな子どものいるファミリー層は、安心して出かけられる所が限られるだけに常にそういった場所を探しており、イベント情報にも敏感であると思われる。今後の参考としたい。 ・子どもとその家族を主な対象とする初めての企画展であるが、観覧者数やアンケート回答結果などから、好意的な反響があったといえる。また、子ども向けセルフガイドやワークショップコーナーでの創作活動においても、積極的な利用が見られた。安心安全で子どもにとって有意義な活動ができる訪問先として、県立美術館が期待されているとも考えられる。企画展仕立てに限らず様々な手段で、これらの層を意識した活動を今後も継続していきたい。		

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	徳川の平和(パクス・トクガワナー)—250年の美と叡智—
------	------------------------------

期 間	9月17日(土)～11月3日(木・祝) (41日間)
場 所	静岡県立美術館第1～6展示室

担当者名	野田麻美
------	------

学芸員の企画への参加の有無	有・無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	有 無
マスコミ等による共催の有無	有・無	巡回の有無	有 無

記入日	企画	2016年5月24(火)
	実績	2014年2月22日(水)

企画		実績・検証	
目的・内容	徳川家康没後400年という節目を契機に、徳川時代の平和な時代性に着目し、徳川の世に描かれた絵画の再評価を行う。狩野派・南画・洋風画、都市図や博物図譜など、あらゆる江戸絵画を包括的に紹介することによって、江戸絵画の豊かな美りとその広がりを見極める。	【研究活動評価委員会からの意見(要約)】 ・江戸時代250年を平和な時代と総括し、それを絵画作品によって通覧しようという試みは従来なく、独自の視点を評価したい。4つの章立てで、難しいテーマを要領良くまとめている。図版解説や論文も充実しているが、出品作品とテーマの関連性を説明する点で今一步努力が必要である(榎原委員)。 ・記念展に相応しく、江戸絵画を通覧できる内容で、章立てが分かり易く、作品が充実していた。研究不足な点もあるが、図録には江戸時代の名品を満遍なく網羅し、それを収めた点で、開館記念展(「東西の風景画」)と双璧とも言うべき内容となっている(金原委員)。	
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	【ねらい】 ・芳賀徹館長が長年にわたり江戸絵画を研究した成果を反映し、江戸絵画の豊かな世界を紹介する。 ・周年記念事業に相応しい大作や華やかな作品、話題作を全国各地から集め、質量共に満足度の高い展示内容とする。 ・有名作品と新出作品等をバランスよく紹介することで、江戸絵画をよく知る人も、これから知りたい人も楽しめるような、江戸絵画の魅力を分かりやすく伝える機会とする。 【ターゲット】 ・県内を中心とした中高年層 ・芸術のほか歴史に関心の高い人々 ・県内外の江戸絵画ファン	【アンケートにみる特徴】 ・年齢層はシニア層が多く来館した(50代19.7%、60代31.1%、70代17%。計67.8%)。新規来館者(約18%)は県外(関東・愛知が中心)からが多く、66.7%に上った。 ・展覧会に来たきっかけは新聞が多く(42.3%)、シニア層に向けた広告として、新聞が有効であることが改めて確認された。一方、県外からが多い新規来館者は、HPとfb(25.9%)、家族や知人の口コミ(34.5%)が新聞(16%)を大きく上回った。SNS、評判などが県外来館者の獲得につながる事が示されている。 ・年齢別では、10代がポスター(42.9%)、20～40代がHPとフェイスブック(34.8～44.1%)、50～60代が新聞(42～54%)をきっかけに来館しており、多岐にわたる広報活動の必要性を示唆している。 ・「心地よく鑑賞」が89.9%、総合満足度も87.9%と、メッセージが伝わりにくいテーマの展覧会としては良好な数字を獲得した。	
指標(数値目標)	観覧者数見込 21,000人	観覧者数26,442人	
収支計画	・歳出 20,126 円 ・歳入 10,801 千円 ・特財率 53.7 %	・歳出 17,973千円 ・歳入 16,759千円 ・特財率 93.2%	
広報戦略 主な取組	・JR東海に働きかけ、駅貼りポスターなどを大々的にする。展覧会名がやや難解で、内容がわかりづらいため、チラシ、ポスターなどにおいては、親しみやすく、名品が多数出る華やかな側面を全面的に打ち出し、美術ファンに幅広くアピールする。	・県内の人々は、静岡新聞での広告を見て来館した人が多かったことが予想される。 ・ポスター・チラシに特色インクを使用したこともあり、他館での掲示で目立っていたという意見があった。ポスターやチラシでは、分かりやすく、簡潔に内容を伝え、目立つデザインにしたことが、JRなどでの駅貼りポスターや他館でのポスター掲示における広告効果アップや反響につながったものと思われる。 ・リピーター割引制度を導入したが、利用者が後期展示ではおよそ1割に上り、高い効果があったと思われる。 ・担当だけでも15本以上のフロアレクチャーなどの解説会、講座、講演などを行い、リピーター割引や図録の宣伝を行った。地道な広報活動が、口コミや図録売上につながったと目される。	
自己評価 今後の課題	<p>・開館30周年記念展ということで、所蔵者のご協力により、数多くの名品を集めることができ、大規模な江戸絵画展となった。新出作品や展覧会初出品作をバランスよく織り交ぜることで、研究的にも内容のあるものを目指した。テーマが壮大で、組み立てることが大変難しい展覧会であったが、その成果や課題を、今後の当館の活動につながるものとする。</p> <p>・目標入館者数を大幅に上回り、特財率も当初の計画を40%程度上回る事ができ、一般来館者、美術館博物館などの関係機関、研究者の評判などは上々であったことから、ひとまず成功と見てよいと思う。</p> <p>・内容については、「徳川の平和」というタイトルや関連事業の内容が博物館的な展覧会を予想させるという意見があったため、(予想と違うという)来館者のクレームや、内容に対する満足度の低さを懸念していたが、アンケート結果など、概ね良好であったと思われる。ポスターやチラシなどの内容説明における「見所」ポイントを3つに絞るなどの工夫が来館者にも伝わったものと推定される。今後も、展覧会のコンセプトを分かりやすく伝える努力を重ねたい。</p> <p>・展覧会図録は、周年記念展図録として、当館の今後の活動にも資する資料的価値の高いものを目指し、数多くの未紹介図版を掲載した。また、担当が専門とする狩野派の論文について、学会発表の内容を踏まえ、出品作品の詳細な考察を行い、研究的にも意味のある図録を目指したが、評価委員の指摘もあるように、一般読者には難解であったと思う。今後、どのような展覧会、図録を作るのか、様々な意見を踏まえ、考えてみたい。</p>		

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	再発見! ニッポンの立体-生人形からフィギュアまで-
------	----------------------------

期 間	11月15日(火)~1月9日(月) (44日間)
場 所	静岡県立美術館第1~6展示室

担当者名	村上敬
------	-----

学芸員の企画への参加の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
マスコミ等による共催の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	巡回の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

記入日	企画	2016年5月23日(月)
	実績	2017年3月1日(水)

	企画	実績・検証
目的・内容	彫刻、工芸など従来のジャンル分けにとらわれることなく、「近代西洋的な彫刻世界」と「江戸時代以前の造形世界」の関わり、二つの世界を往還する日本の特性を、近世から現代に至る日本の様々な立体造形作品を通じて検証することをめざす。	【研究活動評価委員会からの意見(要約)】 ・日本における「美術」諸概念の見直しは1990年代から進められてきたが、立体造形についてはあまり試みられてこなかった。「彫刻」を超えて立体造形を対象とした本展はその点で独創的である。展示構成も用途、モチーフ、造形要素・意図といった立体への切り口を示し、小見出し的キャプションの説明も配慮されていた。(山梨委員) ・作品の構成や章の編成にはまだ課題もあるが「美術」への問題提起として斬新である。今後は民衆的造形や解剖標本、巨大な立体(プロジェクションや写真での展示)などより視野を広げてもらいたい。解説は興味深いけど字数が多すぎる。(坂本委員)
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	【ねらい】 定番の彫刻展や工芸展といったことにとどまらず、それらを総合的に展覧することで、日本近世から近代、そして現代までつながってきたわれわれ自身の造形感覚を再発見する。 【ターゲット】 ・定番の展覧会に飽き足らない先鋭的な美術ファン。 ・および、伝統彫刻や工芸に造詣の深いシニア層の美術ファン。 ・若年層の誘引には向かないかもしれない。	【アンケートにみる特徴】 ・入館者全体の男女比は女性(53.8%)が男性(46.2%)をやや上回るという数値で、当館の一般的状況と軌を一にしている。それに対し、新規来館者における男女比は男性59.7%、女性40.3%と男性がかなり多くなっている。 ・新規来館者中、年齢層は30代が最も大きく1/3を超えた(33.9%)。新規来館者についてはフィギュアなどサブカル愛好者の男性を引きつける出品物が訴求したのではないかと思われる。 ・展示内容については自由意見欄を含め、おおむね満足頂けた模様。 ・音声ガイドについては不満の声(物足りない)が複数あった。利用者数見込の関係から制作しない展示のほうが多いのだが、制作する場合には要検討。
指標(数値目標)	観覧者数見込 16,000人	観覧者数 8,783 人
収支計画	・歳出 13,997 円 ・歳入 8,349千円 ・特財率 59.6%	・歳出 13,198 千円 ・歳入 4,454千円 ・特財率 33.7%
広報戦略 主な取組	・展示のひとつとして立体キャラクター文化を紹介する部分を設ける。その関係で、「ふじっぴー」と連携した広報展開をめざす。 ・上記を読売新聞等に取材してもらい、一般に拡散することをめざす。 ・読売グループである静岡第一テレビとのコラボレーションを検討する。	・「ふじっぴー」および地域キャラ「今川さん」の出品は実現。後者についてはフェイスブックもあったが、フォロワー数がまだ控えめなので圧倒的な広報効果とまではいかなかったか。 ・「富士山三保子さん帰国記念展示」が行われ、知事も来館。それが報道された。また、その記事を見た来館者も多くみられた。 ・駿河屋へチラシ配布(静岡市内2店舗) ・ホビーのまち静岡クリスマスフェスタ2016(12/10・11ツインメッセ) でのポスター・チラシ・割引券の配布 ・お正月企画としておしるこ・干支せっけんの配布 ・草薙冬フェス(12/17)でのチラシ・割引券の配布
自己評価 今後の課題	(総務担当)会期前は、若年層よりもシニア層の入館が多いと見込んでいたが、会期が始まってみると、来館者の割合は圧倒的に一般客が多く、特に若い世代も多く来館していることがわかった。おそらく、静岡会場独自に展示している作品が若者を引き付ける要因になっていたのではないかと思われる。そのことがわかった時点で、FACEBOOK等で広報をするなど、若者層へ展覧会を周知する方法をすぐにもとるべきであったが、動きだしや文章の作成能力などで戸惑い、行動に移すことができなかった。また、若者を引き付ける作品は、現代作家さんの作品であったので、広報の際に、作品の扱い方にも注意しなければいけなかった。これらのことを踏まえ、次回に活かすことは、展覧会の会期前にどのような広報戦略をたてるのかしっかりと考えていかなければならないことである。総務課では、広報の経験豊富な同僚と手法を共有しつつ、しっかりと広報対応していかなければならないと思った。 (学芸担当)今回とくに注力した展示構成・静岡オリジナル解説パネルについてはおおむね好評であり、担当として安堵している。ただし、坂本委員の御指摘の通り、情報量を減らさずにより簡潔に訴えられるようさらにブラッシュアップしていきたい。なお、今回自由記入欄で2件ほどあった音声ガイドへの物足りなさについては、制作決定(音声ガイド業者からの営業)がかなりギリギリで内容を検討する時間がまったくなかった事情がある。音声ガイドについては自主制作が難しく、売り子の人件費がまかなえるかどうかを業者が判断して開幕直前に話を投げかけてくるケースも多いため、うまく対応するのが難しいのだが、より積極的な方向で考えていきたい。	

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	蛭川実花展
------	-------

期 間	2月1日(水)～3月26日(日) (47日間)
場 所	静岡県立美術館第1～6展示室

担当者名	川谷承子
------	------

学芸員の企画への参加の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
マスコミ等による共催の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	巡回の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

記入日	企画	2016年4月18日(水)
	実績	2014年 月 日()

	企画	実績・検証
目的・内容	2008年から2010年にかけて全国5会場を巡回した「蛭川実花展 地上の花、天上の色」に続く、写真家、蛭川実花の大規模回顧展。2010年から2015年までに撮影、制作された作品、シリーズで構成し、直近の5年間の蛭川実花の活動を総括し、集大成とする展覧会。第一線の写真家として、また、若い女性のファッション・リーダー的存在として、現代を疾走する蛭川実花の飽くなき挑戦の姿を紹介し、蛭川の作品世界のエッセンスや豊かさを堪能できる内容になっている。	【研究活動評価委員会からの意見(要約)】 (評価対象外)
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	【ねらい】2010年から2015年までの蛭川実花の活動の集大成を示す展覧会として、蛭川らしいカラフルな「花」のシリーズから、新機軸の確立を目指した新作「Self-Image」のような作品まで、さまざまな性格付けの写真作品を展示する。挑戦し、進化し続ける写真家、蛭川実花の魅力を、存分に紹介し、鑑賞者に楽しんでいただくことをねらいとする。 【ターゲット】 静岡県内および東海・関東圏に居住する20代～60代の女性・男性、ならびに静岡市近郊を中心としたファミリー層。	【アンケートにみる特徴】 (実施せず)
指標(数値目標)	観覧者数見込 38,000人	観覧者数 48,012人
収支計画	・歳出 11,528千円 ・歳入 15,866千円 ・特財率 137.6 %	・歳出 11,528千円 ・歳入 20,792千円 ・特財率 180.4%
広報戦略 主な取組	・静岡朝日テレビとの共催展ということから、テレビでの広報宣伝効果が期待できる。 ・広報印刷物等の早めの製作・配布を行い、展覧会開催情報の地域での浸透を図る。 ・市内商業施設との広報タイアップやグッズ販売等の協力をを図り、相乗効果や観客の回遊性を引き出すことを目指す。	・前年9月から、館内や静岡朝日テレビのイベントで先行チラシを配布して、展覧会情報の早い浸透を図った。 ・静岡朝日テレビによるCMや番組内告知、新聞広告、雑誌記事等による告知のほか、美術関連のインターネットサイトやInstagram等のSNSへも積極的に情報提供を行った。新静岡セノバのタイアップによる大型バナー設置や施設内ラッピング、広報誌への掲載や、県内書店等での企画展特製しおりの配布など、多様な手法で広報を展開することにより、集客増に繋がる高い周知効果を生み出すことができた。 ・プレスリリースを2回更新し、展覧会ホームページに頻りに情報を追加することで、新鮮味がある話題性の高いトピックスや画像を提供して、会期後でないと提示できない空間インスタレーションの魅力等も含めて広く周知することができた。
自己評価 今後の課題	2015年に活動20周年を迎え、新たな領域に切り込む、蛭川を総括するというコンセプトに基づき、出品作品は、2010年から2015年までに撮影、制作された作品、シリーズから、アーティストがセレクトした9シリーズ約380点を展示した。具体的には、蛭川の代名詞とも言える、あざやかな色彩の「Flowers」、背景のセットや衣装、小道具にいたるまで、蛭川がディレクションして撮影した著名人のポートレート、2011年3月の東日本大震災直後に、生を謳歌するかのようには咲き誇る桜を、憑かれたように撮影した「桜」、花火や野外フェスの鮮烈で、刹那的な美をとらえた最新作「Light of」などによって構成された。巡回展の性質上、作品の選定や図録制作に関わることが出来なかった点は、学芸員としては残念であった。しかしながら、第2室の「桜」のコーナーでは、展覧会としては国内初となる、展示室の壁、床ともに、桜のイメージで全面を覆いつくした晴れやかな空間インスタレーションの展示を実現させ、来場者から好評を博した。また、第3室の「plant a tree」にピンスポット照明をレンタルして使用し、作品性を活かした空間を創り上げた。展示の細部に配慮したこと積み重ねが、来館者を魅了し、結果的に大勢の集客につながったと思われる。また、第1室から第3室に展示した4シリーズを写真撮影可能とし、撮影した画像をInstagramにアップすることを呼びかけるパネルを掲示して、従来とは異なる鑑賞方法を提案した。この呼びかけに応じて、2000件を超える展示風景の画像が、Instagramにアップされ二次的な広報につながったことは、今後の当館における、他の展覧会運営にも、大いに参考になると考える。	

【資料 2】

調査・研究に関する自己評価点検評価報告書（平成 28 年度）

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 29 年 4 月 20 日

職・氏名 学芸部長・泉 万里

- 専門分野 日本中世絵画史
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・口頭発表「月次祭礼図模本にみる祇園会風流の特異点」(第 53 回藝能史研究会大会、平成 28 年 6 月 5 日)
- ・口頭発表『元信』印富士参詣曼荼羅と富士見の旅(「中近世絵画における古典の変成と再結晶化」[科研基盤 B] 研究会、平成 29 年 3 月 26 日)
- ・研究ノート『江戸天下祭図屏風』研究事始め(『アマリリス』122 号、平成 28 年 7 月)

小計 3 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「徳川の平和」特別連続講演会

小計 1 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

小計 0 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

小計 0 本

合計 4 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 29 年 4 月 21 日	
職・氏名	学芸課長・三谷理華
●専門分野	美術史
●所属学会	美術史学会、美学会、日仏美術学会、ジャポニスム学会、九州藝術学会、Société de l'histoire de l'art français、ICOM
●主要研究テーマ	ヨーロッパ近代美術史、日仏文化交流史
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
1 “ Raphaël Collin et ses toiles peintes ou esquissées à Fontenay-aux-Roses ”, <i>Raphaël Collin (1850-1916) peintre fontenaisien</i> , Archives municipales de Fontenay-aux-Roses, 2016, pp.19-38.	小計
1 本	
2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業	
	小計 0 本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
1 Co-commissaire pour l'exposition <i>Raphaël Collin (1850-1916) peintre fontenaisien</i> (Mairie de Fontenay-aux-Roses, 17 septembre – 31 octobre 2016)	
2 ジャポニスム学会学芸員勉強会代表幹事	
3 文化庁新進芸術家海外派遣研修 (長期)	
	小計 3 本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等	
	小計 0 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 29 年 4 月 9 日

職・氏名 上席学芸員 ・ 南 美幸

- 専門分野 美学・美術史
- 所属学会 美術史学会、日仏美術学会
- 主要研究テーマ 西洋美術史、ロダン関連

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- 1 論文「フランスにおける日本人のロダン作品体験 1900～1918 年—文献からの分析・整理」
(『ロダン没後 100 年 ロダンと近代日本彫刻』展カタログ、小平市平櫛田中美術館、平成 29 年 2 月)
- 2 論文「森田亀之助『泰西現代巨匠傳叢二 仏蘭西彫刻家ロダン』に関する考察—その原典と日本のロダン受容における位置」(『静岡県立美術館紀要第 32 号』、平成 29 年 3 月)

小計 2 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- 1 収蔵品展「フランス版画コレクションより—ジャック・カロ、ウジェーヌ・イザベイ、ミレーらを中心に」企画・実施
- 2 収蔵品展「フランス版画コレクションより—ジャック・カロ、ウジェーヌ・イザベイ、ミレーらを中心に」フロアレクチャー 1 回
- 3 「東西の絶景」展 フロアレクチャー 1 回
- 4 ロダン館タッチ・ツアー 4 件

小計 4 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

小計 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

小計 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 29 年 4 月 20 日

職・氏名 上席学芸員 新田建史

- 専門分野 美学美術史
- 所属学会 地中海学会、保存修復学会
- 主要研究テーマ 西洋 16～18 世紀美術、東西美術交流史、東西版画史、文化財保存

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

「ピラネージ『古今ローマの様々な景観』に見られるクローズアップについて」、『アマリス』125号、pp. 6, 7.

小計 1 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「東西の絶景」展副担当
- ・「学芸員のこの 1 点」4 月 13 日 (水)
- ・「西洋の絵画一画材とともに 3」展担当
- ・「学芸員によるフロアレクチャー」12 月 10 日 (土)

小計 4 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・「愛知県立芸術大学集中講義」9 月 20 日 (火)、21 日 (水)
- ・「伊豆市美術館建設準備委員」

小計 2 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

「ピラネージ『古今ローマの様々な景観』に見られるクローズアップについて」、『アマリス』125号、pp. 6, 7.

小計 1 本

合計 7 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 29 年 4 月 1 日

職・氏名 上席学芸員・村上 敬

- 専門分野 日本近代美術・デザイン史、文化資源学
- 所属学会 美学会、美術史学会、明治美術学会、文化資源学会
- 主要研究テーマ 明治・大正期を中心とした近代日本洋画等

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

(1) 「「本物そっくりな」ひとがたについて——彫刻とヒューマノイドと人形と」群馬県立近代美術館・静岡県立美術館・三重県立美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会編『再発見！ニッポンの立体』, 2016, pp. 19-23.

(2) 「ロボットをめぐる展示の問題」大阪大学美学研究室編『美学研究』11, 2017, pp. 178-92.

小計 2 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「再発見！ニッポンの立体」展(主担当)
- ・収蔵品展「静岡ゆかりの近代画家」展(共同担当)
- ・「再発見！ニッポンの立体」展特別対談「サブカルチャーから日本の立体を考える」
- ・「再発見！ニッポンの立体」展友の会対象フロアレクチャー (11/27)
- ・「再発見！ニッポンの立体」展フロアレクチャー (11/27, 12/11)
- ・「東西の絶景展」学芸員のこの一点 (フロアレクチャー：5/18)
- ・収蔵品展「静岡ゆかりの近代画家」展フロアレクチャー (9/11)

小計 8 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・2016 年度文化庁事業「マンガ・アニメ・ゲーム・メディアアート (MAGMA) 学芸員ミーティング」メンバー (2/28：於国立新美術館)
- ・『美術史』第 182 冊 査読委員

小計 2 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

小計 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 29 年 4 月 1 日

職・氏名 上席学芸員 泰井良

- 専門分野 日本近代洋画、ロダン、ミュージアムマネジメント、文化政策
- 所属学会 美術史学会、明治美術学会、日本ミュージアムマネジメント学会
日本文化政策学会、文化経済学会
- 主要研究テーマ 明治美術会から太平洋画会、明治から昭和期の美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・口頭発表「和田英作と近代の富士山-富士山をモチーフとして-」
【三保松原学シンポジウム 2016】(11/5)
- ・「理念なき博物館は、消えゆくのみ」『日本の博物館のこれから～「対話と連携」の深化と多様化する博物館運営～』(平成 26～28 年度 日本学術振興会科学研究費助成事業研究成果報告書)

小計 2 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「東西の絶景」展(主担当)
- ・移動美術展「島田市出身の洋画家 北川民次と静岡の創作版画」展(主担当)
- ・移動美術展「富士山と静岡ゆかりの絵画」展(主担当)
- ・「東西の絶景」展フロアレクチャー(4/17、5/8、5/20、6/12) 4 回
- ・「学芸員のこの一点」(6/8)
- ・NHK 静岡「待ち合わせは美術館で」出演(9/26、9/27、9/28、9/29、2/8、2/9)
- ・移動美術展フロアレクチャー(9/18、10/29、11/1)
- ・島田市博物館博物館講座「静岡ゆかり画家たち」(11/25)
- ・収蔵品展フロアレクチャー「山の風景」(2/12、3/5、3/19)
- ・静岡大学比較言語文化各論 I 講師(ロダン館 大学生ギャラリートーク)
- ・静岡県立大学と連携した「ロダン館アプリ」開発事業

小計 23 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・一般財団法人地域創造公立美術館活性化事業企画検討委員
- ・全国美術館会議地域美術研究部会幹事
- ・鴨江アートセンター外部評価委員
- ・浜松市美術館美術資料審査会委員

小計 4 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

(小計 本)

合計 30 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 29 年 4 月 18 日

職・氏名 上席学芸員 川谷承子

- 専門分野 現代美術
- 所属学会
- 主要研究テーマ 戦後美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・エッセイ「鈴木基真 実在感のない風景」(『記録集 めぐるりアート静岡 記憶をめぐる 記憶をつくる』、平成 29 年 3 月)
- ・『現代美術』の一つの到達点としての『幻触』(試論) 鎌倉画廊「Re-幻触展」カタログ

小計 1 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「東西の絶景」展(第 4 章企画) 普及
- ・「新収蔵品展」展覧会企画、普及
- ・「美術館に行こう！」展 企画補助、普及活動
- ・「めぐるりアート静岡」展覧会企画、普及
- ・「蜷川実花展」主担当 展覧会企画、普及

小計 5 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・「川邊耕一の絵画について」 掛川市二の丸美術館『川邊耕一展-森のかたち-』展図録
- ・寄贈作品の調査、受け入れ(29 点)

小計 1 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

- ・『現代美術』の一つの到達点としての『幻触』(試論) 鎌倉画廊「Re-幻触展」カタログ

小計 1 本

合計 8 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 29 年 4 月 19 日	
職・氏名	上席学芸員・石上充代
●専門分野	近世近代の日本画
●所属学会	美術史学会、近世絵画研究会
●主要研究テーマ	日本近世近代絵画史
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
1 論文「渡辺省亭《十二ヶ月花鳥図》の構図について」(静岡県立美術館ニュース『アマリリス』No. 123、平成 28 年 10 月)	
小計 1 本	
2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業	
1 企画展『美術館に行こう!』主担当	
2 同展 鑑賞講座「小学生のための美術館探検ツアー」2 回	
3 同展 鑑賞講座「子どもとファミリーのための展覧会ツアー」2 回	
4 同展 大人向けフロアレクチャー 2 回	
5 同展 子ども向け『たんけんガイド』作成	
6 企画展『東西の絶景』学芸員のこの 1 点	
7 平成 29 年度企画展『戦国! 井伊直虎から直政へ』展準備	
8 出張美術講座 1 回	
小計 8 本	
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
小計 本	
4. 収蔵作品に関する論文・発表等	
(1 論文「渡辺省亭《十二ヶ月花鳥図》の構図について」(静岡県立美術館ニュース『アマリリス』No. 123、平成 28 年 10 月) ※「1 今年一年間に執筆した主な論文」に既述)	
小計 (1) 本	
合計 9 本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 29 年 4 月 5 日

職・氏名 主任学芸員・野田麻美

- 専門分野 日本近世絵画
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 狩野派を中心とする桃山末～江戸時代の絵画

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- 「狩野探幽筆『学古図帖』(個人蔵)の先にあるもの一〈倣古図研究〉事始め一」(『アマリリス』121号 平成28年4月)
- 「狩野探幽周辺の倣古図に関する一考察—探幽筆『学古図帖』を中心に」(美術史学会東支部例会 平成28年4月2日)
- 「江戸狩野派の〈倣古図〉をめぐる一考察—狩野探幽筆『学古図帖』を中心に」(『徳川の平和—250年の美と叡智』(平成28年9月)
- 「ポスト探幽世代の画家たちについて—狩野安信・常信・探信・益信・探雪『名画集』(個人蔵)の史的位置—」(『静岡県立美術館紀要』第32号 平成29年3月31日)

小計 4 本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- 『徳川の平和—250年の美と叡智』展(平成28年9月17日～11月3日)
- 同展美術講座3回
- 同展フロアレクチャー3回
- 「東西の絶景展」学芸員のこの一点(フロアレクチャー)1回

小計 8 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

小計 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

小計 本

合計 12 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

《提出日 平成 29 年 4 月 19 日

職・氏名 主任学芸員 浦澤倫太郎

- 専門分野 日本美術史
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 近世絵画

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

『堀田正民《行囊詩画》—大名が描いた東海道と中山道の風景—』(静岡県立美術館紀要第 31 号)

小計 1 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

・展覧会

企画展「東西の絶景」

収蔵品展「静岡ゆかりの近代絵画」

・普及事業

フロアレクチャー「東西の絶景」7 回、「静岡ゆかりの近代絵画」1 回

小計 10 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

出張美術講座【富士宮市立井宮北小学校】9 月 23 日

小計 1 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

『平井顕斎《耕織図》』(アマリリス 124 号)

小計 1 本

合計 13 本

定性評価の状況（平成 28 年度）

【東西の絶景 展】〈自主企画展〉

(潮江委員)

美術館開館 30 周年記念と言うこともあり、全力投球（余力を残した）をしつつも、実にオーソドックスな展示ができたと思う。今回の展覧会は、静岡県立美術館の歴代館長、歴代の学芸員諸氏が築き上げてきた館の運営方針、そしてそこに向けて傾注してきた努力の成果になっていると思う。

(山梨委員)

風景画を収集の柱としてきた 30 年間の成果が一覧でき、優品を多く含む見ごたえのある展覧会であった。收藏品だけでストーリーのある展覧会を構成するのは困難が多いと思うが、本展は人と自然の関わりを 16 世紀以降の東西の優品で追うことができるまとまった展示となっており、東西の風景画という骨太の収集方針に従って、学芸員が風景画の展開の諸相を常に考えつつ相当の予算をもって収集を進めて来たことがうかがえる展覧会となっていた。コレクションの質の高さを改めて認識した。学芸員のこれまでの営為と努力の賜物と思う。

【徳川の平和 展】〈自主企画展〉

(金原委員)

記念展としてふさわしい作品が集まり、江戸絵画を鑑賞できる会場となっていた。奥行きのある豊かな美の世界を県民がたのしめたのではないか。広報もかなり行きわたっており、県立美術館として県民の期待に応えられたのではないか。

(榊原委員)

徳川の平和（パクス・トクガワーナ）を絵画作品で見せる——難しいテーマを要領よくまとめたのではないか。ただし、このテーマを出品作品に即して説明しきれているか、と云う点については疑問が残る。とは云え、これだけの作品を一堂に会し得て、お疲れさまと云いたい。

【再発見！ニッポンの立体】〈自主企画展〉

(坂本委員)

意欲的な立派な展覧会だと思います。これから、どう展開してゆけるのかが大きな問題なのではありませんか。期待しています。

(山梨委員)

人間を主なモチーフとする西洋近代の彫刻を、美術における立体表現の最高の位置を占めるものとして 19 世紀後半に受容したことが、日本の立体表現にどのような意味を持ったかという、大きい問題を取り上げた意欲的な展覧会であった。問題設定が大きく、切り口は多様で、本展担当者が既に行った「彫刻と工芸」「ロボットと美術」なども、本展の問題に特定の切り口から迫った展覧会であったと言えよう。本展では西洋近代概念を手本とする「彫刻」が視覚的鑑賞物であるのに対して、日本の立体造形を貫く一つの性質として触覚性や愛玩性がうき彫りになったように思う。大きさや素材、様式が多様で、美術展として会場作りをするのが難しかったと推測されるが、1 室は黒の傾斜台、2 室の根付等は赤の展示台、3 章は青の展示台を用い、各章で展示台の色を統一するなど、視覚的にも洗練された会場となっていた点も高く評価したい。

①研究紀要 南美幸「森田亀之助『泰西現代巨匠傳叢二 佛蘭西彫刻家ロダン』に関する考察—その原典と日本のロダン受容における位置」

(潮江委員)

- ・ロダンの彫刻群を所有する美術館にふさわしい、地味だが堅実で独創的な研究であると思う。研究方法も研究姿勢も評価に値する。

(坂本委員)

- ・本文は短いながらも、精緻で、註も丁寧で、また、森田氏の論文の分析方法の厳密さに驚いた。藤井氏の論文中に言及されていないことが多いことも驚きであった。労作と思う。

②研究紀要 野田麻美「ポスト探幽世代の画家たちについて—狩野安信・常信・探信・益信・探雪《名画集》(個人蔵)の史的位置—」

(金原委員)

- ・常信は荒い筆ながら、濃彩によるある種の強さを持っていたこと、益信は探幽の継承ながら、濃彩表現を加えていたこと、探雪は一番自律的で最も瑞々しい作品を示したことなどを浩瀚なこの論の中で明らかにしている。

新知見が盛り込まれているが、時に煩雑に及ぶところがあり、次回はもうすこし整理して解りやすく説いてもらいたいと思う。

(榊原委員)

- ・それにしても自ら「繰り返しになるが」とか「前章で述べたように」とことわりを入れているように、記述に繰り返しとくどさがある点、少々気になった。五名の絵師が参加し、八十図にも及ぶ画帖の紹介、分析となれば、これだけの長文になるのも当然かも知れないが。

p. 52「常信は本作の制作時、自身が目指す探幽様式の継承完成という問題と向き合うことを一旦停止し、安信画に看取される荒い筆遣いと濃彩を用いた表現を取り入れた可能性がうかがわれよう。」との記述があるが、微妙な問題で、画集の分析からはこうした結論が出るのかも知れないが、本当にそうなのか。狩野安信論の発表を期待する。

③研究紀要 浦澤倫太郎「近江宮川藩第六代藩主・堀田正民による《行囊詩画》について—大名が描いた東海道と中山道の風景—」

(金原委員)

- ・19世紀、1800年代に入ると街道筋の整備が進み、旅行が盛んになり、その記録、日記や風景画も残されるものが多くなった。そのよき例がこの作品で、新資料を発掘し、丁寧な調査を行っている。今後こうした作品が発見されることを期待したい。

(榊原委員)

- ・従来知られることのなかった大名画家の作品紹介としてバランスの取れた論考である。

正民の画業について、挿図に掲げた三点の作品についてももう少し言及があってもよかったのではないか。

ことに天保年間太陰之図は珍しいもので、類品の有無も含めて興味をそそる。

(西洋)

2017年は彫刻家オーギュスト・ロダンの没後100年にあたる。これを記念し、ロダン独自の表現と手法が近代日本彫刻史にどのような影響を与えたのかを再検証した「ロダン没後100年 ロダンの近代日本彫刻」展（小平市立平櫛田中美術館）に、《ヴィクトリア・アンド・アルバートと呼ばれる女のトルソ》を含む計2点が出品された。また、戦後日本の代表的な具象彫刻家である本郷新とロダンの関係に焦点を当てた「ロダン展」（本郷新記念札幌彫刻美術館）には、《パオロとフランチェスカ》を含む計3点が出品された。何れも、ロダンと日本またはロダンと日本人彫刻家との関係に新たな視点を設定した展覧会で、日本で有数のロダン・コレクションを誇る当館が協力できたことは意義深い。

(日本画)

「寺崎廣業展」（秋田市立千秋美術館 9月16日～11月6日）、「横山大観展」（佐野美術館 10月1日～11月6日）、「速水御舟展」（山種美術館 10月8日～12月4日）、「円山応挙展」（根津美術館 11月3日～12月18日）等々、個展への出品が目立った。作家の特徴をよく示す重要作として当館の所蔵品・寄託品が評価されたものであり、各作家の画業における当館所蔵品・寄託品の位置付けを考えるうえでも有益な機会となった。

また、富士市立博物館のリニューアルオープン記念展「富士のある風景」に日本洋画を含む計5点を出品し、当館の富士山コレクションを活用して県内博物館に協力することができた。

(現代)

現代ジャンルでは、近年ますます再評価が進む、草間彌生《無題》とグループ「幻触」の作品を、国内外の複数の展覧会に出品した。

前年度より北欧巡回展「Yayoi Kusama」に貸出中の、草間彌生《無題》は、2会場目となるノルウェー、オスロにあるヘニー・オンスタッド・アートセンターに展示会場を移し、5月まで展示された。返却後ふたたび2月からは、六本木の国立新美術館で開催されている「草間彌生展」に貸し出している。同作家の重要な個展に出品されたことは、国内外での同作品の評価を一層高めるものと考えられる。

また、グループ「幻触」の4作家4作品を、錯視的な特徴に着目した「不思議なアートトリック・トリック・トリック」展（平塚市美術館）に、出品した。中でも、飯田昭二《Half & Half（ハンドバック）》は、開催館が来場者向けに行った出品作品の人気投票で1位を獲得したとの報告を受けた。同じくグループ「幻触」の鈴木慶則《梱包されたオダリスク》と他1点を、東京ステーションギャラリー「パロディ、二重の声展」に出品した。同展は、鈴木作品を、地方の前衛グループという、従来の切り口ではなく、1970年代にテレビや雑誌を通じて流行した「パロディ」という現象の視覚的表れの一つとして、読み返そうとした意欲的な展覧会であった。グループ「幻触」の作品は、ここ数年、貸出依頼が続いており、今後も、多様な視点から読み返され、改めて評価が進められていくと思われる。

(日本洋画)

平成28年度の日本洋画の公開・貸出については、学芸員の研究成果を活かした回顧展への貸出が顕著となった。

「和田英作展」（刈谷市美術館他）には、《富士》をはじめとして、和田英作の写生帖、スケッチなどの

資料が多く出品された。本展は、約 20 年ぶりに、和田英作の画業を検証・回顧する展覧会であり、そこに当館の所蔵作品・資料が活用されたことは意義深い。なかでも、スケッチと完成作を比較する展示が試みられたことは、和田英作や日本近代洋画の研究にとって重要である。

生誕 140 年「吉田博展」(千葉市美術館他)には、《荒沢(日光)》、《越後の春》など水彩作品が多く出品された。本展は、約 20 年ぶりに開催された本格的な吉田博の回顧展であり、出品作品には、近年の研究成果を反映した新出作品や資料が出品された。こうした学芸員の研究を活かした展覧会に当館所蔵作品が出品されることは、作品の価値を高めるうえで大変意義深い。

- ・ 8月に当館で行われた静岡県教育研究会図工・美術部の夏季研究大会において「学校教育と美術館」の題目で講演を行い、県全体から参加した小中学校の先生方に対して、美術館の活動紹介と鑑賞教育についての考え方を伝えることができた。
- ・ 今までの出張授業は、内容に関しては美術館におまかせという形が多かったが、平成28年度では学校側と内容検討の上、行う出張授業も増え、その他にも鑑賞題材の授業案検討の協力要請など、鑑賞教育分野での専門的知識を求められる需要が増え始めている。
- ・ 平成26年度から、当館のアートカードを教員研修等で紹介をし、平成27年度から貸し出しを行っている。学校の先生方への認知度も高くなり、貸出数も増加した。
- ・ 「ねんど教室」「えのぐ教室」については、静岡市内の学校を中心に高い需要がある。継続にあたって内容の修正や改善を行ってきたが、今後、外部有識者からの助言や監修を受け、さらなる内容充実を図りたい。
- ・ 鑑賞系プログラムの利用が微減し、非鑑賞系プログラム「美術館の秘密を探れ」が増加。学校の多忙化により、図工・美術科の授業としての来館が困難な状態であることと推測される。指導要領の改定により、その傾向は強まると予測される。
- ・ 大規模校の団体観覧時の鑑賞プログラムが「ボランティアとの鑑賞」しか現状ない状態。現行の鑑賞プログラムは1クラス40人上限を対象に考案されたプログラムがほとんどだが、当館のコレクションを活用した新たな鑑賞系プログラム開発も検討する必要がある。
- ・ 学校団体での美術館への来館が困難な状況が一層強まるような状況になるようであれば、出張授業や教員研修会等で、美術作品鑑賞自体の楽しさや価値を伝えていくような教育普及活動が必要となってくると考えられる。

地域等の連携をさらに深め、地域をパートナーと考える経営を推進した。

- (1) 開館以来、活動を続けている県立美術館ボランティアは活動任期为3年であり、平成27年度に3年の任期が満了したため新たに募集し、活動方針に沿って積極的に活動する意欲を持った方を117名採用した。
 - ・活動期間（任期）：平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）
 - ・活動方針：「来館者サービスの充実、美術館運営支援、地域連携推進」
- (2) 美術館ボランティア草薙ツアーグループによる来館者サービスお茶会を、開館30周年記念式典及び企画展に併せて実施。
- (3) 有度山地域に立地する5施設（県立美術館、SPAC、日本平ホテル、日本平動物園、久能山東照宮）による「有度山フレンドシップ協定」による協働
 - ・各施設を廻る観光モデルコースをパンフレット化し、観光業界へPR。
 - ・日本平ホテルとの協働（学芸員のフロアレクチャー付き宿泊プランの計画）。
 - ・「ふじのくにしずおか観光大商談会」等への協働参加、誘客促進。
- (4) 静岡大学と連携し、前期授業単位に認定した「大学生によるロダン館ギャラリートーク」の実施
- (5) 草薙商店会等との協働
 - ・地域の活性化を目指す地元有志等との定期的な連絡会（朝活）への参加。
 - ・草薙商店会主催の「つながるくさなぎ」夏フェス及び冬フェスへの参加（実技体験の実施）。
 - ・草薙地域で活動しているグループと連携して美術館前の広場でロダンウィーク「丘の上のマルシェ」を開催。
- (6) 草薙駅周辺まちづくりへの協力
 - ・地域、企業、大学、小中学校、文化施設等による「まちづくり検討会議」に参加し、草薙駅周辺のランドデザイン策定に協力するとともに、JR草薙駅南口を愛称「県大・美術館口」と命名した。
 - ・草薙商店会企画の「まちゼミ」に参加し、県大・県立図書館・美術館を紹介する「文化の丘めぐりツアー」を開催。（2月24日、3月2日）
- (7) 企画展における企業との連携による効果
 - ・「東西の絶景」展では、名義共催の静岡新聞社による16回もの広告・記事掲載や、NHK静岡放送の「たっぷり静岡」による本展及び開館30周年の足跡をたどる連続企画など、マスメディアへの露出が多かったことが観覧者数増につながったと考えられる。
また、生誕300年の「伊藤若冲ブーム」により「樹花鳥獣図屏風」が注目されたことも要因として考えられる。
 - ・「美術館に行こう！」展では、テレビ静岡主催の子ども向けイベントでのチラシ配布や、地方情報誌「すろーかる」の子ども特集号への出稿などが効果を挙げたと考えられる。
また、ディック・ブルーナ・ジャパンが運営する「ミッフィー情報サイト」が当館フェイスブックをシェアしたところ、1万人以上の閲覧があり、SNSの広報・口コミ効果が大きかったと推測される。
 - ・「徳川の平和」展ではJR東海の特別協力を得て、通常ならば県内のみの電車内中吊広告を東京一名古屋間に延長し、ポスター掲示（新幹線駅）も東京から新大阪までの広範囲にて行った。
また、JRエクスプレス会員約280万人へのメルマガ情報発信や、雑誌「ひととき」での得

集記事を掲載した。

- ・「徳川の平和」展では、県自治研修所が主催する「夜間講座」を受け入れ、観覧を希望する職員にフロアレクチャー付夜間観覧を行い、24名の希望者が受講し好評であった。
「蝸川実花展」においても同様の講座を実施、18名が受講した。(3月1日)
- ・「再発見！ニッポンの立体」では、1月2日の開館日に、館内レストランが調理した「おしるこ」の無料提供を行った。併せて協賛企業のライオンから提供を受けた「干支石鹸」も入室時に配布し好評を得た(300個)。正月開館日の「おしるこ」などの提供は、今後も継続して検討する。
- ・「蝸川実花展」では、新静岡セノバの特別協力を得て、大型タペストリーの展示を行った。

(8) 職員による教育支援等の講義

- ・愛知県立芸術大学の「博物館実習(集中講義)」(9月20、21日)。
- ・静岡県立大学の国際関係学部ムセイオン講座「MUSEUMと文化」にて、企画展ごとに、受講生にレクチャー(5月17日、6月14日、7月12日、10月19日、12月14日)。
- ・静岡大学との連携「大学生によるロダン館ギャラリートーク」(静岡大学「比較言語文化論Ⅰ」)の実施(講義2回、リハーサル3回を踏まえ11月3日に実施)。
- ・静岡県立大学経営情報学部渡邊研究室との連携によるロダン館アプリの実証実験及び開発。
- ・生涯学習との連携：富士市開催の「市民歴史講座(富士市民大学)」で「東泉院と美術」をテーマに講義(7月1日)。
- ・研修機関との連携：自治研修所主催の「新規採用職員研修」において4回講義(6月9、16、23、30日)。
- ・自治研修所開催「徳川の平和展 県職員向け夜間講座」(10月19日)。
- ・「蝸川実花展 県職員向け夜間講座」(3月1日)
- ・その他：華道家元池坊静岡連合会支部教授者研究会にて「徳川の平和と花」のテーマで講演(10月26日)。

ムセイオン静岡

谷田地域の文化教育6機関(県立大学、美術館、中央図書館、埋蔵文化財センター、SPAC、グランシップ)が多分野における連携を進め、更なる文化の情報発信を目指す。

(1) 「ムセイオンこどもプロジェクト」の開催

障がいのある子ども、その親と地域(ムセイオンを含む草薙地域)の親子が顔なじみの関係を作ることを目的とした企画で、「クラシック・コンサート体験」を平成28年度から開始。

第1回「はじめてのクラシック・コンサート体験～きもちいい音のおふろに入ってみよう～」

7月28日(木) 会場：県立美術館講堂

(2) 「ムセイオン静岡セミナー」の開催

10月23日(日) 会場：静岡県立中央図書館 講堂

- ・基調講演「地域とこどもについて」県立大学学長 鬼頭宏氏
- ・ムセイオン各機関の取組事例紹介、地域の活動事例紹介ほか

(3) 静岡協働イベント「文化の丘フェスタ」の実施

- ・ムセイオン6施設を巡るスタンプラリー10月22日(土)～11月6日(日)177通の応募。

昨年度に引き続き、様々な広報手段を活用し、県内外への広報を推進した。

さらに、地域の文化施設や商工会議所等との協働による具体的な広報を推進した。

広報活動

- ① ホームページ、Facebook による情報発信
- ② 展覧会等イベント情報のマスコミへの資料提供
- ③ ポスター、チラシの配布、駅貼り、車内吊り
- ④ 県広報課との連携（県民だより、県政番組、ラジオ番組出演）
- ⑤ 広報サポーターへの情報提供
- ⑥ 展覧会共催者（新聞社・テレビ局）、協賛者（企業等）等との連携
- ⑦ 美術館ニュース「アマリリス」の発行
- ⑧ Google Art のサイト上でのコレクション画像やロダン館ストリートビューをPR。

県有文化施設と協働した広報

- ① JR東海「さわやかウォーキング」で「世界お茶まつり 2016」と「静岡鉄道長沼車庫」を訪ねるコースに、県立美術館「徳川の平和」展、舞台芸術公園、グランシップが参加し、県有施設3館を周るツアーが実現
- ② テーマパークEXPO「国際劇場産業展」（12月6～8日：東京ビックサイト）に、グランシップ、SPAC、県立美術館の3館が連携してブースを出展

新たな広報

- ① 開館30周年記念
 - ・静岡鉄道ラッピング電車の運行（平成29年3月中旬まで）
 - ・プロムナードに記念ペナントを掲示
 - ・図録フェア開催（平成28年度に限り、過去の図録を500円均一で販売）
- ② ホームページのリニューアル
- ③ 県立大学と連携し、スマートフォンによるロダン館作品解説アプリを開発
- ④ JR東海の特別協力による、東京から新大阪までの広範囲なポスター掲示や雑誌への特集記事掲載
- ⑤ ロダン館20周年事業として実施した「ロダンウィーク」を、継続して開催し定着化させた。
講演会、コンサート、にがおえ製作、マルシェ他を展開し、ロダン館をPRした。
また、平成27年度まで静岡大学が文化庁の「大学を活用した文化芸術推進事業」の助成を受けて実施してきた「めぐりアート」を、静岡大学・静岡市・県立美術館ほかの共催で、東静岡駅前広場の活用を主目的とした「新めぐりアート静岡」として実施した。
静岡市としては、11月1日から11月30日までの1ヶ月間を「秋フェス」と位置づけ、当館としては、「ロダンウィーク」の事業として集客を図った。
- ⑥ 平成27年度に静岡県立大学経営情報学部渡邊研究室の協力のもとに開発した、スマートフォン用ロダン館ガイドアプリを平成28年度のロダンウィークで本格稼動した。ロダン館内にWi-Fiのフリースポットを設置し、来館者がアプリをスマートフォンにダウンロードできる環境を整備済みであり、今後は、多言語化対応（英語、中国語、韓国語）も進め、東京オリンピックやラグビーワールドカップなどによる外国からの誘客を図る。

平成 28 年度
静岡県立美術館評価業務
報 告 書

平成 29 年 3 月
静岡県立美術館

平成 28 年度 静岡県立美術館評価業務 報告書

目 次

1	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	実施概要	1
(3)	報告書内のデータ記述について	1
2	調査結果概要	2
(1)	結果概要	2
(2)	提言	2
3	美術館評価指標の現状値	3
4	展覧会アンケート結果	4
(1)	回収状況	4
(2)	観覧者の属性	5
(3)	観覧者の行動	11
(4)	展覧会の評価	26
5	レストランアンケート結果	50
(1)	実施数(回答数)	50
(2)	アンケート結果	50
6	カフェアンケート結果	57
(1)	実施数(回答数)	57
(2)	アンケート結果	57
7	ミュージアム・ショップアンケート結果	64
(1)	実施数(回答数)	64
(2)	アンケート結果	64
8	美術館ホームページアンケート結果	69
(1)	実施数(回答数)	69
(2)	アンケート結果	69
9	自由意見	72
	<A 感想>	72
	<B 要望>	86
	<C 苦情>	92

1 調査概要

(1) 調査目的

静岡県立美術館では、評価委員会提言「評価と経営の確立に向けて」（平成 17 年 3 月）を踏まえ、館長公約を柱とする自己評価システムの体系を構築している。

今般、館の全体像を把握する評価指標を整理するためアンケートを実施した。

(2) 実施概要

	美術館に行こう！		徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)		再発見！ ニッポンの立体	
会 期	平成 28 年 7 月 9 日 ～ 9 月 8 日		平成 28 年 9 月 17 日 ～ 11 月 3 日		平成 28 年 11 月 15 日 ～ 平成 29 年 1 月 9 日	
開催日数	53 日		41 日		44 日	
観覧者数	25,030 人		26,442 人		8,783 人	
1 日あたり平均観覧者数	472 人／日		645 人／日		200 人／日	
アンケート実施日	7/10 (日)	79 件	9/17 (土)	97 件	11/15 (火)	47 件
	7/12 (火)	32 件	9/21 (水)	50 件	11/19 (土)	95 件
	8/5 (金)	51 件	10/9 (日)	100 件	12/8 (木)	67 件
	8/6 (土)	80 件	10/18 (火)	50 件	12/11 (日)	70 件
	8/31 (水)	50 件	10/29 (土)	100 件	12/20 (火)	42 件
	9/3 (土)	100 件	11/1 (火)	50 件	12/23 (金)	77 件
アンケート実施数	392 件		447 件		398 件	
回収率 ※観覧者数に占める実施の割合	1.6%		1.7%		4.5%	

(3) 報告書内のデータ記述について

- ・比率は全て百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのために、比率の合計が 100% にならないことがある。
- ・基数とすべき実数は、表中に「件数」として記載した。比率はこの基数を 100% として算出している。
- ・質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常 100% を超える場合がある。
- ・平成 27 年度の数值は、無回答を除いて割合を算出している。

2 調査結果概要

(1) 結果概要

	美術館に行こう！	徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)		再発見！ ニッポンの立体	
①展覧会満足度（展覧会別）	89.8%		87.9%		88.2%
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
②展覧会満足度（経年）	93.3%	90.9%	94.2%	90.3%	88.6%
③レストラン満足度	82.2%	78.8%	73.1%	65.7%	76.7%
④ミュージアム・ショップ満足度	82.8%	86.1%	87.2%	92.1%	92.9%
⑤ホームページ満足度	71.6%	73.9%	72.5%	70.7%	72.2%

(2) 提言

満足度と評価の相関係数

問	Q 4 ①	Q 4 ②	Q 4 ③	Q 4 ④	Q 4 ⑤	Q 4 ⑦
評 価	作品やテーマへの興味・関心の深まり	会場における観覧時の心地よさ	スタッフの対応の適切さ	展覧会のことを勧めたいか	情報の入手しやすさ	交通機関の利用のスムーズさ
美術館に行こう！	0.521	0.499	0.504	0.446	0.340	0.486
徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)	0.546	0.509	0.453	0.444	0.355	0.488
再発見！ ニッポンの立体	0.572	0.602	0.537	0.516	0.368	0.301
全 体	0.547	0.534	0.497	0.467	0.355	0.426

※算出方法：展覧会の評価【Q 4 ①～⑦】の5段階評価を1点～5点に置き換えて相関係数を算出した。ただし無回答については「どちらともいえない（3点）」と換算した。

※相関係数：-1～1をとる係数で、0に近いほど相関は薄い。1に近づくほど正の相関が、-1に近づくほど負の相関がある。（0.0～±0.2…ほとんど相関がない／±0.2～±0.4…やや相関がある／±0.4～±0.7…相関がある／±0.7～±0.9…強い相関がある／±0.9～±1.0…極めて強い相関がある）

相関係数をみると、評価が高いほど満足度も高い傾向にある項目は、下表のとおり。

美術館に行こう！	1位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.521
	2位	スタッフの対応の適切さ	0.504
	3位	会場における観覧時の心地よさ	0.499
徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)	1位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.546
	2位	会場における観覧時の心地よさ	0.509
	3位	交通機関の利用のスムーズさ	0.488
再発見！ ニッポンの立体	1位	会場における観覧時の心地よさ	0.602
	2位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.572
	3位	スタッフの対応の適切さ	0.537
全 体	1位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.547
	2位	会場における観覧時の心地よさ	0.534
	3位	スタッフの対応の適切さ	0.497

3 美術館評価指標の現状値

			H27 実績	H28 実績	展覧会			
					A*	B*	C*	
A	2	展覧会リピート率	80.2%	80.4%	76.3%	80.5%	84.4%	
	3	展覧会満足度	90.3%	88.6%	89.8%	87.9%	88.2%	
	8	鑑賞環境満足度	90.8%	90.5%	90.8%	89.9%	91.0%	
B	23	風景美術館認知度	70.2%	72.8%	68.9%	72.7%	76.9%	
C	25	情報が「入手しやすい」	70.6%	75.2%	75.8%	75.4%	74.4%	
	26	公共交通機関アクセス満足度	76.0%	77.5%	75.9%	79.5%	76.6%	
	27	自家用車アクセス満足度	78.3%	76.0%	69.8%	71.4%	87.8%	
	29	スタッフ対応満足度	84.3%	85.0%	87.8%	85.0%	82.4%	
	34	レストラン満足度	65.7%	76.7%				
	36	ミュージアム・ショップ満足度	92.1%	92.9%				
D	46	ホームページ満足度	70.7%	72.2%				
	51	展覧会での新規観覧者の割合	19.8%	19.0%	23.5%	18.1%	15.6%	
	52	展覧会での新規観覧者満足度	95.3%	91.5%	93.5%	87.7%	93.5%	
	53	地域別利用者割合	東部	17.2%	16.8%	16.6%	17.7%	16.1%
			中部	57.8%	58.0%	67.6%	48.3%	59.5%
			西部	14.7%	12.9%	9.4%	15.7%	13.3%
			県外	10.3%	11.6%	5.9%	18.1%	10.1%
54	2・3世代観覧割合	32.4%	32.8%	53.6%	20.0%	23.1%		

*展覧会A・・・美術館に行こう！

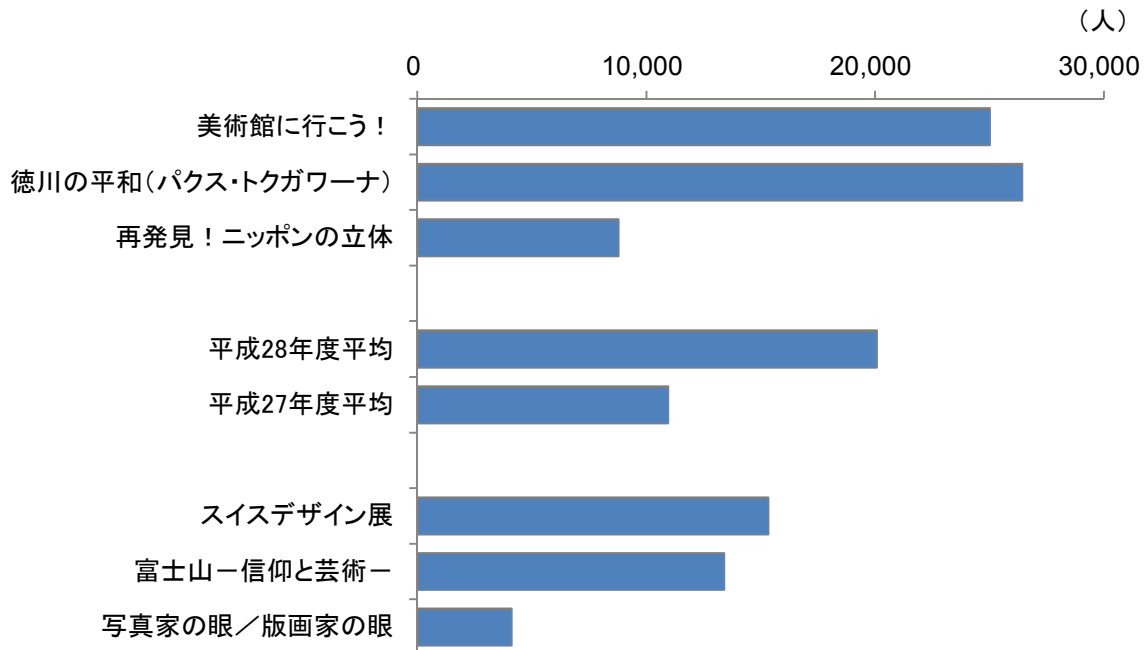
展覧会B・・・徳川の平和（パクス・トクガワーナ）

展覧会C・・・再発見！ニッポンの立体

4 展覧会アンケート結果

(1) 回収状況

		観覧者数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)
平成 28 年度	美術館に行こう！	25,030	392	1.6
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	26,442	447	1.7
	再発見！ニッポンの立体	8,783	398	4.5
経 年	平成28年度平均	20,085	412	2.1
	平成27年度平均	10,956	432	3.9
平成 27 年度	スイスデザイン展	15,337	601	3.9
	富士山－信仰と芸術－	13,404	404	3.0
	写真家の眼／版画家の眼	4,126	290	7.0



(2) 観覧者の属性

① 性別

全体

		件数 (件)	男性	女性	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	23.5	76.5	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	43.0	56.8	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	46.2	53.8	0.0
経 年	平成 28 年度全体	1237	37.8	62.1	0.1
	平成 27 年度全体	1295	44.7	55.3	
平成 27 年度	スイスデザイン展	601	41.1	58.9	
	富士山－信仰と芸術－	404	49.3	50.7	
	写真家の眼／版画家の眼	290	45.9	54.1	

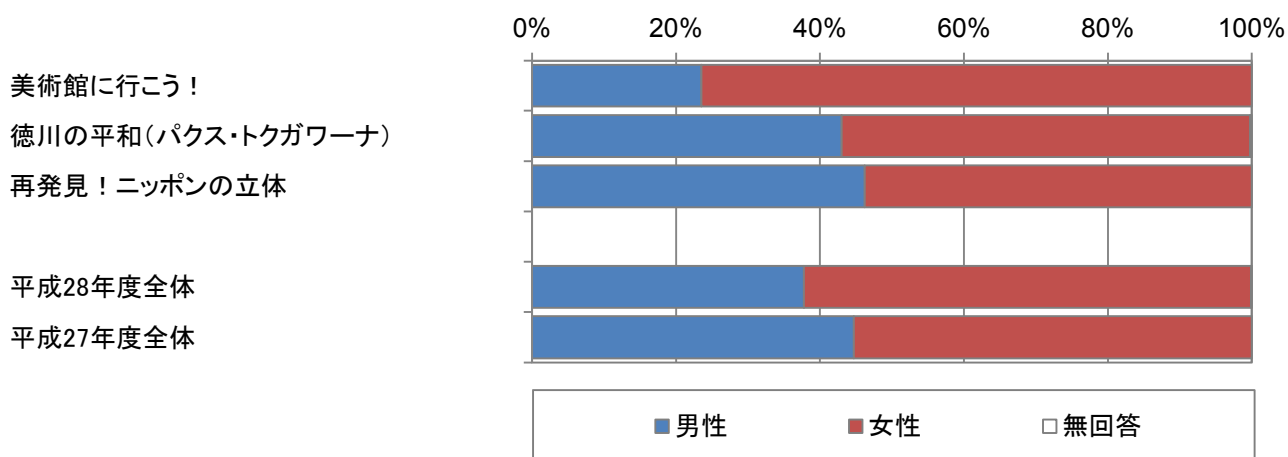
単位：％

新規来館者

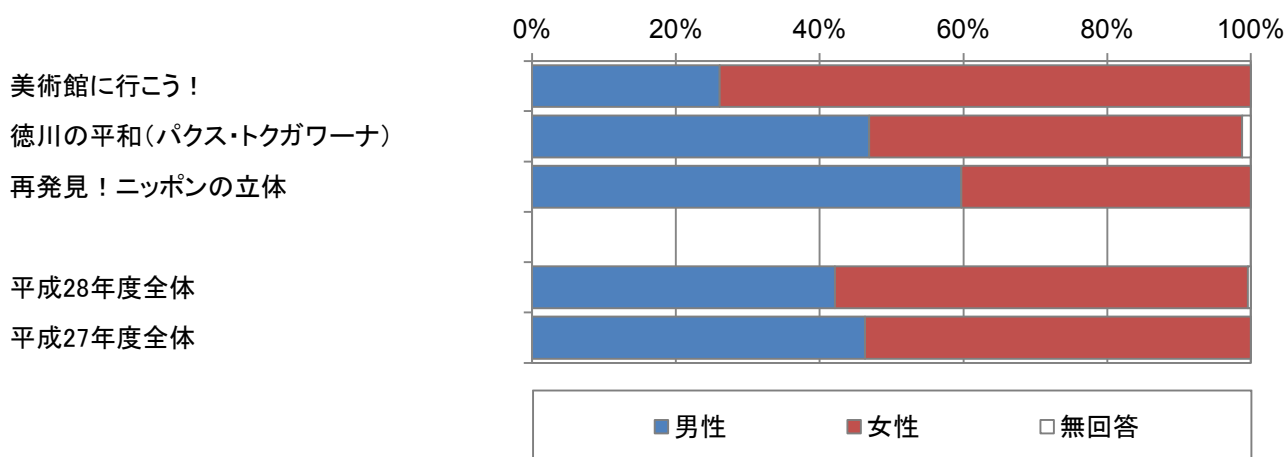
		件数 (件)	男性	女性	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	26.1	73.9	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	46.9	51.9	1.2
	再発見！ニッポンの立体	62	59.7	40.3	0.0
経 年	平成 28 年度全体	235	42.1	57.4	0.4
	平成 27 年度全体	257	46.3	53.7	
平成 27 年度	スイスデザイン展	137	48.2	51.8	
	富士山－信仰と芸術－	67	44.8	55.2	
	写真家の眼／版画家の眼	53	43.4	56.6	

単位：％

<全体>



<新規来館者>



性別について、平成 28 年度全体は、「男性」が 37.8%、「女性」が 62.1%と、平成 27 年度全体より「男性」が 6.9 ポイント低くなり、「女性」が 6.8 ポイント高くなっている。

展覧会別にみると、「男性」が最も高いのは、『再発見! ニッポンの立体』の 46.2%となっている。「女性」が最も高いのは、『美術館に行こう!』の 76.5%となっている。

新規来館者の平成 28 年度全体は、「男性」が 42.1%、「女性」が 57.4%と、平成 27 年度全体より「男性」が 4.2 ポイント低くなり、「女性」が 3.7 ポイント高くなっている。

展覧会別にみると、「男性」が最も高いのは、『再発見! ニッポンの立体』の 59.7%、「女性」が最も高いのは、『美術館に行こう!』の 73.9%となっている。

② 年齢

全体

		件数 (件)	12 歳 以下	13 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上	無 回 答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	0.5	10.5	14.0	31.6	21.7	13.0	5.4	3.3	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	0.4	1.6	5.1	7.6	17.2	19.7	31.1	17.0	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	1.0	6.3	11.6	11.1	21.1	19.6	17.8	11.6	0.0
経 年	平成 28 年度全体	1237	0.6	5.9	10.0	16.3	19.9	17.5	18.7	10.9	0.1
	平成 27 年度全体	1295	2.4	10.0	12.7	14.4	17.6	19.2	14.4	9.3	
平成 27 年度	スイスデザイン展	601	4.0	15.3	15.8	16.5	22.1	16.3	7.3	2.7	
	富士山ー信仰と芸術ー	404	0.5	4.5	7.7	9.4	12.9	22.5	22.8	19.8	
	写真家の眼／版画家の眼	290	1.7	6.9	13.4	17.2	14.8	20.3	17.2	8.3	

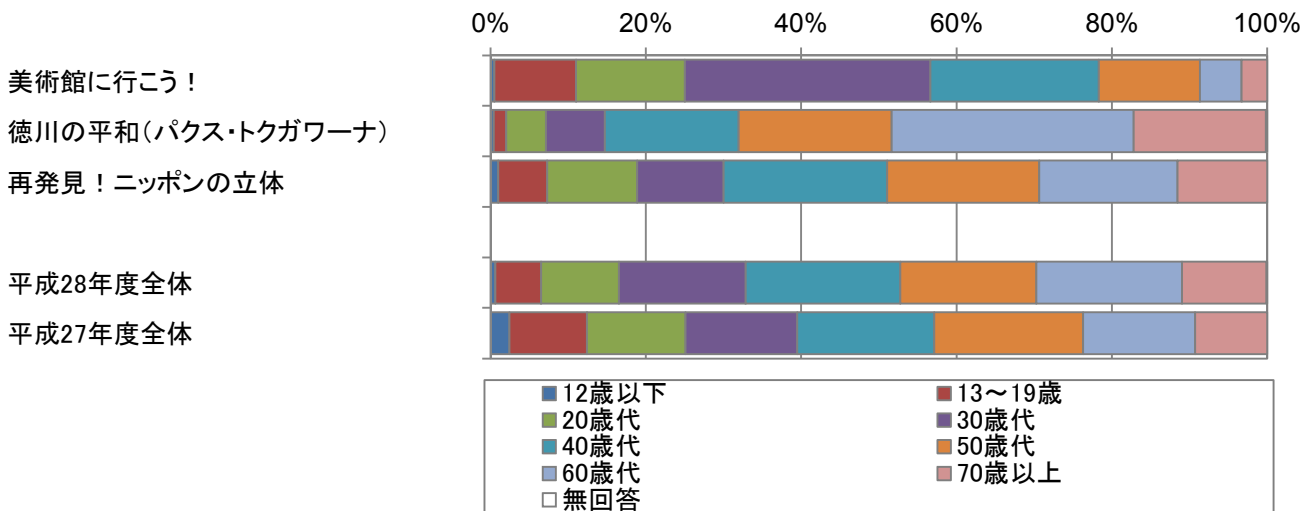
単位：%

新規来館者

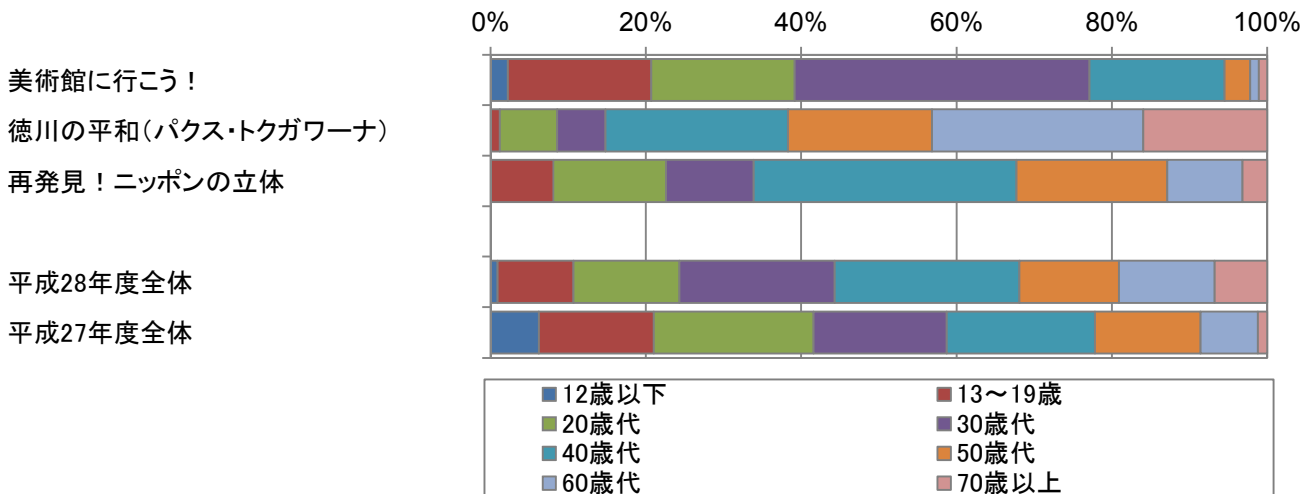
		件数 (件)	12 歳 以下	13 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	2.2	18.5	18.5	38.0	17.4	3.3	1.1	1.1
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	0.0	1.2	7.4	6.2	23.5	18.5	27.2	16.0
	再発見！ニッポンの立体	62	0.0	8.1	14.5	11.3	33.9	19.4	9.7	3.2
経 年	平成 28 年度全体	235	0.9	9.8	13.6	20.0	23.8	12.8	12.3	6.8
	平成 27 年度全体	257	6.2	14.8	20.6	17.1	19.1	13.6	7.4	1.2
平成 27 年度	スイスデザイン展	137	10.2	17.5	22.6	16.8	19.7	8.8	3.6	0.7
	富士山ー信仰と芸術ー	67	0.0	11.9	14.9	22.4	10.4	25.4	13.4	1.5
	写真家の眼／版画家の眼	53	3.8	11.3	22.6	11.3	28.3	11.3	9.4	1.9

単位：%

<全体>



<新規来館者>



年齢について、平成28年度全体は、「40歳代」が19.9%と最も高く、次いで「60歳代」が18.7%、「50歳代」が17.5%の順となっている。

展覧会別にみると、『美術館に行こう!』では「30歳代」が31.6%と、他の展覧会と比べて20.5ポイント以上高くなっている。また『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』では「60歳代」が31.1%と、他の展覧会と比べて13.3ポイント以上高くなっている。

新規来館者の平成28年度全体は、「40歳代」が23.8%と最も高く、次いで「30歳代」が20.0%、「20歳代」が13.6%の順となっている。

展覧会別にみると、『美術館に行こう!』では「30歳代」が38.0%と、他の展覧会と比べて26.7ポイント以上高くなっている。また、「13~19歳」が18.5%と、他の展覧会と比べて10.4ポイント以上高くなっている。『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』では「60歳代」が27.2%と、他の展覧会と比べて17.5ポイント以上高くなっている。また、「70歳以上」が16.0%と、他の展覧会と比べて12.8ポイント以上高くなっている。『再発見! ニッポンの立体』では「40歳代」が33.9%と、他の展覧会と比べて10.4ポイント以上高くなっている。

③ 居住地

全体

		件数 (件)	静岡市	中部 (静岡市以外)	西部	東部	賀茂	県外	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	54.8	12.8	9.4	16.3	0.3	5.9	0.5
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	36.9	11.4	15.7	17.2	0.4	18.1	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	49.0	10.6	13.3	15.1	1.0	10.1	1.0
経 年	平成 28 年度全体	1237	46.5	11.6	12.9	16.2	0.6	11.6	0.6
	平成 27 年度全体	1295	46.1	11.7	14.7	16.8	0.4	10.3	
平成 27 年度	スイスデザイン展	601	48.1	10.8	16.5	14.6	0.3	9.7	
	富士山ー信仰と芸術ー	404	45.0	10.9	12.9	19.8	0.7	10.6	
	写真家の眼／版画家の眼	290	43.4	14.8	13.8	16.9	0.0	11.0	

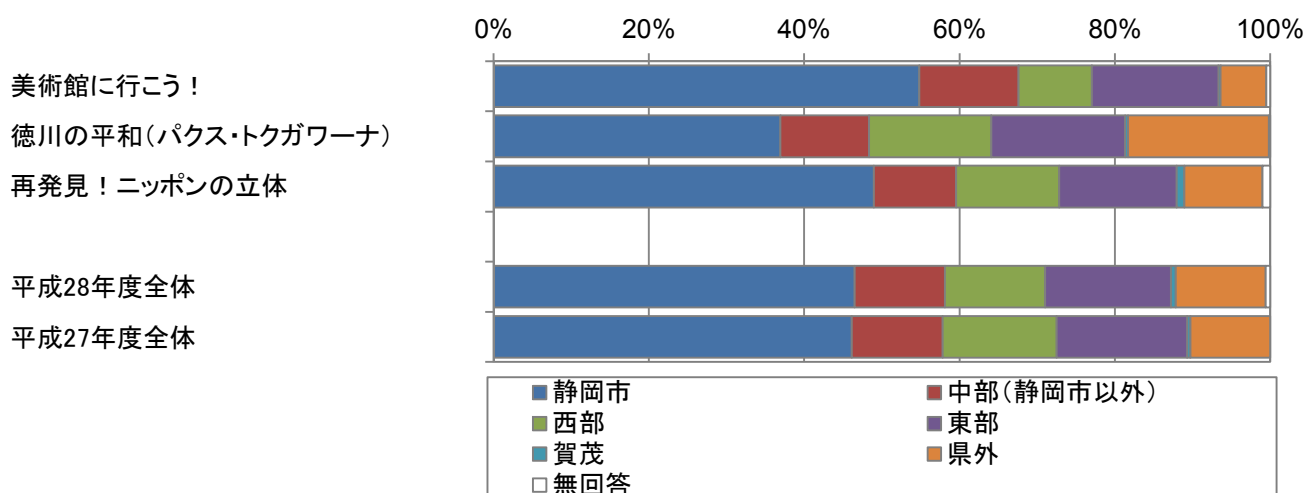
単位：％

新規来館者

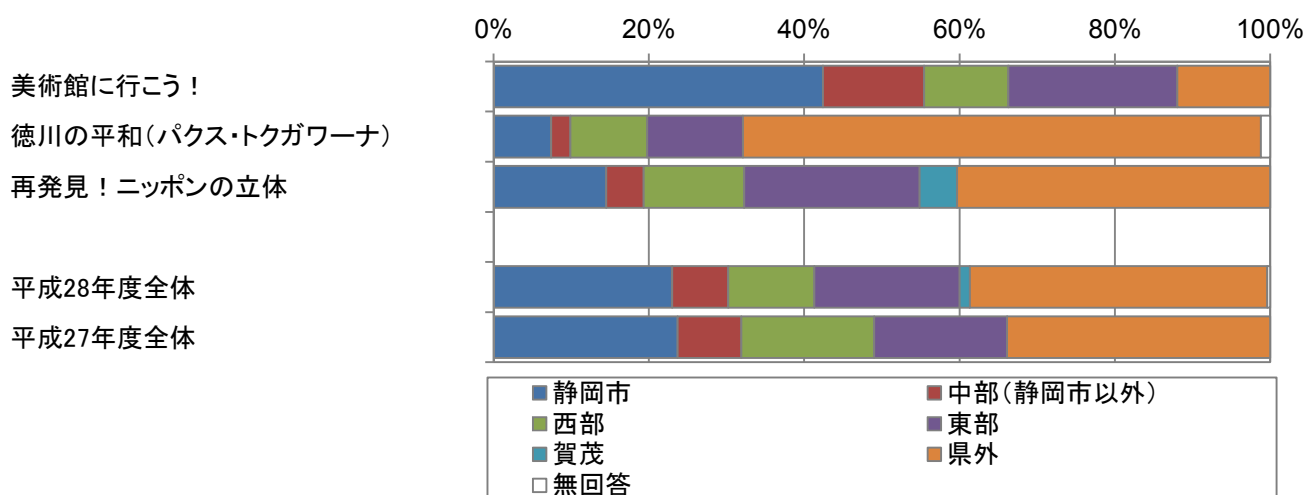
		件数 (件)	静岡市	中部 (静岡市以外)	西部	東部	賀茂	県外	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	42.4	13.0	10.9	21.7	0.0	12.0	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	7.4	2.5	9.9	12.3	0.0	66.7	1.2
	再発見！ニッポンの立体	62	14.5	4.8	12.9	22.6	4.8	40.3	0.0
経 年	平成 28 年度全体	235	23.0	7.2	11.1	18.7	1.3	38.3	0.4
	平成 27 年度全体	257	23.7	8.2	17.1	17.1	0.0	33.9	
平成 27 年度	スイスデザイン展	137	28.5	7.3	20.4	16.1	0.0	27.7	
	富士山ー信仰と芸術ー	67	22.4	9.0	10.4	14.9	0.0	43.3	
	写真家の眼／版画家の眼	53	13.2	9.4	17.0	22.6	0.0	37.7	

単位：％

<全体>



<新規来館者>



居住地について、平成28年度全体は、「静岡市」が46.5%と最も高く、次いで「東部」が16.2%、「西部」が12.9%の順となっている。

展覧会別にみると、『美術館に行こう!』と『再発見! ニッポンの立体』では、「静岡市」と「中部(静岡市以外)」を合わせた「中部」が半数を超えている。また、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』では「県外」が18.1%と、他の展覧会と比べて8ポイント以上高くなっている。

新規来館者の平成28年度全体は、「県外」が38.3%と最も高く、次いで「静岡市」が23.0%、「東部」が18.7%の順となっている。

展覧会別にみると、『美術館に行こう!』では「静岡市」が42.4%と、他の展覧会と比べて27.9ポイント以上高くなっている。『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』では「県外」が66.7%と、他の展覧会と比べて26.4ポイント以上高くなっている。

(3) 観覧者の行動

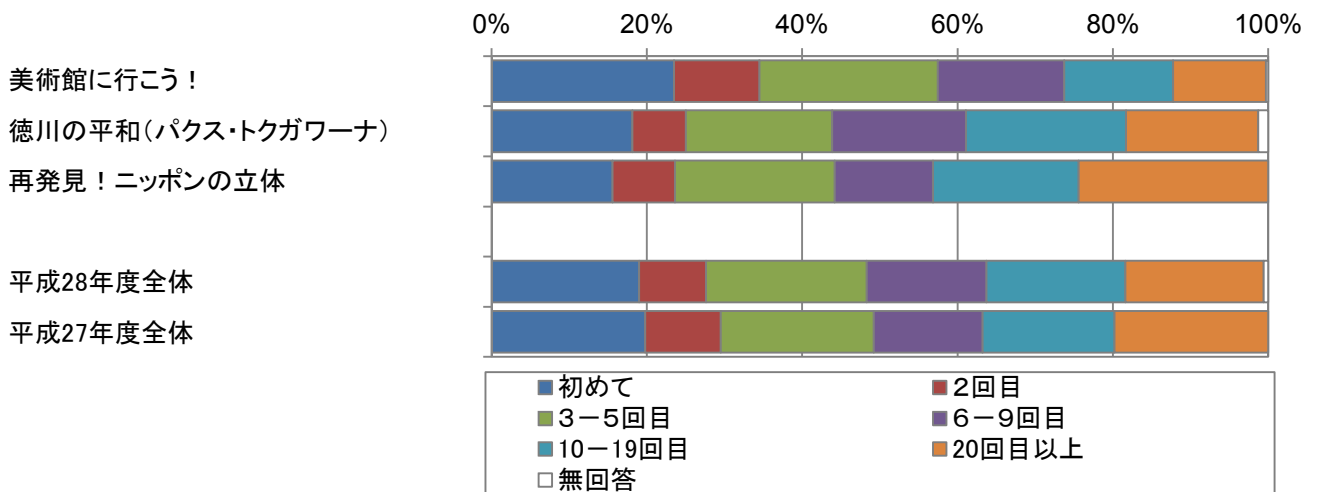
① 美術館への来館回数

全体

		件数 (件)	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	23.5	11.0	23.0	16.3	14.0	12.0	0.3
	徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)	447	18.1	6.9	18.8	17.2	20.6	17.0	1.3
	再発見！ニッポンの立体	398	15.6	8.0	20.6	12.6	18.8	24.4	0.0
経 年	平成 28 年度全体	1237	19.0	8.6	20.7	15.4	17.9	17.8	0.6
	平成 27 年度全体	1295	19.8	9.7	19.7	14.0	17.0	19.8	
平成 27 年度	スイスデザイン展	601	22.8	11.6	23.0	13.1	14.1	15.3	
	富士山ー信仰と芸術ー	404	16.6	6.7	16.8	16.6	21.5	21.8	
	写真家の眼／版画家の眼	290	18.3	10.0	16.9	12.1	16.6	26.2	

単位：%

<全体>



美術館への来館回数について、平成28年度全体は、「3-5回目」が20.7%と最も高く、次いで「初めて」が19.0%、「10-19回目」が17.9%の順となっている。

展覧会別にみると、「初めて」が最も高いのは『美術館に行こう!』の23.5%で、次いで『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が18.1%、『再発見! ニッポンの立体』が15.6%の順となっている。

② 来館時の人数

全体

		件数 (件)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人 以上
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	19.1	43.9	18.6	11.5	2.0	4.8
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	26.2	60.4	7.2	3.1	0.4	2.7
	再発見！ニッポンの立体	398	37.9	47.2	5.3	5.3	1.0	3.3
経 年	平成 28 年度全体	1237	27.7	50.9	10.2	6.5	1.1	3.6
	平成 27 年度全体	1295	27.7	51.3	10.1	5.9	0.9	4.0
平成 27 年度	スイスデザイン展	601	21.5	52.9	13.3	7.3	1.2	3.8
	富士山ー信仰と芸術ー	404	30.7	53.5	8.2	4.2	1.2	2.2
	写真家の眼／版画家の眼	290	36.6	44.8	6.2	5.5	0.0	6.9

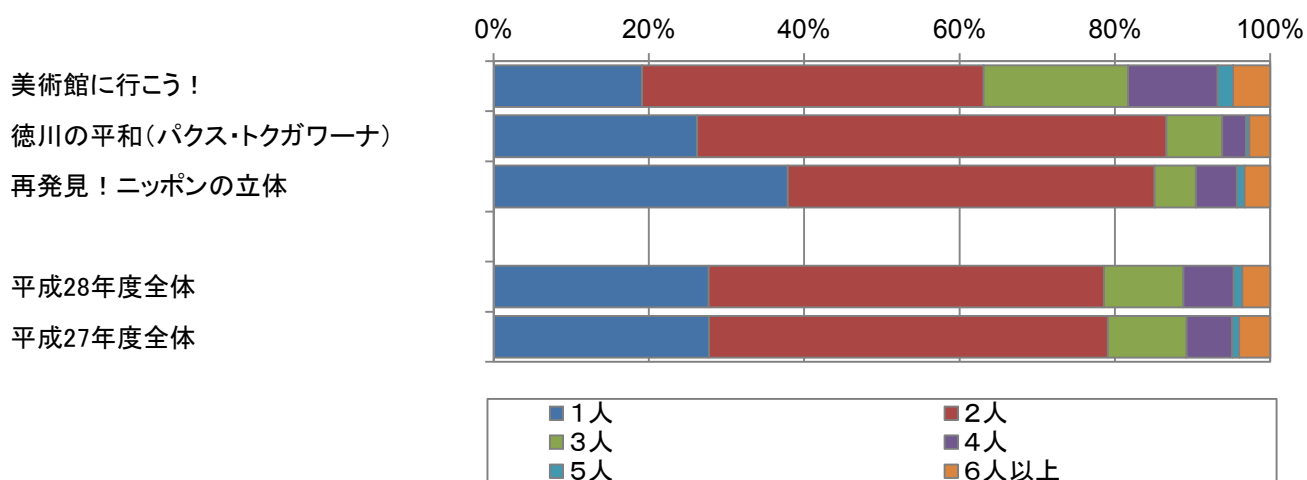
単位：％

新規来館者

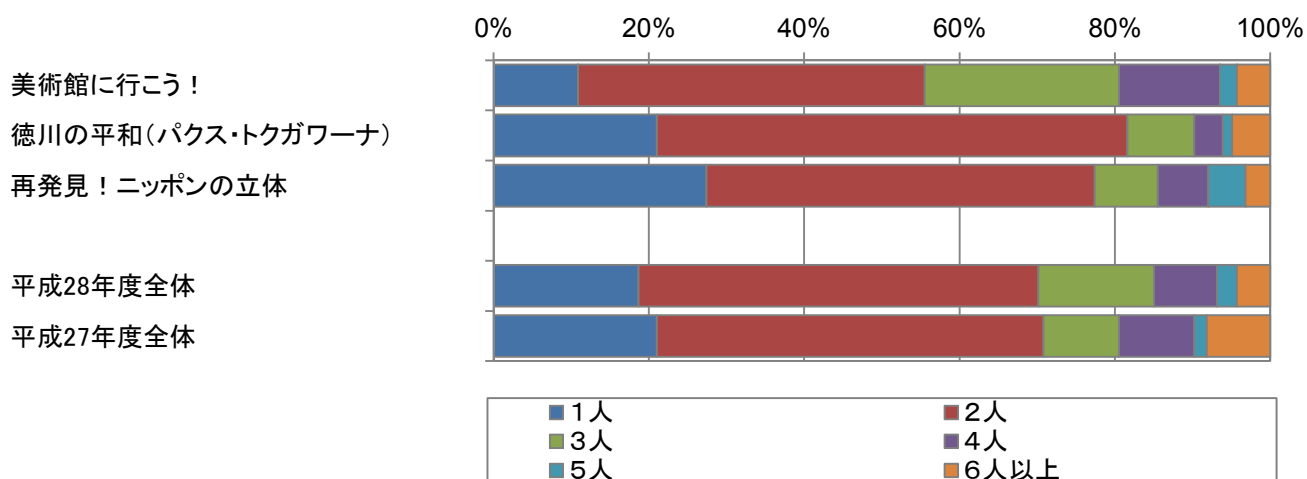
		件数 (件)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人 以上
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	10.9	44.6	25.0	13.0	2.2	4.3
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	21.0	60.5	8.6	3.7	1.2	4.9
	再発見！ニッポンの立体	62	27.4	50.0	8.1	6.5	4.8	3.2
経 年	平成 28 年度全体	235	18.7	51.5	14.9	8.1	2.6	4.3
	平成 27 年度全体	257	21.0	49.8	9.7	9.7	1.6	8.2
平成 27 年度	スイスデザイン展	137	10.2	54.7	11.7	13.1	2.9	7.3
	富士山ー信仰と芸術ー	67	34.3	43.3	9.0	4.5	0.0	9.0
	写真家の眼／版画家の眼	53	32.1	45.3	5.7	7.5	0.0	9.4

単位：％

<全体>



<新規来館者>



来館時の人数について、平成28年度全体は、「2人」が50.9%と最も高く、次いで「1人」が27.7%、「3人」が10.2%の順となっている。

展覧会別にみると、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』では「2人」が60.4%と、他の展覧会と比べて13.2ポイント以上高くなっている。『再発見！ニッポンの立体』では「1人」が37.9%と、他の展覧会と比べて11.7ポイント以上高くなっている。『美術館に行こう!』では「3人」が18.6%と、他の展覧会と比べて11.4ポイント以上高くなっている。

新規来館者の平成28年度全体は、「2人」が51.5%と最も高く、次いで「1人」が18.7%、「3人」が14.9%の順になっている。

展覧会別にみると、『美術館に行こう!』では「3人」が25.0%と、他の展覧会と比べて16.4ポイント以上高くなっている。『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』では「2人」が60.5%と、他の展覧会と比べて10.5ポイント以上高くなっている。

③ 当日の来館の同行者（複数回答可）

来館時の人数で、2人以上で来館したと回答した方のみ

全体

		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほかの	友人・ 知人	恋人	その他	無 回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	317	29.0	12.9	6.0	44.8	0.6	1.6	2.5	25.2	3.2	5.0	0.3
	徳川の平和(ワクス・トクガワナ)	330	58.2	10.0	6.1	10.6	1.5	0.6	3.3	20.0	2.4	0.0	0.3
	再発見！ニッポンの立体	247	38.5	11.7	2.8	12.1	1.6	0.4	2.8	25.5	8.9	3.6	0.4
経 年	平成 28 年度全体	894	42.4	11.5	5.1	23.2	1.2	0.9	2.9	23.4	4.5	2.8	0.3
	平成 27 年度全体	935	46.6	15.1	6.1	17.4	0.7	1.0	1.2	17.1	8.4	3.9	
平成 27 年度	スイスデザイン展	471	36.7	19.3	8.5	20.6	0.8	0.8	0.6	18.0	10.0	4.0	
	富士山－信仰と芸術－	280	60.7	10.7	3.6	12.1	1.1	1.8	2.1	16.4	5.0	2.5	
	写真家の眼／版画家の眼	184	50.5	10.9	3.8	17.4	0.0	0.0	1.1	15.8	9.8	5.4	

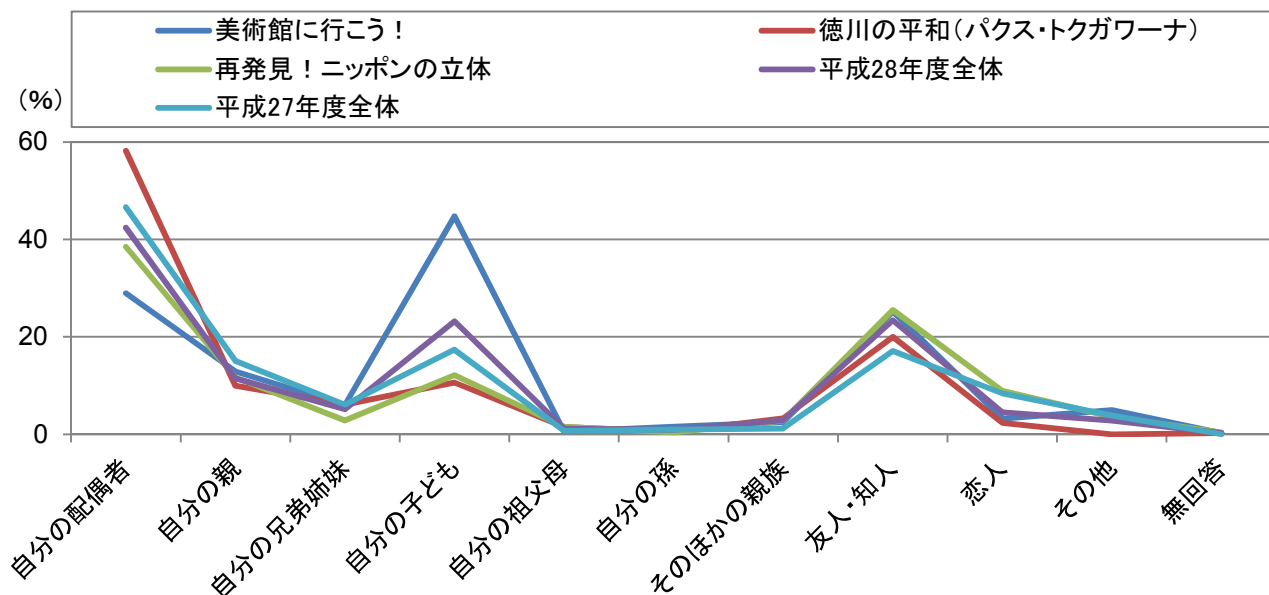
単位：%

新規来館者

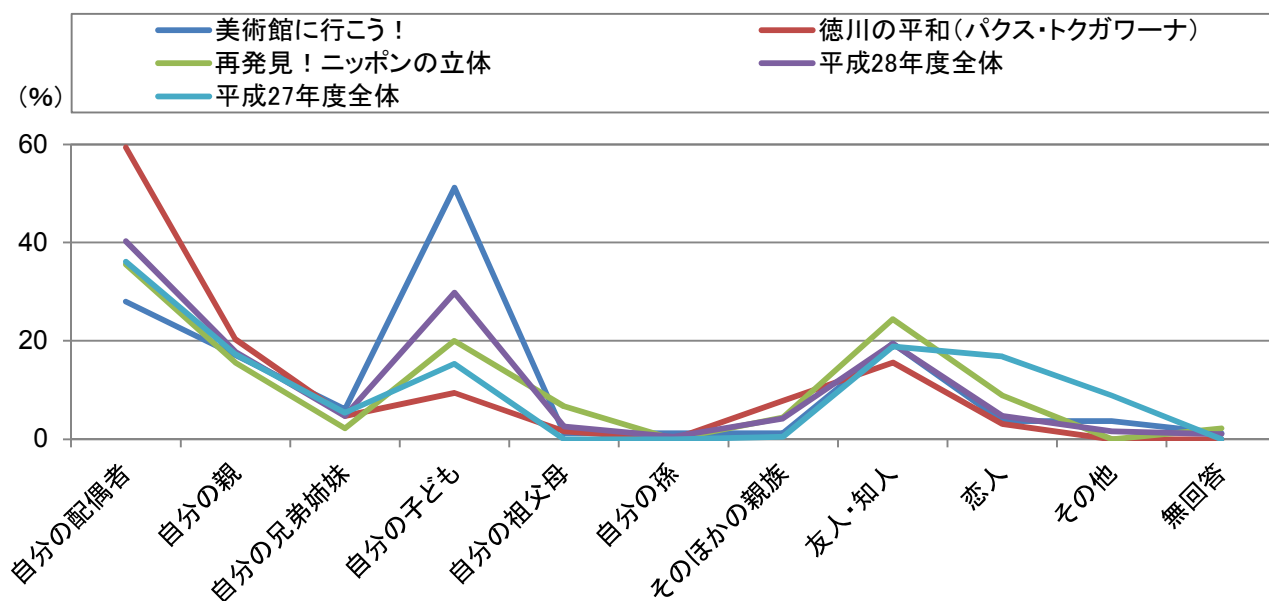
		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほかの	友人・ 知人	恋人	その他	無 回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	82	28.0	17.1	6.1	51.2	1.2	1.2	1.2	19.5	3.7	3.7	1.2
	徳川の平和(ワクス・トクガワナ)	64	59.4	20.3	4.7	9.4	1.6	0.0	7.8	15.6	3.1	0.0	0.0
	再発見！ニッポンの立体	45	35.6	15.6	2.2	20.0	6.7	0.0	4.4	24.4	8.9	0.0	2.2
経 年	平成 28 年度全体	191	40.3	17.8	4.7	29.8	2.6	0.5	4.2	19.4	4.7	1.6	1.0
	平成 27 年度全体	202	36.1	17.3	5.4	15.3	0.0	0.0	0.5	18.8	16.8	8.9	
平成 27 年度	スイスデザイン展	122	32.8	23.8	7.4	19.7	0.0	0.0	0.0	17.2	14.8	7.4	
	富士山－信仰と芸術－	44	45.5	2.3	0.0	6.8	0.0	0.0	2.3	29.5	15.9	11.4	
	写真家の眼／版画家の眼	36	36.1	13.9	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	25.0	11.1	

単位：%

＜全体＞



＜新規来館者＞



当日の来館の同行者について、平成 28 年度全体は、「自分の配偶者」が 42.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が 23.4%、「自分の子ども」が 23.2%の順となっている。

展覧会別にみると、『美術館に行こう！』では、「自分の子ども」が 44.8%と、他の展覧会と比べて 32.7 ポイント以上高くなっている。『徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)』では「自分の配偶者」が 58.2%と、他の展覧会と比べて 19.7 ポイント以上高くなっている。

新規来館者の平成 28 年度全体は、「自分の配偶者」が 40.3%と最も高く、次いで「自分の子ども」が 29.8%、「友人・知人」が 19.4%の順となっている。平成 27 年度全体と比べると、「自分の子ども」が 14.5 ポイント高くなっている。

展覧会別にみると、『美術館に行こう！』では「自分の子ども」が 51.2%と、他の展覧会と比べて 31.2 ポイント以上高くなっている。『徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)』では「自分の配偶者」が 59.4%と、他の展覧会と比べて 23.8 ポイント以上高くなっている。

④ 展覧会に来たきっかけ・理由（複数回答可）

全体

		件数 (件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	「県民だより」を見て	facebookなどを見て	静岡立美術館のホームページを見て	facebookなどを見て	その他のホームページ	いつもよく来ているので	静岡県立美術館に 来たいと思っていた	一度、静岡県立美術館に 勧められて	家族に誘われて・ 勧められて	友人・知人・恋人に 誘われて・勧められて	たまたま時間があつた	その他	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	29.3	25.0	7.4	11.2	-	20.4	4.6	11.7	5.9	16.8	12.0	16.6	18.9	0.0			
	徳川の平和（パクス・ トクガワーナ）	447	19.9	13.6	42.3	17.7	-	21.5	3.1	15.4	3.6	16.8	11.9	11.9	8.9	0.0			
	再発見！ニッポンの 立体	398	23.1	18.1	12.8	14.3	-	19.8	5.0	20.9	4.5	12.3	15.6	19.6	14.8	0.3			
経 年	平成 28 年度全体	1237	23.9	18.7	21.7	14.6	-	20.6	4.2	16.0	4.6	15.4	13.1	15.8	14.0	0.1			
	平成 27 年度全体	1294	17.2	8.7	13.8	7.7	2.2	13.8	5.6	8.6	4.3	16.5	12.1	10.7	14.9				
平成 27 年度	スイスデザイン展	600	20.5	10.0	5.2	11.7	1.3	14.5	5.5	7.0	3.3	18.8	11.3	6.8	17.0				
	富士山ー信仰と芸術ー	404	13.4	7.4	33.7	6.7	4.7	12.4	5.4	7.4	4.7	15.6	13.1	11.6	12.4				
	写真家の眼／版画家 の眼	290	15.5	7.6	3.8	1.0	0.3	14.1	5.9	13.4	5.9	12.8	12.1	17.2	14.1				

単位：%

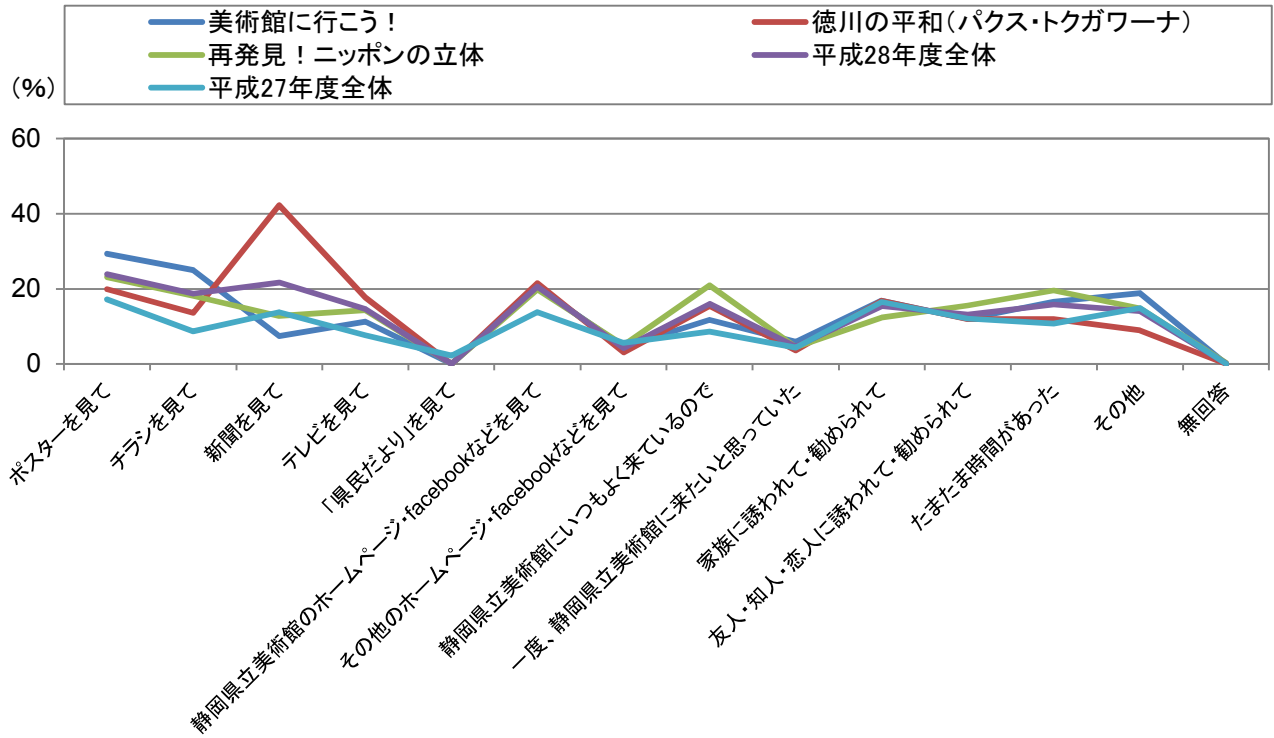
新規来館者

		件数 (件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	「県民だより」を見て	facebookなどを見て	静岡立美術館のホームページを見て	facebookなどを見て	その他のホームページ	いつもよく来ているので	静岡県立美術館に 来たいと思っていた	一度、静岡県立美術館に 勧められて	家族に誘われて・ 勧められて	友人・知人・恋人に 誘われて・勧められて	たまたま時間があつた	その他
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	19.6	22.8	1.1	17.4	-	16.3	3.3	0.0	16.3	21.7	10.9	16.3	21.7			
	徳川の平和（パクス・ トクガワーナ）	81	7.4	4.9	16.0	11.1	-	25.9	6.2	0.0	18.5	22.2	12.3	13.6	13.6			
	再発見！ニッポンの 立体	62	3.2	9.7	8.1	16.1	-	16.1	12.9	0.0	22.6	14.5	24.2	14.5	11.3			
経 年	平成 28 年度全体	235	11.1	13.2	8.1	14.9	-	19.6	6.8	0.0	18.7	20.0	14.9	14.9	16.2			
	平成 27 年度全体	257	12.5	4.7	5.4	9.3	1.2	10.9	5.1	0.0	19.1	14.4	18.3	12.5	17.1			
平成 27 年度	スイスデザイン展	137	19.0	5.1	2.9	13.1	1.5	8.8	2.2	0.0	11.7	16.8	16.1	7.3	21.2			
	富士山ー信仰と芸術ー	67	3.0	6.0	14.9	7.5	1.5	13.4	9.0	0.0	25.4	11.9	23.9	11.9	13.4			
	写真家の眼／版画家 の眼	53	7.5	1.9	0.0	1.9	0.0	13.2	7.5	0.0	30.2	11.3	17.0	26.4	11.3			

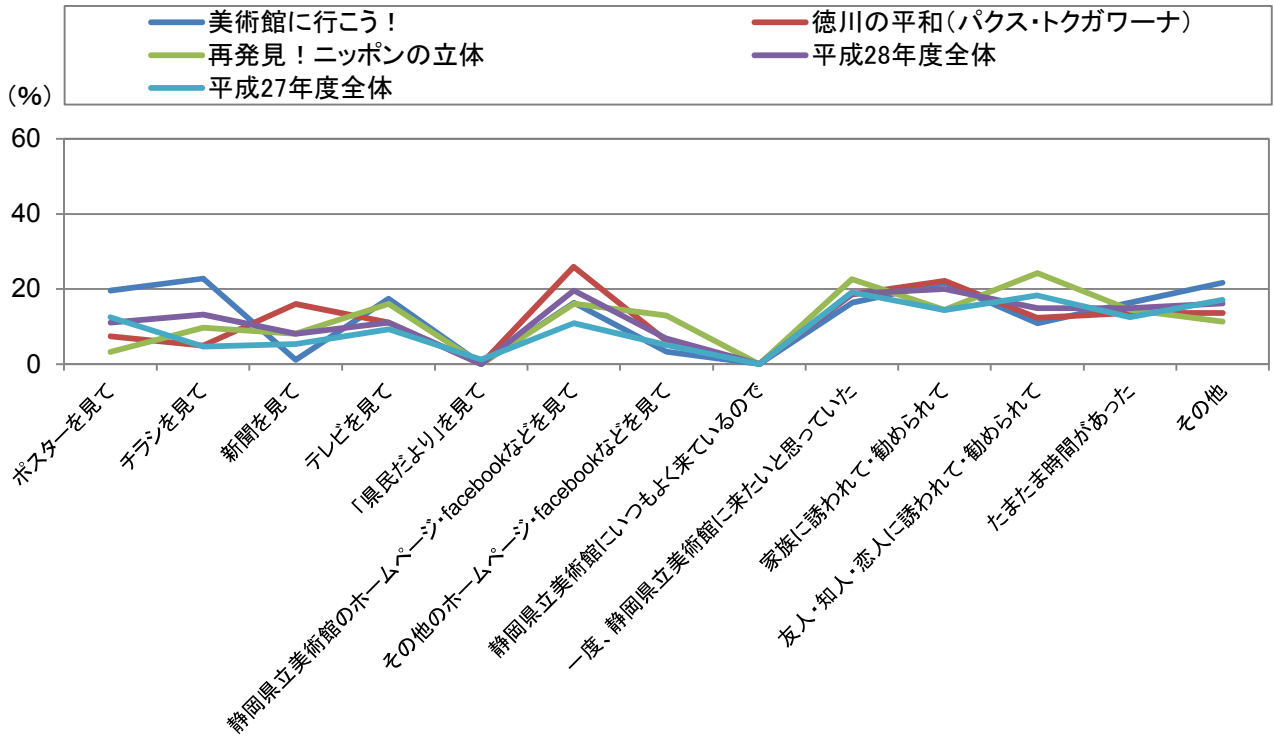
単位：%

※「「県民だより」を見て」は平成 27 年度のみを選択肢

＜全体＞



＜新規来館者＞



展覧会に来たきっかけ・理由について、平成 28 年度全体は、「ポスターを見て」が 23.9%と最も高く、次いで「新聞を見て」が 21.7%、「静岡県立美術館のホームページ・facebook などを見て」が 20.6%の順になっている。平成 27 年度全体と比べると、「チラシを見て」が 10 ポイント高くなっている。

展覧会別にみると、『美術館に行こう！』では「ポスターを見て」が 29.3%と最も高く、『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』では「新聞を見て」が 42.3%、『再発見！ニッポンの立体』では「ポスターを見て」が 23.1%となっている。『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』では、「新聞を見て」が 42.3%と、他の展覧会と比較し高くなっている。

新規来館者の平成 28 年度全体は、「家族に誘われて・勧められて」が 20.0%と最も高く、次いで「静岡県立美術館のホームページ・facebook などを見て」が 19.6%、「一度、静岡県立美術館に来たいと思っていた」が 18.7%の順になっている。平成 27 年度全体と比べると、「静岡県立美術館のホームページ・facebook などを見て」が 8.7 ポイント、「チラシを見て」が 8.5 ポイント高くなっている。

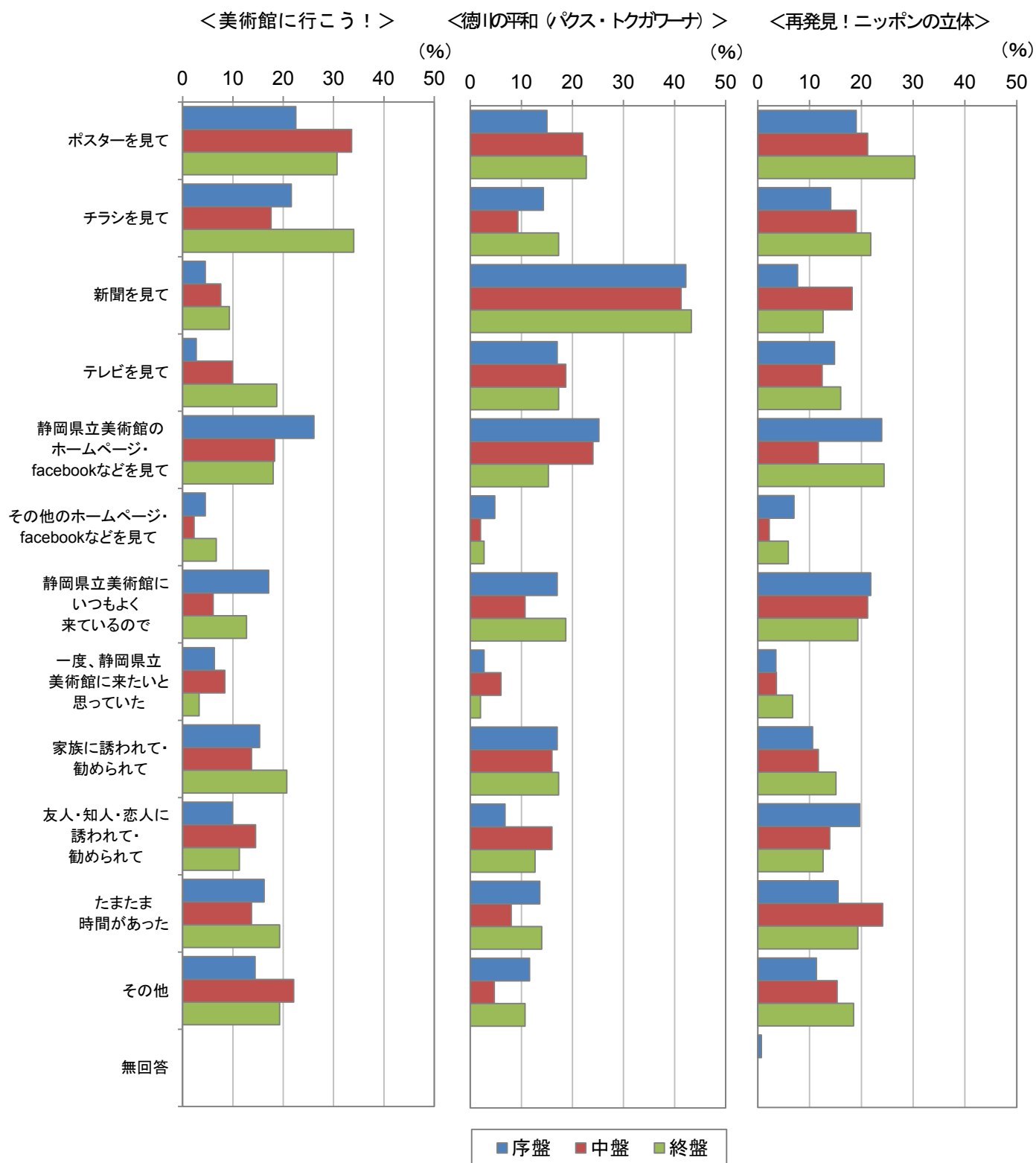
展覧会別にみると、『美術館に行こう！』では「チラシを見て」が 22.8%と最も高く、『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』では「静岡県立美術館のホームページ・facebook などを見て」が 25.9%、『再発見！ニッポンの立体』では「友人・知人・恋人に誘われて・勧められて」が 24.2%となっている。『美術館に行こう！』では、「チラシを見て」が 22.8%と、他の展覧会と比較し高くなっている。

来館時期別 展覧会に来たきっかけ・理由

展覧会	件数(件)			ポスターを見て			チラシを見て			新聞を見て			テレビを見て		
	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*
全体	392	447	398	29.3	19.9	23.1	25.0	13.6	18.1	7.4	42.3	12.8	11.2	17.7	14.3
序盤	111	147	142	22.5	15.0	19.0	21.6	14.3	14.1	4.5	42.2	7.7	2.7	17.0	14.8
中盤	131	150	137	33.6	22.0	21.2	17.6	9.3	19.0	7.6	41.3	18.2	9.9	18.7	12.4
終盤	150	150	119	30.7	22.7	30.3	34.0	17.3	21.8	9.3	43.3	12.6	18.7	17.3	16.0
	静岡県立美術館のホームページ・facebookなどを見て			その他のホームページ・facebookなどを見て			静岡県立美術館にいつもよく来ているので			一度、静岡県立美術館に来たいと思っていた			家族に誘われて・勧められて		
展覧会	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*
全体	20.4	21.5	19.8	4.6	3.1	5.0	11.7	15.4	20.9	5.9	3.6	4.5	16.8	16.8	12.3
序盤	26.1	25.2	23.9	4.5	4.8	7.0	17.1	17.0	21.8	6.3	2.7	3.5	15.3	17.0	10.6
中盤	18.3	24.0	11.7	2.3	2.0	2.2	6.1	10.7	21.2	8.4	6.0	3.6	13.7	16.0	11.7
終盤	18.0	15.3	24.4	6.7	2.7	5.9	12.7	18.7	19.3	3.3	2.0	6.7	20.7	17.3	15.1
	友人・知人・恋人に誘われて・勧められて			たまたま時間があつた			その他			無回答					
展覧会	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*			
全体	12.0	11.9	15.6	16.6	11.9	19.6	18.9	8.9	14.8	0.0	0.0	0.3			
序盤	9.9	6.8	19.7	16.2	13.6	15.5	14.4	11.6	11.3	0.0	0.0	0.7			
中盤	14.5	16.0	13.9	13.7	8.0	24.1	22.1	4.7	15.3	0.0	0.0	0.0			
終盤	11.3	12.7	12.6	19.3	14.0	19.3	19.3	10.7	18.5	0.0	0.0	0.0			

単位：%

- *展覧会A・・・美術館に行こう！
- 展覧会B・・・徳川の平和（パクス・トクガワーナ）
- 展覧会C・・・再発見！ニッポンの立体



来館時期別来館のきっかけについて、『美術館に行こう!』では「ポスターを見て」が<全体>29.3%と最も高く、<序盤>22.5%、<中盤>33.6%、<終盤>30.7%となっている。『徳川の平和 (パクス・トクガワナ)』では、「新聞を見て」が<全体>42.3%と最も高く、<序盤>42.2%、<中盤>41.3%、<終盤>43.3%となっている。『再発見! ニッポンの立体』では、「ポスターを見て」が<全体>23.1%と最も高く、<序盤>19.0%、<中盤>21.2%、<終盤>30.3%となっている。

⑤ 展覧会に来たきっかけ・理由の順位

全体

	件数 (件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	facebookなどを見て	静岡立美術館のホームページ	その他のホームページ	facebookなどを見て	いつもよく来ているので	静岡県立美術館に	来たいと思っていた	一度、静岡県立美術館に	家族に誘われて・勧められて	友人・知人・恋人に誘われて・勧められて	たまたま時間があつた	その他
1位	1236	13.3	8.2	12.5	7.4	11.3	2.4	8.1	2.1	9.2	9.0	5.4	11.2				
2位	569	12.8	14.4	12.3	8.3	14.2	1.4	8.3	2.3	7.6	4.4	10.2	3.9				
3位	276	13.8	11.2	10.1	8.7	7.2	2.5	10.5	5.1	7.6	5.1	14.9	3.3				
4位	111	9.9	11.7	9.9	10.8	9.0	5.4	13.5	2.7	8.1	6.3	11.7	0.9				
5位	62	14.5	6.5	9.7	9.7	6.5	1.6	8.1	1.6	4.8	8.1	27.4	1.6				

単位：%

美術館に行こう！

	件数 (件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	facebookなどを見て	静岡立美術館のホームページ	その他のホームページ	facebookなどを見て	いつもよく来ているので	静岡県立美術館に	来たいと思っていた	一度、静岡県立美術館に	家族に誘われて・勧められて	友人・知人・恋人に誘われて・勧められて	たまたま時間があつた	その他
1位	392	18.4	14.3	1.5	5.4	10.2	2.0	5.9	3.1	10.2	7.4	6.1	15.6				
2位	168	12.5	16.1	7.1	7.7	15.5	2.4	6.0	2.4	7.7	5.4	11.9	5.4				
3位	86	18.6	8.1	5.8	3.5	14.0	4.7	7.0	5.8	10.5	3.5	14.0	4.7				
4位	36	8.3	19.4	11.1	8.3	2.8	2.8	13.9	5.6	8.3	8.3	11.1	-				
5位	22	13.6	4.5	9.1	18.2	4.5	4.5	4.5	-	4.5	13.6	22.7	-				

単位：%

徳川の平和（パクス・トクガワーナ）

	件数 (件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	facebookなどを見て	facebookなどを見て	その他のホームページ	いつもよく来ているので	静岡県立美術館に 来たいと思っていた	一度、静岡県立美術館に 来たいと思っていた	家族に誘われて・ 勧められて	友人・知人・恋人に 誘われて・勧められて	たまたま時間があつた	その他
1位	447	7.8	4.3	27.1	7.4	12.5	2.5	6.9	1.1	11.2	8.1	4.5	6.7		
2位	217	12.4	12.0	20.7	10.6	12.4	0.9	8.3	2.8	7.8	3.7	5.5	2.8		
3位	101	15.8	9.9	14.9	14.9	5.9	1.0	9.9	4.0	5.9	5.9	9.9	2.0		
4位	44	9.1	11.4	11.4	13.6	13.6	-	15.9	2.3	4.5	4.5	13.6	-		
5位	21	28.6	4.8	14.3	9.5	4.8	-	9.5	-	-	4.8	23.8	-		

単位：%

再発見！ニッポンの立体

	件数 (件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	facebookなどを見て	facebookなどを見て	その他のホームページ	いつもよく来ているので	静岡県立美術館に 来たいと思っていた	一度、静岡県立美術館に 来たいと思っていた	家族に誘われて・ 勧められて	友人・知人・恋人に 誘われて・勧められて	たまたま時間があつた	その他
1位	397	14.4	6.5	6.8	9.3	11.1	2.8	11.6	2.3	6.0	11.6	5.8	11.8		
2位	184	13.6	15.8	7.1	6.0	15.2	1.1	10.3	1.6	7.1	4.3	14.1	3.8		
3位	89	6.7	15.7	9.0	6.7	2.2	2.2	14.6	5.6	6.7	5.6	21.3	3.4		
4位	31	12.9	3.2	6.5	9.7	9.7	16.1	9.7	-	12.9	6.5	9.7	3.2		
5位	19	-	10.5	5.3	-	10.5	-	10.5	5.3	10.5	5.3	36.8	5.3		

単位：%

展覧会に来たきっかけ・理由の1位について、平成28年度全体は、「ポスターを見て」が13.3%と最も高くなっている。

展覧会別にみると、『美術館に行こう！』では「ポスターを見て」が18.4%と最も高く、『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』では「新聞を見て」が27.1%、『再発見！ニッポンの立体』では「ポスターを見て」が14.4%となっている。『美術館に行こう！』と『再発見！ニッポンの立体』では、「ポスターを見て」が最も高くなっている一方、『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』では、「新聞を見て」が最も高くなっている。

⑥ 勧誘の手段（複数回答可）

展覧会に来たきっかけ・理由で、家族・友人・知人・恋人に誘われて・勧められてと回答した方のみ
全体

		件数 (件)	直接会って	電話で	SNSなど	携帯メール	eメール (パソコン)	その他	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	111	79.3	2.7	4.5	8.1	0.0	0.9	7.2
	徳川の平和（パクス・トクガワナー）	125	76.8	8.8	4.8	3.2	1.6	4.0	5.6
	再発見！ニッポンの立体	109	71.6	7.3	4.6	5.5	1.8	4.6	7.3
経 年	平成 28 年度全体	345	75.9	6.4	4.6	5.5	1.2	3.2	6.7
	平成 27 年度全体	358	81.6	2.8	7.3	6.4	1.1	4.5	
平成 27 年度	スイスデザイン展	178	81.5	1.7	7.3	7.3	2.2	2.2	
	富士山ー信仰と芸術ー	108	78.7	3.7	8.3	4.6	0.0	9.3	
	写真家の眼／版画家の眼	72	86.1	4.2	5.6	6.9	0.0	2.8	

単位：％

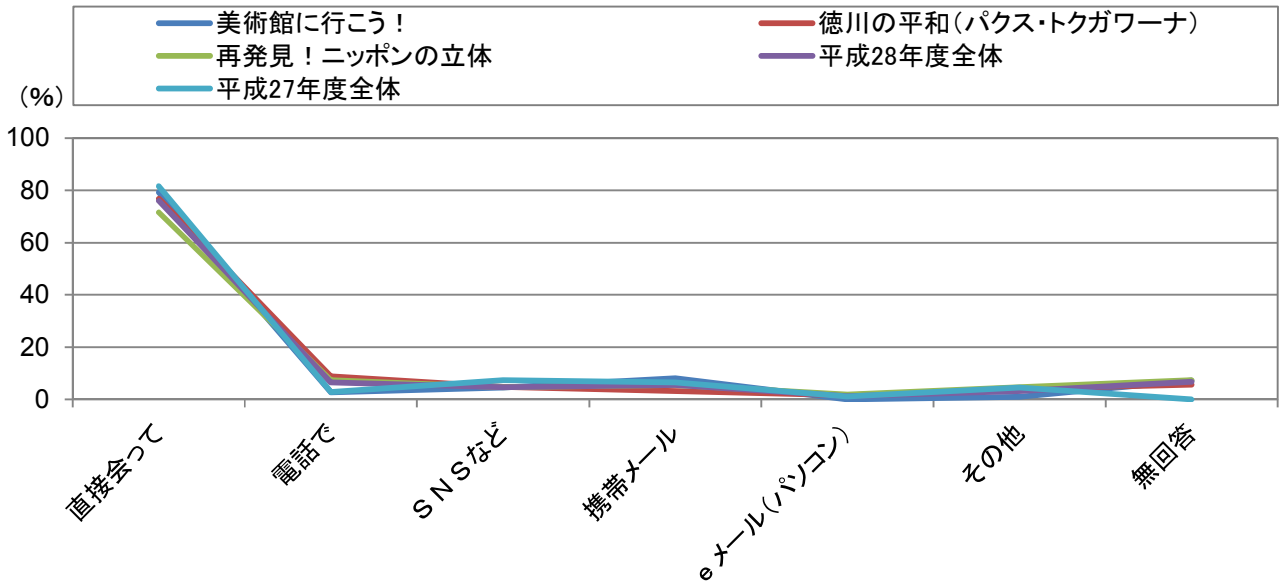
新規来館者

		件数 (件)	直接会って	電話で	SNSなど	携帯メール	eメール (パソコン)	その他	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	29	79.3	3.4	0.0	6.9	0.0	0.0	10.3
	徳川の平和（パクス・トクガワナー）	28	82.1	10.7	3.6	0.0	0.0	10.7	0.0
	再発見！ニッポンの立体	24	83.3	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	8.3
経 年	平成 28 年度全体	81	81.5	4.9	1.2	3.7	0.0	4.9	6.2
	平成 27 年度全体	84	77.4	1.2	19.0	7.1	1.2	2.4	
平成 27 年度	スイスデザイン展	45	77.8	0.0	15.6	8.9	2.2	0.0	
	富士山ー信仰と芸術ー	24	66.7	4.2	33.3	0.0	0.0	8.3	
	写真家の眼／版画家の眼	15	93.3	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	

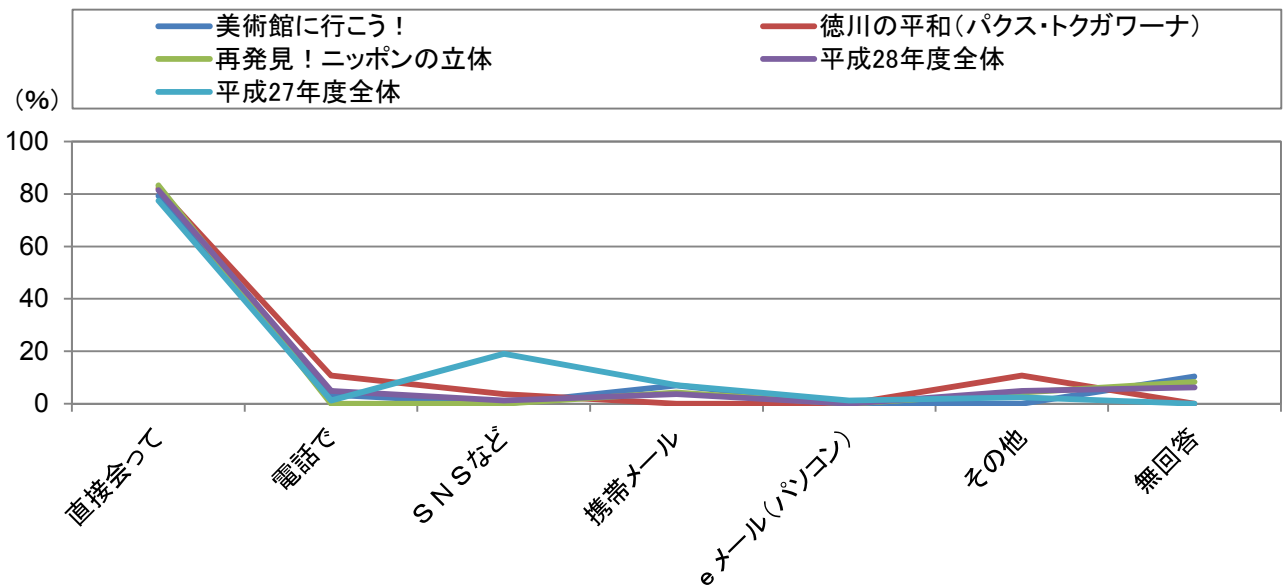
単位：％

※SNSなどはSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）LINE・facebook・twitter・mixiなどを示す

<全体>



<新規来館者>



勧誘の手段について、平成28年度全体は、「直接会って」が75.9%と最も高く、次いで「電話で」が6.4%、「携帯メール」が5.5%の順になっている。

新規来館者の平成28年度全体は、「直接会って」が81.5%と最も高く、次いで「電話で」が4.9%、「携帯メール」が3.7%の順になっている。平成27年度全体と比べると、「SNSなど」が17.8ポイント低くなっている。

(4) 展覧会の評価

① 作品やテーマへの興味・関心の深まり

全体

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回 答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	0.5	1.8	6.4	33.4	57.9	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	0.7	2.0	5.8	38.9	51.5	1.1
	再発見！ニッポンの立体	398	0.5	2.8	13.3	41.0	42.2	0.3
経 年	平成 28 年度全体	1237	0.6	2.2	8.4	37.8	50.5	0.5
	平成 27 年度全体	1280	0.6	2.3	12.3	41.6	43.1	
平成 27 年度	スイスデザイン展	594	0.3	1.7	7.6	39.7	50.7	
	富士山－信仰と芸術－	398	1.5	1.8	13.3	39.2	44.2	
	写真家の眼／版画家の眼	288	0.0	4.5	20.8	48.6	26.0	

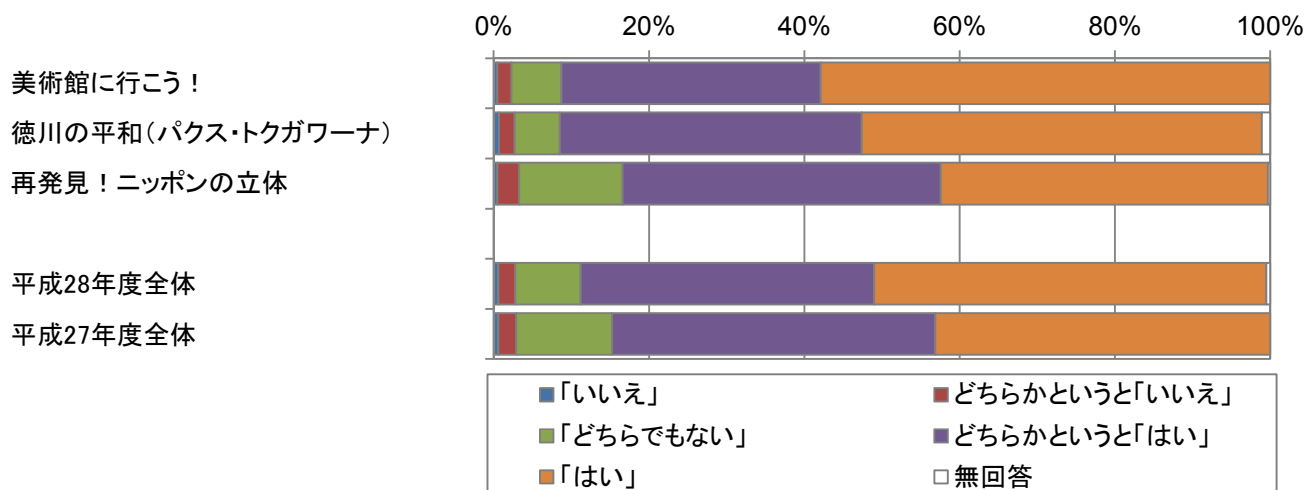
単位：％

新規来館者

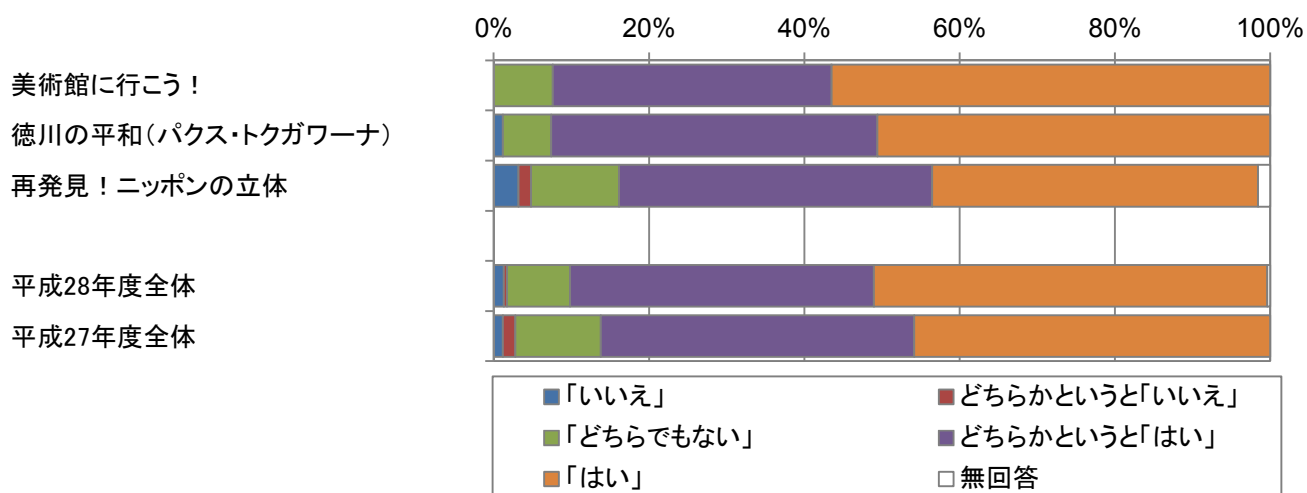
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回 答
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	0.0	7.6	35.9	56.5	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	0.0	6.2	42.0	50.6	0.0
	再発見！ニッポンの立体	62	3.2	1.6	11.3	40.3	41.9	1.6
経 年	平成 28 年度全体	235	1.3	0.4	8.1	39.1	50.6	0.4
	平成 27 年度全体	255	1.2	1.6	11.0	40.4	45.9	
平成 27 年度	スイスデザイン展	136	1.5	0.7	8.8	40.4	48.5	
	富士山－信仰と芸術－	66	1.5	1.5	13.6	27.3	56.1	
	写真家の眼／版画家の眼	53	0.0	3.8	13.2	56.6	26.4	

単位：％

<全体>



<新規来館者>



作品やテーマへの興味・関心の深まりについて、平成28年度全体は、「どちらかという「はい」」と「はい」を合わせた肯定的評価が88.4%となっている。肯定的評価は『美術館に行こう!』が91.3%、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が90.4%、『再発見! ニッポンの立体』が83.2%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという「いいえ」」を合わせた否定的評価は2.7%となっている。

新規来館者の平成28年度全体は、肯定的評価が89.8%となっている。肯定的評価は『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が92.6%、『美術館に行こう!』が92.4%、『再発見! ニッポンの立体』が82.3%の順になっている。

否定的評価は1.7%となっている。

② 会場における観覧時の心地よさ

全体

		件数 (件)	「くえ」	どちらかとい うと「くえ」	「ど ちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無 回 答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.3	2.0	5.9	27.3	63.5	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	0.9	2.2	6.7	29.3	60.6	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	1.0	2.0	6.0	31.7	59.3	0.0
経 年	平成 28 年度全体	1237	1.1	2.1	6.2	29.4	61.1	0.1
	平成 27 年度全体	1288	0.9	2.1	6.2	32.6	58.2	
平成 27 年度	スイスデザイン展	598	0.8	1.3	6.0	30.4	61.4	
	富士山ー信仰と芸術ー	401	1.2	2.0	5.2	35.4	56.1	
	写真家の眼／版画家の眼	289	0.3	3.8	8.0	33.2	54.7	

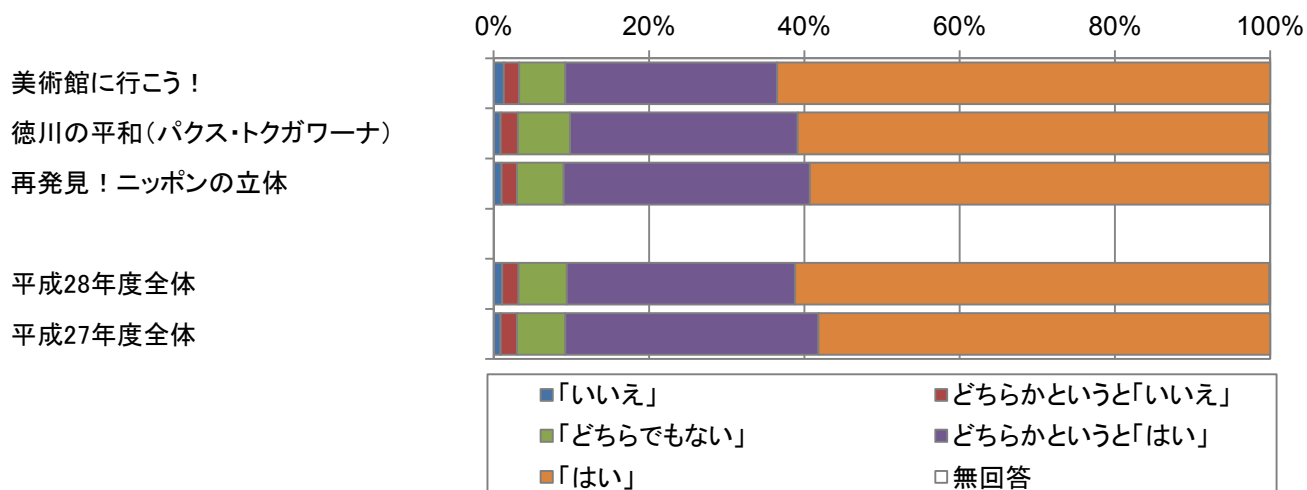
単位：％

新規来館者

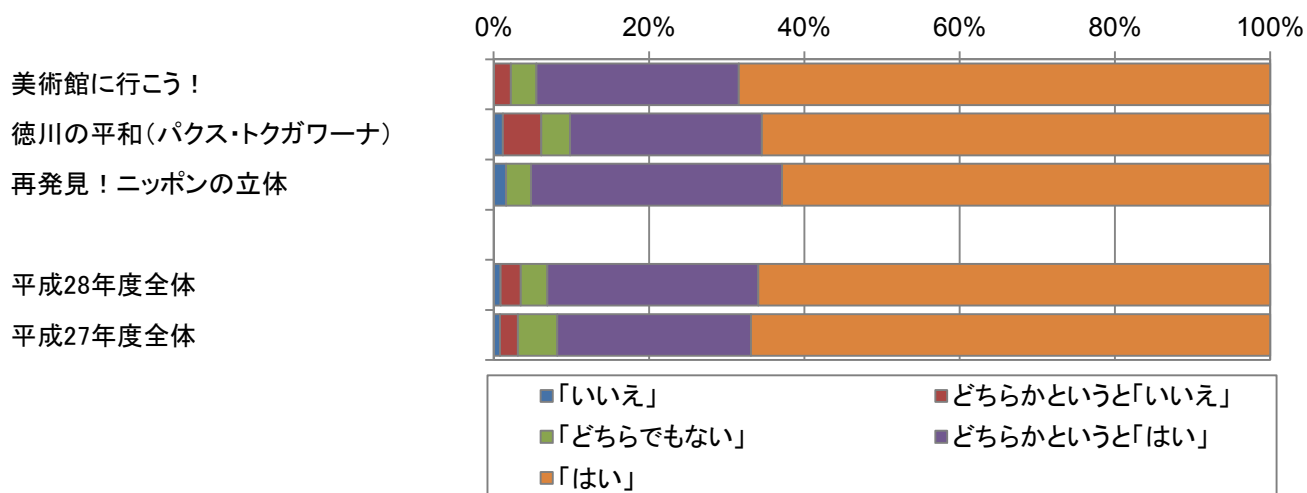
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「ど ちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	2.2	3.3	26.1	68.5
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	4.9	3.7	24.7	65.4
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	0.0	3.2	32.3	62.9
経 年	平成 28 年度全体	235	0.9	2.6	3.4	27.2	66.0
	平成 27 年度全体	257	0.8	2.3	5.1	24.9	66.9
平成 27 年度	スイスデザイン展	137	0.7	2.9	4.4	23.4	68.6
	富士山ー信仰と芸術ー	67	0.0	3.0	6.0	25.4	65.7
	写真家の眼／版画家の眼	53	1.9	0.0	5.7	28.3	64.2

単位：％

<全体>



<新規来館者>



会場における観覧時の心地よさについて、平成 28 年度全体は、「どちらかというと「はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が 90.5%となっている。肯定的評価は『再発見！ニッポンの立体』が 91.0%、『美術館に行こう！』が 90.8%、『徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)』が 89.9%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかというと「いいえ」を合わせた否定的評価は 3.2%となっている。

新規来館者の平成 28 年度全体は、肯定的評価が 93.2%となっている。肯定的評価は『再発見！ニッポンの立体』が 95.2%、『美術館に行こう！』が 94.6%、『徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)』が 90.1%の順になっている。

否定的評価は 3.4%となっている。

③ スタッフの対応の適切さ

全体

		件数 (件)	「こそね」	どちらかとい うと「こそね」	「どちららで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.0	1.0	9.9	24.7	63.0	0.3
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	0.9	1.3	12.5	30.0	55.0	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	0.8	2.0	14.8	28.6	53.8	0.0
経 年	平成 28 年度全体	1237	0.9	1.5	12.4	27.9	57.2	0.2
	平成 27 年度全体	1285	1.1	0.9	13.6	30.1	54.2	
平成 27 年度	スイスデザイン展	597	1.2	1.2	12.7	28.1	56.8	
	富士山ー信仰と芸術ー	399	1.5	0.8	12.5	33.3	51.9	
	写真家の眼／版画家の眼	289	0.3	0.7	17.0	29.8	52.2	

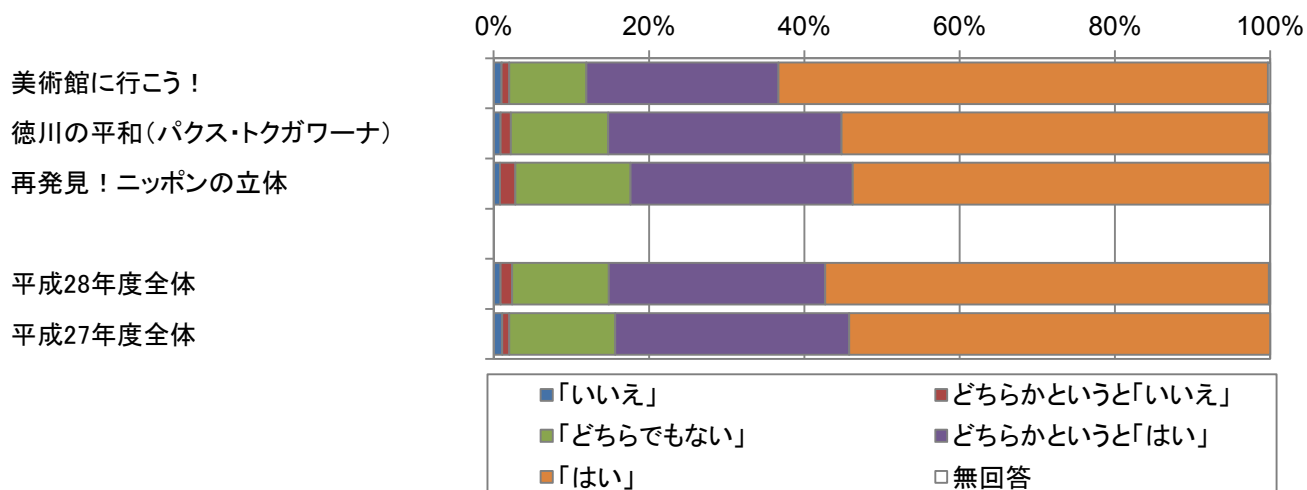
単位：％

新規来館者

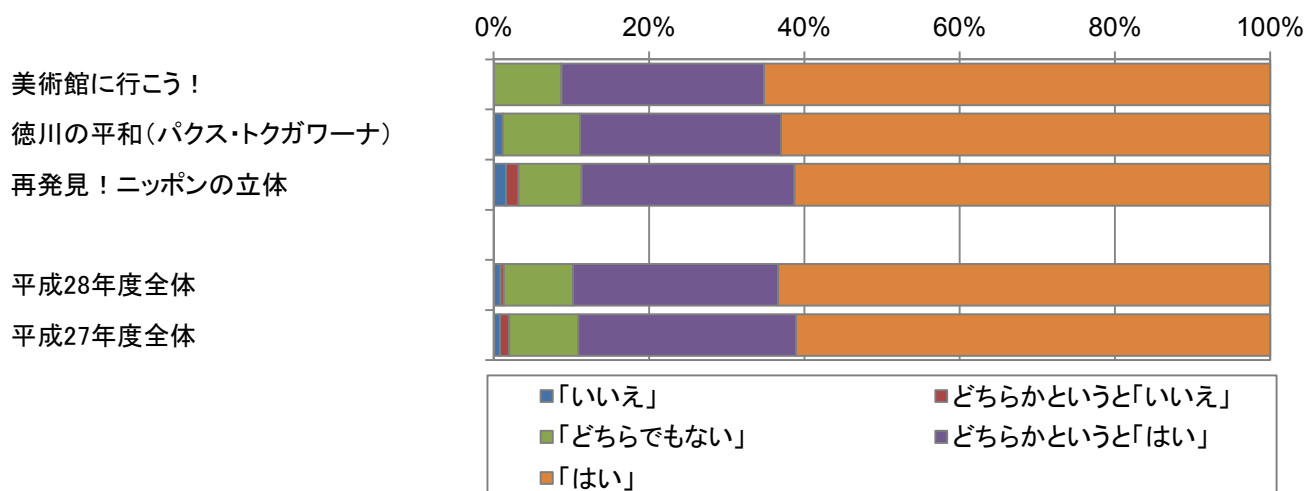
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちららで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	0.0	8.7	26.1	65.2
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	0.0	9.9	25.9	63.0
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	1.6	8.1	27.4	61.3
経 年	平成 28 年度全体	235	0.9	0.4	8.9	26.4	63.4
	平成 27 年度全体	257	0.8	1.2	8.9	28.0	61.1
平成 27 年度	スイスデザイン展	137	0.7	1.5	8.0	27.0	62.8
	富士山ー信仰と芸術ー	67	0.0	1.5	7.5	31.3	59.7
	写真家の眼／版画家の眼	53	1.9	0.0	13.2	26.4	58.5

単位：％

<全体>



<新規来館者>



スタッフの対応の適切さについて、平成28年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が85.0%となっている。肯定的評価は『美術館に行こう！』が87.8%、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が85.0%、『再発見！ニッポンの立体』が82.4%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は2.3%となっている。

新規来館者の平成28年度全体は、肯定的評価が89.8%となっている。肯定的評価は『美術館に行こう！』が91.3%、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が88.9%、『再発見！ニッポンの立体』が88.7%の順になっている。

否定的評価は1.3%となっている。

④ 展覧会のことを勧めたいか

全体

		件数 (件)	「こそえ」	どちらかとい うと「こそえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.0	1.3	18.4	29.3	50.0	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	1.6	2.7	26.0	33.8	36.0	0.0
	再発見！ニッポンの立体	398	2.5	2.3	31.2	36.7	27.1	0.3
経 年	平成 28 年度全体	1237	1.7	2.1	25.2	33.3	37.6	0.1
	平成 27 年度全体	1281	1.6	3.0	31.4	32.2	31.8	
平成 27 年度	スイスデザイン展	596	1.2	2.3	26.8	32.4	37.2	
	富士山－信仰と芸術－	396	2.8	2.5	29.5	34.3	30.8	
	写真家の眼／版画家の眼	289	1.0	5.2	43.3	28.7	21.8	

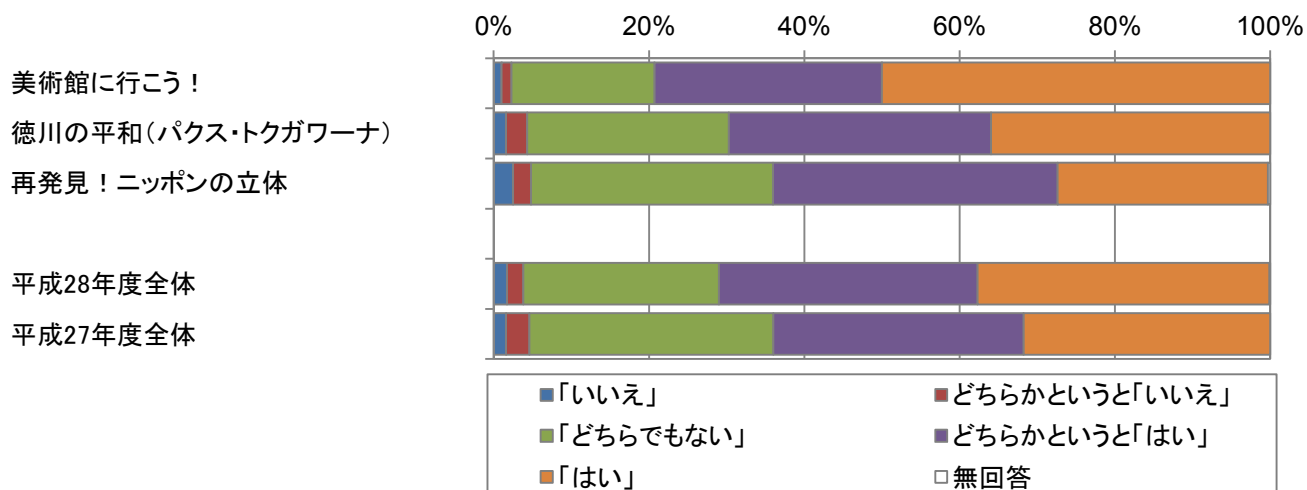
単位：％

新規来館者

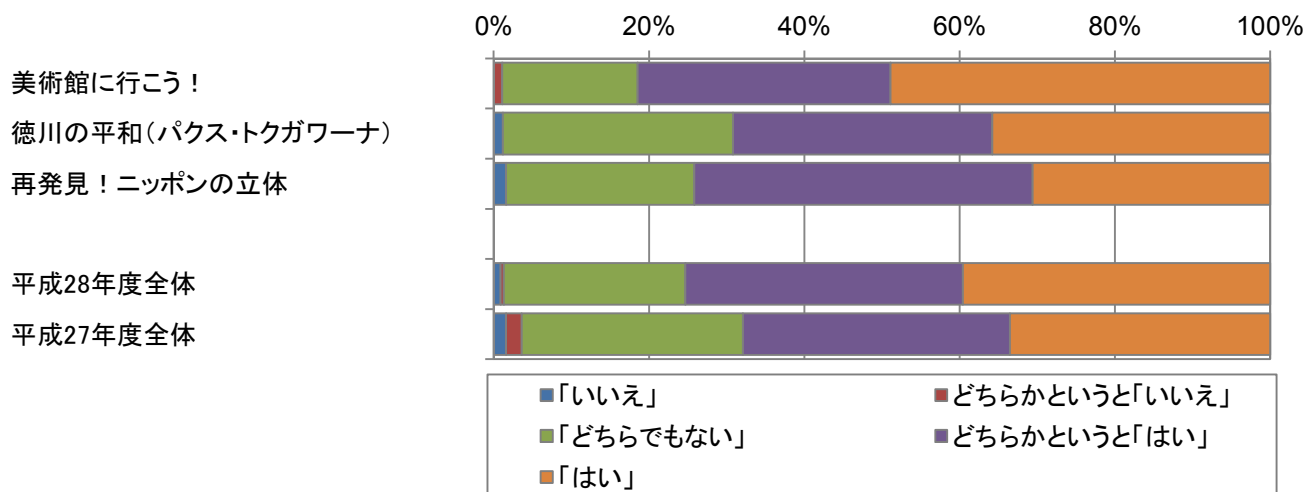
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	1.1	17.4	32.6	48.9
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	0.0	29.6	33.3	35.8
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	0.0	24.2	43.5	30.6
経 年	平成 28 年度全体	235	0.9	0.4	23.4	35.7	39.6
	平成 27 年度全体	256	1.6	2.0	28.5	34.4	33.6
平成 27 年度	スイスデザイン展	137	2.2	2.9	27.0	36.5	31.4
	富士山－信仰と芸術－	66	0.0	0.0	27.3	31.8	40.9
	写真家の眼／版画家の眼	53	1.9	1.9	34.0	32.1	30.2

単位：％

<全体>



<新規来館者>



展覧会のことを勧めたいかについて、平成 28 年度全体は、「どちらかという「はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が 70.9%となっている。肯定的評価は『美術館に行こう！』が 79.3%、『徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)』が 69.8%、『再発見！ニッポンの立体』が 63.8%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという「いいえ」を合わせた否定的評価は 3.8%となっている。

新規来館者の平成 28 年度全体は、肯定的評価が 75.3%となっている。肯定的評価は『美術館に行こう！』が 81.5%、『再発見！ニッポンの立体』が 74.2%、『徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)』が 69.1%の順になっている。

否定的評価は 1.3%となっている。

⑤ 情報の入手しやすさ

全体

		件数 (件)	「はい」	どちらかとい うと「はい」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.8	2.6	19.4	28.3	47.4	0.5
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	2.0	3.8	18.1	33.6	41.8	0.7
	再発見！ニッポンの立体	398	1.8	3.0	20.1	37.2	37.2	0.8
経 年	平成 28 年度全体	1237	1.9	3.2	19.2	33.1	42.1	0.6
	平成 27 年度全体	1270	1.7	4.0	23.6	34.9	35.7	
平成 27 年度	スイスデザイン展	595	1.8	4.7	25.0	32.1	36.3	
	富士山－信仰と芸術－	389	1.5	3.3	20.6	38.0	36.5	
	写真家の眼／版画家の眼	286	1.7	3.5	24.8	36.4	33.6	

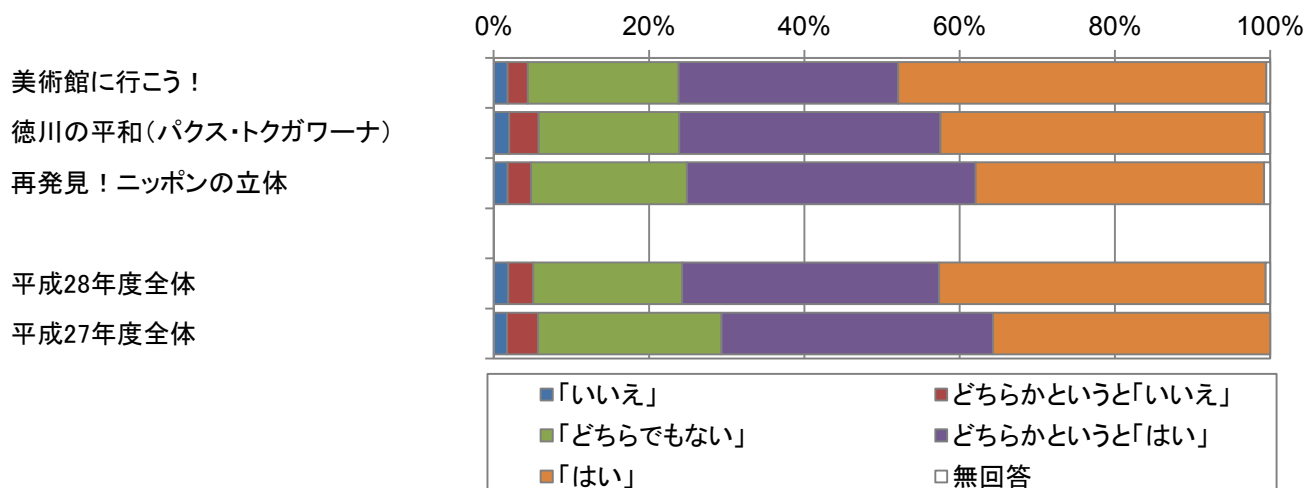
単位：％

新規来館者

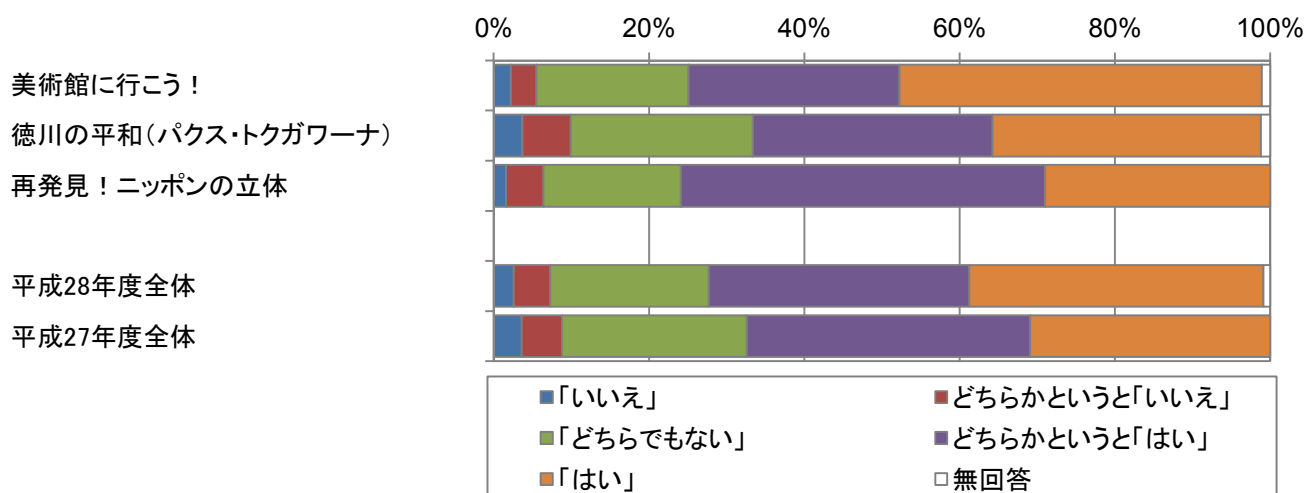
		件数 (件)	「はい」	どちらかとい うと「はい」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	2.2	3.3	19.6	27.2	46.7	1.1
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	3.7	6.2	23.5	30.9	34.6	1.2
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	4.8	17.7	46.8	29.0	0.0
経 年	平成 28 年度全体	235	2.6	4.7	20.4	33.6	37.9	0.9
	平成 27 年度全体	252	3.6	5.2	23.8	36.5	31.0	
平成 27 年度	スイスデザイン展	136	3.7	5.1	24.3	33.8	33.1	
	富士山－信仰と芸術－	64	1.6	4.7	18.8	37.5	37.5	
	写真家の眼／版画家の眼	52	5.8	5.8	28.8	42.3	17.3	

単位：％

<全体>



<新規来館者>



情報の入手しやすさについて、平成 28 年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が 75.2%となっている。肯定的評価は『美術館に行こう！』が 75.8%、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が 75.4%、『再発見！ニッポンの立体』が 74.4%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は 5.0%となっている。

新規来館者の平成 28 年度全体は、肯定的評価が 71.5%となっている。肯定的評価は『再発見！ニッポンの立体』が 75.8%、『美術館に行こう！』が 73.9%、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が 65.4%の順になっている。

否定的評価は 7.2%となっている。

⑥-1 来館の際の主な交通手段

全体

		件数 (件)	JR	静鉄電車	路線バス	タクシー	自家用車	バイク	自転車	徒歩のみ	その他	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	8.7	8.7	3.8	0.5	70.9	-	-	-	6.4	1.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	12.8	6.5	5.8	1.3	68.9	-	-	-	4.3	0.4
	再発見！ニッポンの立体	398	15.3	6.8	5.8	0.5	66.1	-	-	-	4.8	0.8
経 年	平成 28 年度全体	1237	12.3	7.3	5.2	0.8	68.6	-	-	-	5.1	0.7
	平成 27 年度全体	1294	12.1	6.7	9.0	0.9	70.2	0.8	2.7	4.9	0.9	
平成 27 年度	スイスデザイン展	601	10.3	6.7	8.5	0.5	71.7	0.8	3.0	3.8	1.3	
	富士山ー信仰と芸術ー	403	15.1	7.2	10.9	1.7	68.7	1.0	2.2	3.7	1.0	
	写真家の眼／版画家の眼	290	11.7	6.2	7.6	0.3	69.0	0.3	2.8	9.0	0.0	

単位：%

新規来館者

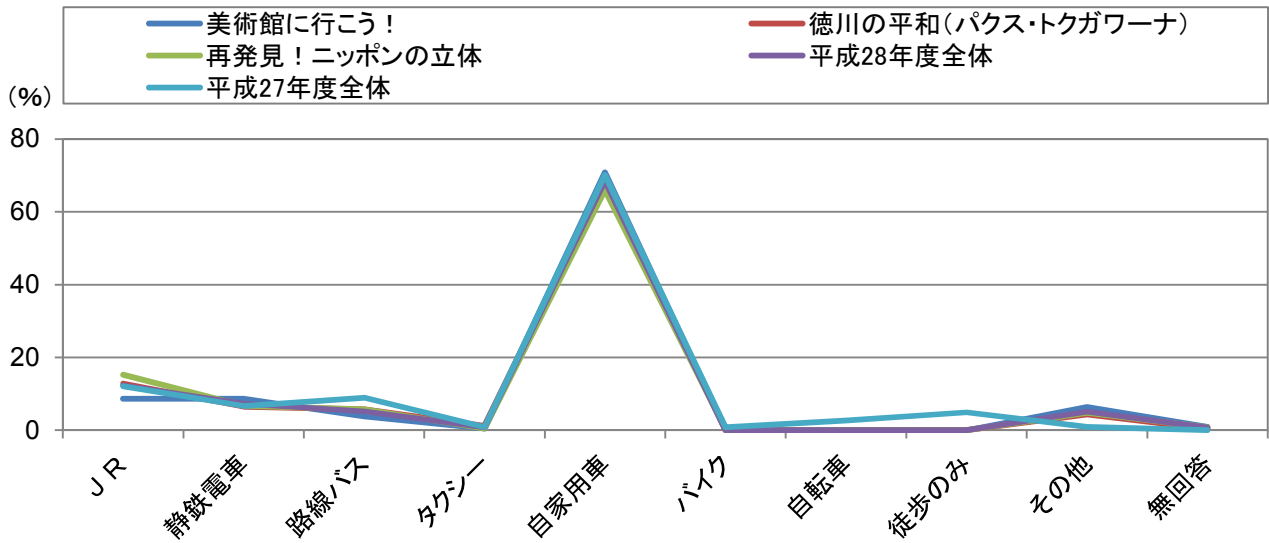
		件数 (件)	JR	静鉄電車	路線バス	タクシー	自家用車	バイク	自転車	徒歩のみ	その他	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	10.9	8.7	3.3	1.1	73.9	-	-	-	1.1	1.1
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	14.8	6.2	11.1	4.9	54.3	-	-	-	6.2	2.5
	再発見！ニッポンの立体	62	21.0	6.5	4.8	1.6	64.5	-	-	-	1.6	0.0
経 年	平成 28 年度全体	235	14.9	7.2	6.4	2.6	64.7	-	-	-	3.0	1.3
	平成 27 年度全体	256	16.0	6.3	15.6	2.0	60.2	0.0	2.7	6.6	3.1	
平成 27 年度	スイスデザイン展	137	10.2	6.6	13.9	0.0	66.4	0.0	4.4	3.6	4.4	
	富士山ー信仰と芸術ー	66	24.2	7.6	21.2	6.1	50.0	0.0	1.5	7.6	3.0	
	写真家の眼／版画家の眼	53	20.8	3.8	13.2	1.9	56.6	0.0	0.0	13.2	0.0	

単位：%

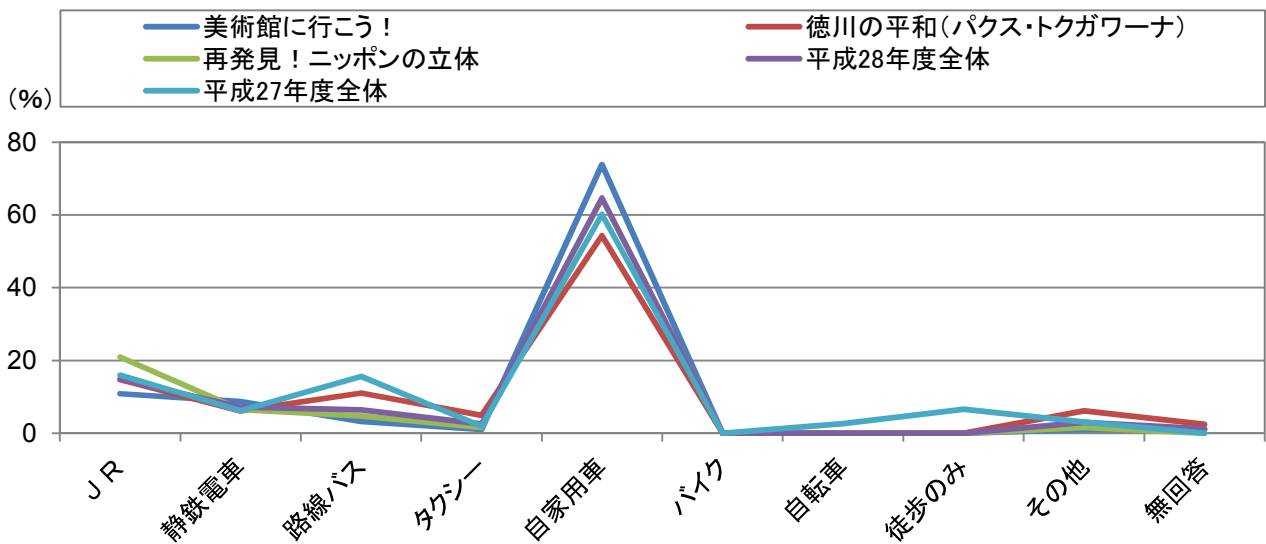
※「バイク」、「自転車」、「徒歩のみ」は平成 27 年度のみを選択肢

※平成 27 年度では複数回答可の設問

<全体>



<新規来館者>



来館の際の主な交通手段について、平成28年度全体は、「自家用車」が68.6%と最も高く、次いで「JR」が12.3%、「静鉄電車」が7.3%の順になっている。

新規来館者の平成28年度全体は、「自家用車」が64.7%と最も高く、次いで「JR」が14.9%、「静鉄電車」が7.2%の順になっている。

⑥-2 公共交通機関の利用のスムーズさ

全体

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	83	3.6	9.6	10.8	24.1	51.8	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	112	5.4	8.0	7.1	27.7	51.8	0.0
	再発見！ニッポンの立体	111	0.9	7.2	14.4	25.2	51.4	0.9
経 年	平成 28 年度全体	306	3.3	8.2	10.8	25.8	51.6	0.3
	平成 27 年度全体	271	5.2	7.4	11.4	28.8	47.2	
平成 27 年度	スイスデザイン展	119	6.7	6.7	10.9	32.8	42.9	
	富士山ー信仰と芸術ー	95	2.1	9.5	11.6	24.2	52.6	
	写真家の眼／版画家の眼	57	7.0	5.3	12.3	28.1	47.4	

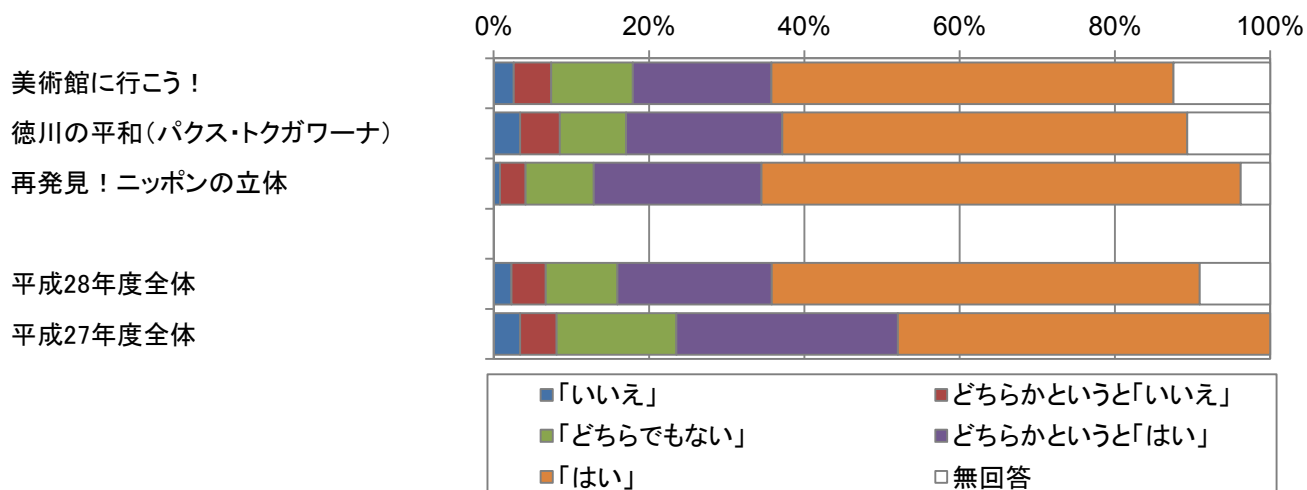
単位：%

新規来館者

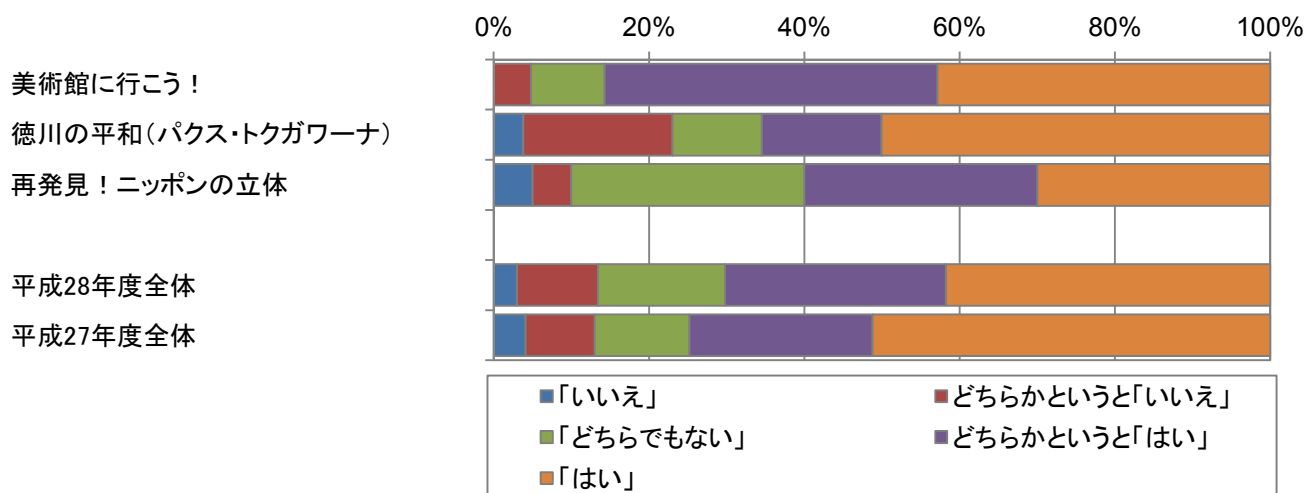
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 28 年度	美術館に行こう！	21	0.0	4.8	9.5	42.9	42.9
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	26	3.8	19.2	11.5	15.4	50.0
	再発見！ニッポンの立体	20	5.0	5.0	30.0	30.0	30.0
経 年	平成 28 年度全体	67	3.0	10.4	16.4	28.4	41.8
	平成 27 年度全体	123	4.1	8.9	12.2	23.6	51.2
平成 27 年度	スイスデザイン展	53	5.7	9.4	7.5	24.5	52.8
	富士山ー信仰と芸術ー	41	2.4	9.8	19.5	14.6	53.7
	写真家の眼／版画家の眼	29	3.4	6.9	10.3	34.5	44.8

単位：%

<全体>



<新規来館者>



公共交通機関の利用のスムーズさについて、平成28年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が77.5%となっている。肯定的評価は『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が79.5%、『再発見! ニッポンの立体』が76.6%、『美術館に行こう!』が75.9%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は11.4%となっている。

新規来館者の平成28年度全体は、肯定的評価が70.1%となっている。肯定的評価は『美術館に行こう!』が85.7%、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が65.4%、『再発見! ニッポンの立体』が60.0%の順になっている。

否定的評価は13.4%となっている。

⑥-3 自家用車の利用のスムーズさ

全体

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	278	1.4	3.2	11.5	16.2	53.6	14.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	308	2.3	4.2	9.4	18.5	52.9	12.7
	再発見！ニッポンの立体	263	0.0	1.9	5.7	21.3	66.5	4.6
経 年	平成 28 年度全体	849	1.3	3.2	9.0	18.6	57.4	10.6
	平成 27 年度全体	707	2.5	3.5	15.6	29.4	48.9	
平成 27 年度	スイスデザイン展	349	1.7	3.4	18.1	30.7	46.1	
	富士山－信仰と芸術－	199	4.5	3.0	15.6	22.1	54.8	
	写真家の眼／版画家の眼	159	1.9	4.4	10.1	35.8	47.8	

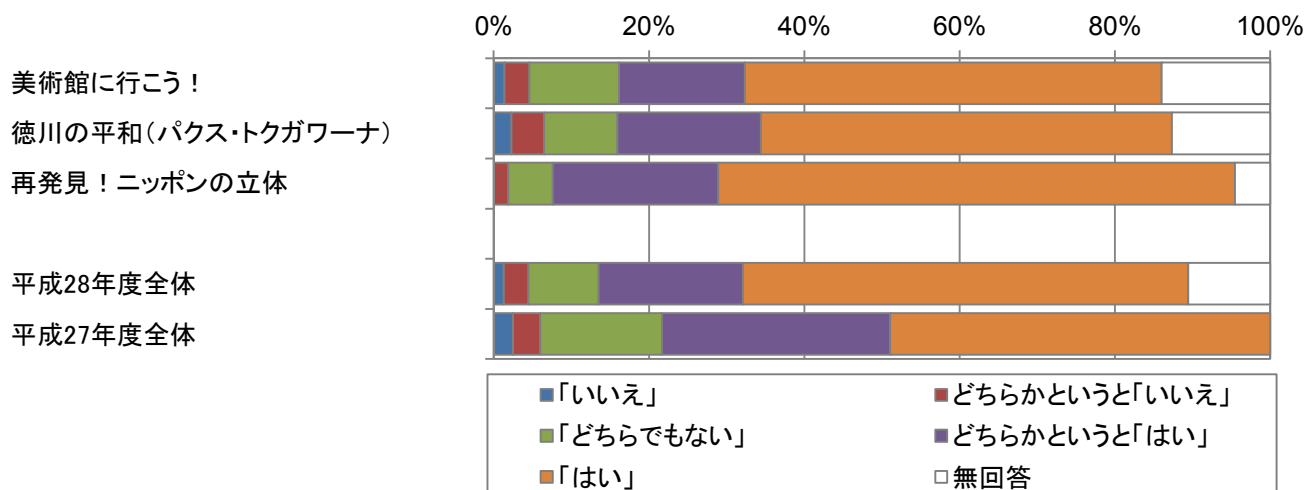
単位：%

新規来館者

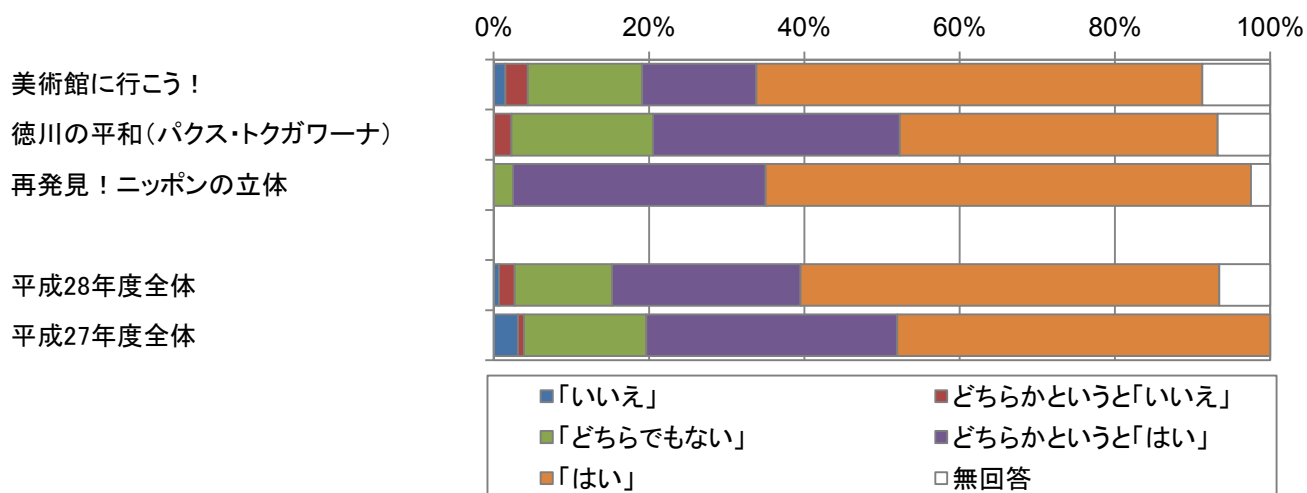
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	68	1.5	2.9	14.7	14.7	57.4	8.8
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	44	0.0	2.3	18.2	31.8	40.9	6.8
	再発見！ニッポンの立体	40	0.0	0.0	2.5	32.5	62.5	2.5
経 年	平成 28 年度全体	152	0.7	2.0	12.5	24.3	53.9	6.6
	平成 27 年度全体	127	3.1	0.8	15.7	32.3	48.0	
平成 27 年度	スイスデザイン展	73	1.4	0.0	17.8	31.5	49.3	
	富士山－信仰と芸術－	28	10.7	3.6	17.9	21.4	46.4	
	写真家の眼／版画家の眼	26	0.0	0.0	7.7	46.2	46.2	

単位：%

<全体>



<新規来館者>



自家用車の利用のスムーズさについて、平成28年度全体は、「どちらかというとはい」と「はい」を合わせた肯定的評価が76.0%となっている。肯定的評価は『再発見! ニッポンの立体』が87.8%、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が71.4%、『美術館に行こう!』が69.8%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかというといいえ」を合わせた否定的評価は4.5%となっている。

新規来館者の平成28年度全体は、肯定的評価が78.3%となっている。肯定的評価は『再発見! ニッポンの立体』が95.0%、『徳川の平和(パクス・トクガワーナ)』が72.7%、『美術館に行こう!』が72.1%の順になっている。

否定的評価は2.6%となっている。

⑦ 満足度

全体

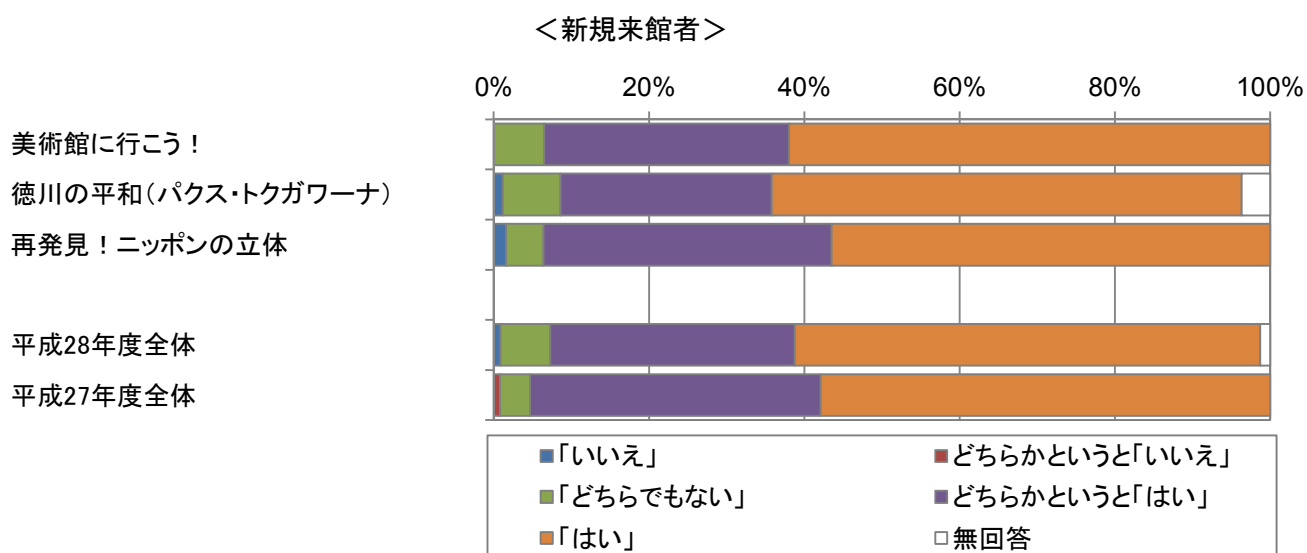
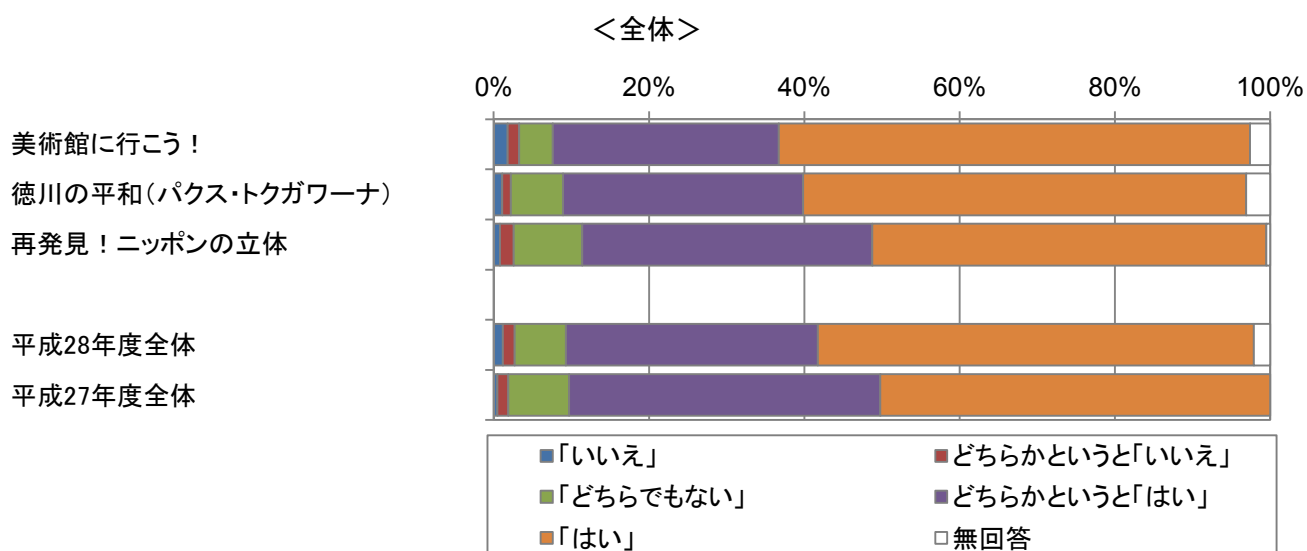
		件数 (件)	「こそえ」	どちらかとい うと「こそえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.8	1.5	4.3	29.1	60.7	2.6
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	1.1	1.1	6.7	30.9	57.0	3.1
	再発見！ニッポンの立体	398	0.8	1.8	8.8	37.4	50.8	0.5
経 年	平成 28 年度全体	1237	1.2	1.5	6.6	32.4	56.2	2.1
	平成 27 年度全体	1277	0.5	1.4	7.8	40.1	50.2	
平成 27 年度	スイスデザイン展	591	0.3	0.7	6.1	37.9	55.0	
	富士山ー信仰と芸術ー	398	0.5	1.5	7.3	39.7	51.0	
	写真家の眼／版画家の眼	288	0.7	2.8	12.2	45.1	39.2	

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	0.0	6.5	31.5	62.0	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	0.0	7.4	27.2	60.5	3.7
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	0.0	4.8	37.1	56.5	0.0
経 年	平成 28 年度全体	235	0.9	0.0	6.4	31.5	60.0	1.3
	平成 27 年度全体	254	0.0	0.8	3.9	37.4	57.9	
平成 27 年度	スイスデザイン展	136	0.0	0.0	4.4	36.0	59.6	
	富士山ー信仰と芸術ー	66	0.0	1.5	3.0	36.4	59.1	
	写真家の眼／版画家の眼	52	0.0	1.9	3.8	42.3	51.9	

単位：％



満足度について、平成 28 年度全体は、「どちらかという「はい」」と「はい」を合わせた肯定的評価が 88.6%となっている。肯定的評価は『美術館に行こう！』が 89.8%、『再発見！ニッポンの立体』が 88.2%、『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』が 87.9%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという「いいえ」」を合わせた否定的評価は 2.7%となっている。

新規来館者の平成 28 年度全体は、肯定的評価が 91.5%となっている。肯定的評価は『美術館に行こう！』と『再発見！ニッポンの立体』がともに 93.5%、『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』が 87.7%の順になっている。

否定的評価は 0.9%となっている。

⑧ 「風景とロダンの美術館」としての認知度

全体

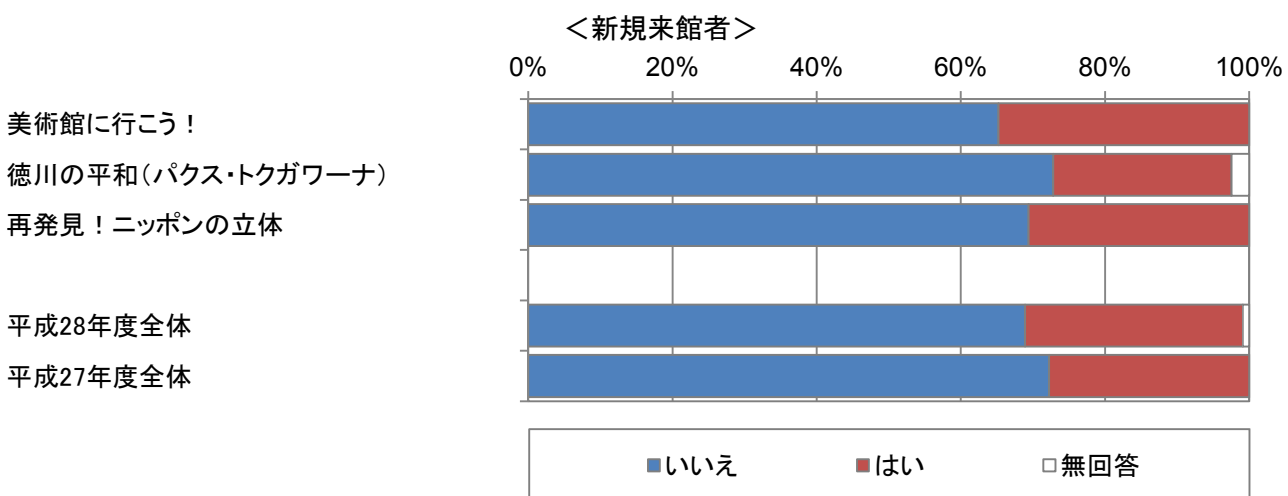
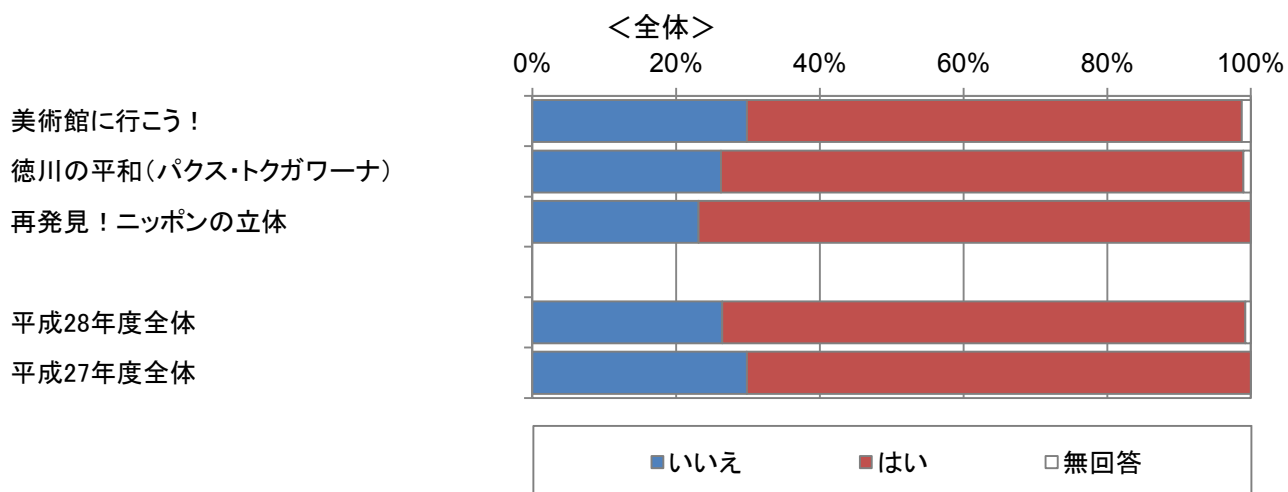
		件数 (件)	いいえ	はい	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	29.8	68.9	1.3
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	26.2	72.7	1.1
	再発見！ニッポンの立体	398	23.1	76.9	0.0
経 年	平成 28 年度全体	1237	26.4	72.8	0.8
	平成 27 年度全体	1287	29.8	70.2	
平成 27 年度	スイスデザイン展	598	33.6	66.4	
	富士山ー信仰と芸術ー	400	26.5	73.5	
	写真家の眼／版画家の眼	289	26.6	73.4	

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	いいえ	はい	無回答
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	65.2	34.8	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	72.8	24.7	2.5
	再発見！ニッポンの立体	62	69.4	30.6	0.0
経 年	平成 28 年度全体	235	68.9	30.2	0.9
	平成 27 年度全体	255	72.2	27.8	
平成 27 年度	スイスデザイン展	136	74.3	25.7	
	富士山ー信仰と芸術ー	66	66.7	33.3	
	写真家の眼／版画家の眼	53	73.6	26.4	

単位：％



「風景とロダンの美術館」としての認知度について、平成28年度全体は、「はい」が72.8%、「いいえ」が26.4%となっている。

新規来館者の平成28年度全体は、「はい」が30.2%、「いいえ」が68.9%となっている。

⑨ 見たことのある企画展（複数回答可）

全体

	件数 (件)	アニマルワールド (H26.7-9)	美少女の美術史 (H26.9-11)	風景解剖学 (H26.11-H27.1)	石田徹也展 (H27.1-3)	篠山紀信展 (H27.4-6)	スイスデザイン展 (H27.7-8)	富士山—信仰と芸術— (H27.9-10)	写真家の眼／版画家の眼 (H27.11-12)	ウィーン美術史美術館展 (H27.12-H28.3)	東西の絶景 (H28.4-6)	美術館に行こう！ (H28.7-9)	徳川の平和 (H28.9-11)
美術館に行こう！	167	21.6	22.2	12.0	25.1	41.3	28.7	28.1	12.0	32.3	35.9	-	-
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	235	-	19.1	12.8	25.1	26.8	16.2	47.2	9.8	31.9	53.2	19.1	-
再発見！ニッポンの立体	256	-	-	17.2	33.2	35.2	25.4	39.8	18.8	32.4	37.5	31.6	39.8
平成28年度全体	658	5.5	12.5	14.3	28.3	33.7	22.9	39.5	13.8	32.2	42.7	19.1	15.5

単位：%

※「アニマルワールド（H26.7-9）」は『美術館に行こう！』の時のみの選択肢

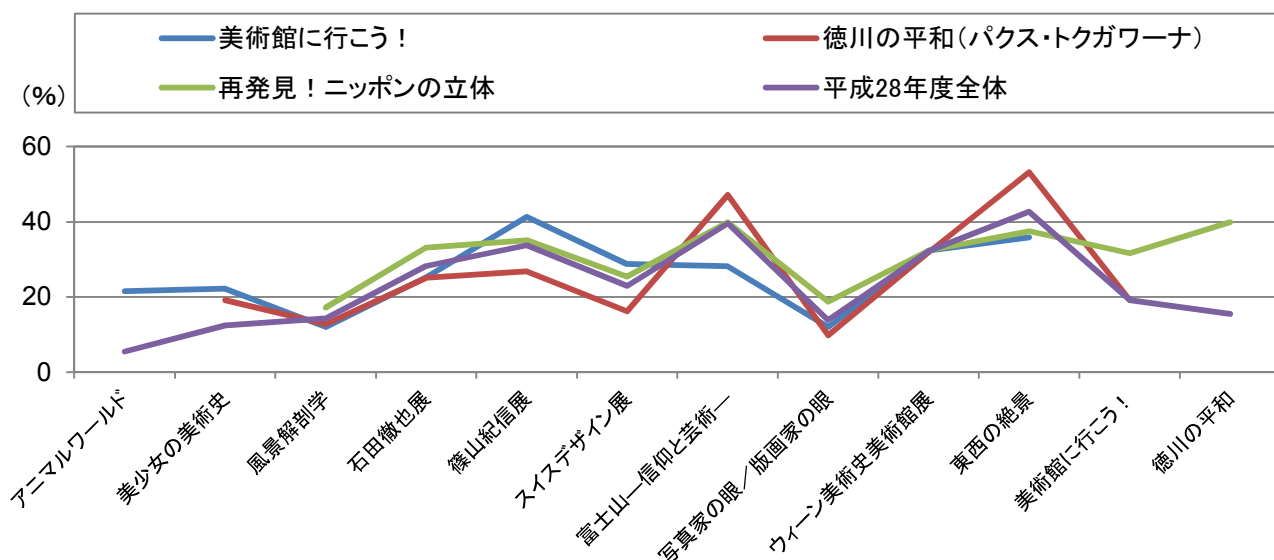
「美少女の美術史（H26.9-11）」は『美術館に行こう！』と『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』の時のみの選択肢

「美術館に行こう！（H28.7-9）」は『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』と『再発見！ニッポンの立体』の時のみの選択肢

「徳川の平和（H28.9-11）」は『再発見！ニッポンの立体』の時のみの選択肢

※無回答を除いて割合を算出している

<全体>



見たことのある企画展について、平成28年度全体は、「東西の絶景（H28.4-6）」が42.7%と最も高く、次いで「富士山—信仰と芸術—（H27.9-10）」が39.5%、「篠山紀信展（H27.4-6）」が33.7%の順となっている。

展覧会別にみると、『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』では、「東西の絶景（H28.4-6）」が53.2%と、他の展覧会と比べて15.7ポイント以上高くなっている。『再発見！ニッポンの立体』では「石田徹也展（H27.1-3）」が33.2%と、他の展覧会と比べて8.1ポイント高くなっている。

性別・年代別 見たことのある企画展

美術館に行こう！

		件数 (件)	アニマルワールド (H26.7-9)	美少女の美術史 (H26.9-11)	風景解剖学 (H26.11-H27.1)	石田徹也展 (H27.1-3)	篠山紀信展 (H27.4-6)	スイスデザイン展 (H27.7-8)	富士山―信仰と芸術― (H27.9-10)	写真家の眼／版画家の眼 (H27.11-12)	ウィーン美術史美術館展 (H27.12-H28.3)	東西の絶景 (H28.4-6)
性別	男性	39	23.1	28.2	10.3	15.4	53.8	28.2	33.3	17.9	43.6	35.9
	女性	128	21.1	20.3	12.5	28.1	37.5	28.9	26.6	10.2	28.9	35.9
年代別	12歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13～19歳	8	25.0	62.5	-	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	50.0
	20歳代	22	27.3	31.8	18.2	22.7	40.9	22.7	36.4	4.5	22.7	36.4
	30歳代	44	20.5	18.2	2.3	29.5	45.5	27.3	2.3	9.1	18.2	27.3
	40歳代	34	20.6	23.5	11.8	26.5	35.3	29.4	29.4	14.7	29.4	29.4
	50歳代	35	22.9	22.9	17.1	25.7	42.9	42.9	45.7	20.0	51.4	45.7
	60歳代	16	18.8	6.3	18.8	31.3	50.0	18.8	43.8	6.3	50.0	37.5
70歳以上	8	12.5	-	25.0	-	37.5	25.0	37.5	12.5	37.5	50.0	

単位：%

徳川の平和（パクス・トクガワーナ）

		件数 (件)	美少女の美術史 (H26.9-11)	風景解剖学 (H26.11-H27.1)	石田徹也展 (H27.1-3)	篠山紀信展 (H27.4-6)	スイスデザイン展 (H27.7-8)	富士山ー信仰と芸術ー (H27.9-10)	写真家の眼／版画家の眼 (H27.11-12)	ウィーン美術史美術館展 (H27.12-H28.3)	東西の絶景 (H28.4-6)	美術館に行こう！ (H28.7-9)
性別	男性	104	17.3	14.4	27.9	27.9	20.2	58.7	15.4	30.8	54.8	21.2
	女性	131	20.6	11.5	22.9	26.0	13.0	38.2	5.3	32.8	51.9	17.6
年代別	12歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13～19歳	3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	100.0	-
	20歳代	11	18.2	9.1	18.2	27.3	9.1	27.3	9.1	27.3	36.4	-
	30歳代	20	35.0	20.0	40.0	30.0	30.0	35.0	20.0	25.0	70.0	20.0
	40歳代	32	18.8	18.8	31.3	25.0	18.8	43.8	15.6	43.8	59.4	25.0
	50歳代	45	24.4	8.9	15.6	28.9	24.4	35.6	6.7	33.3	64.4	17.8
	60歳代	78	16.7	14.1	25.6	23.1	12.8	55.1	6.4	32.1	39.7	21.8
70歳以上	46	13.0	8.7	26.1	32.6	8.7	60.9	10.9	23.9	54.3	17.4	

単位：%

再発見！ニッポンの立体

		件数(件)	風景解剖学 (H26.11-H27.1)	石田徹也展 (H27.1-3)	篠山紀信展 (H27.4-6)	スイスデザイン展 (H27.7-8)	富士山—信仰と芸術— (H27.9-10)	写真家の眼／版画家の眼 (H27.11-12)	ウィーン美術史美術館展 (H27.12-H28.3)	東西の絶景 (H28.4-6)	美術館に行こう！ (H28.7-9)	徳川の平和 (H28.9-11)
性別	男性	110	21.8	38.2	38.2	27.3	44.5	22.7	34.5	35.5	31.8	40.9
	女性	146	13.7	29.5	32.9	24.0	36.3	15.8	30.8	39.0	31.5	39.0
年代別	12歳以下	3	-	66.7	-	-	33.3	-	33.3	66.7	33.3	33.3
	13～19歳	17	5.9	17.6	-	47.1	5.9	5.9	52.9	29.4	29.4	5.9
	20歳代	25	12.0	20.0	32.0	36.0	20.0	24.0	24.0	36.0	28.0	32.0
	30歳代	23	8.7	26.1	43.5	26.1	43.5	26.1	21.7	21.7	34.8	30.4
	40歳代	46	17.4	41.3	30.4	30.4	39.1	21.7	26.1	32.6	43.5	41.3
	50歳代	49	20.4	40.8	36.7	22.4	40.8	16.3	30.6	42.9	32.7	44.9
	60歳代	54	14.8	27.8	38.9	20.4	44.4	13.0	40.7	44.4	25.9	44.4
	70歳以上	39	30.8	38.5	48.7	15.4	59.0	25.6	33.3	38.5	25.6	51.3

単位：%

性別の見たことのある企画展のきっかけについて、『美術館に行こう！』では、男性で「篠山紀信展（H27.4-6）」が53.8%と、女性と比べて16.3ポイント高くなっている。また、男性で「ウィーン美術史美術館展（H27.12-H28.3）」が43.6%と、女性と比べて14.7ポイント高くなっている。一方、女性では「石田徹也展（H27.1-3）」が28.1%と、男性に比べて12.7ポイント高くなっている。『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』では、男性で「富士山—信仰と芸術—（H27.9-10）」が58.7%と、女性と比べて20.5ポイント高くなっている。また、男性で「写真家の眼／版画家の眼（H27.11-12）」が15.4%と、女性と比べて10.1ポイント高くなっている。『再発見！ニッポンの立体』では、男性で「石田徹也展（H27.1-3）」が38.2%と、女性と比べて8.7ポイント高くなっている。

年代別の見たことのある企画展のきっかけについて、『美術館に行こう！』では、50歳代と60歳代で「ウィーン美術史美術館展（H27.12-H28.3）」が5割を超えている。『徳川の平和（パクス・トクガワーナ）』では、50歳代で「東西の絶景（H28.4-6）」が64.4%と6割台半ばとなっている。また、70歳以上では「富士山—信仰と芸術—（H27.9-10）」が60.9%と約6割となっている。『再発見！ニッポンの立体』では、70歳以上で「富士山—信仰と芸術—（H27.9-10）」が59.0%と約6割となっている。また、70歳以上で「徳川の平和（H28.9-11）」が51.3%と5割を超えている。

5 レストランアンケート結果

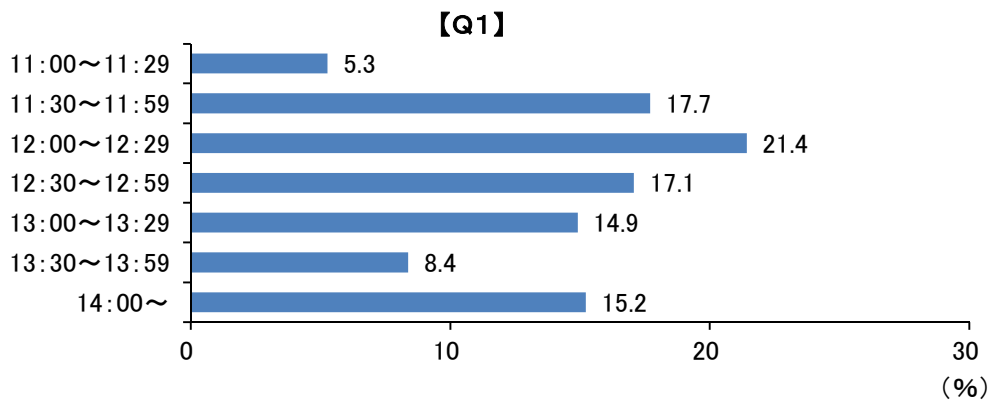
(1) 実施数 (回答数)

美術館に行こう！	86 件
徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)	150 件
再発見！ニッポンの立体	86 件
合計	322 件

(2) アンケート結果

Q1 入店時刻

		全 体	11:00 ~11:29	11:30 ~11:59	12:00 ~12:29	12:30 ~12:59	13:00 ~13:29	13:30 ~13:59	14:00 ~
平成 28 年度	回答数 (件)	322	17	57	69	55	48	27	49
	割合 (%)	100.0	5.3	17.7	21.4	17.1	14.9	8.4	15.2
平成 27 年度	回答数 (件)	181	13	23	34	38	33	13	27
	割合 (%)	100.0	7.2	12.7	18.8	21.0	18.2	7.2	14.9



Q2 注文内容

注文した料理	回答数(件)	注文した料理	回答数(件)
パスタ	65件	紅茶	2件
舌平目のムニエル	43件	赤ワイン	2件
豚肩ロース肉のロースト	36件	スズキのアクアパッツァ	2件
カレーライス	33件	豚ステーキ	2件
ハンバーグ	31件	真鯛	2件
アクアパッツァ	23件	カニのパスタ	1件
本日のパスタ	16件	特別デザートセット	1件
牛肉の煮込み	14件	いちごのショートケーキ	1件
デザートセット	11件	スイーツ	1件
ランチ	9件	アイス	1件
ケーキセット	8件	アイスコーヒー	1件
サラダ	7件	オレンジジュース	1件
ミューズペシャリテ	7件	ジュース	1件
魚料理	6件	飲み物	1件
ビール	6件	鮮魚のアクアパッツァ	1件
お子様プレート	6件	平目のアクアパッツァ	1件
肉料理	5件	牛肉	1件
クリームパスタ	5件	ローストビーフ	1件
デザート	5件	ヒレ肉ロースト	1件
コーヒー	5件	ランチ(魚)	1件
デザートプレート	4件	天然鮮魚	1件
ケーキ	4件	セットメニュー	1件
ハーフサラダ	4件	スープ	1件
豚肉	4件	ライス	1件
パン	3件	ミニサラダ	1件

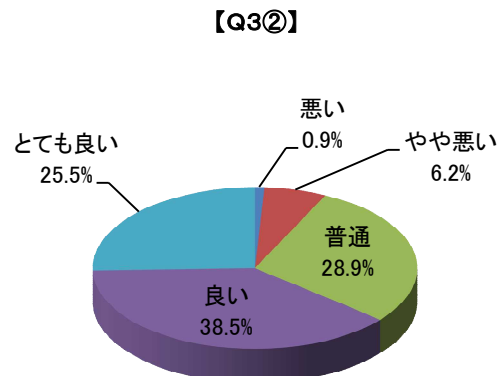
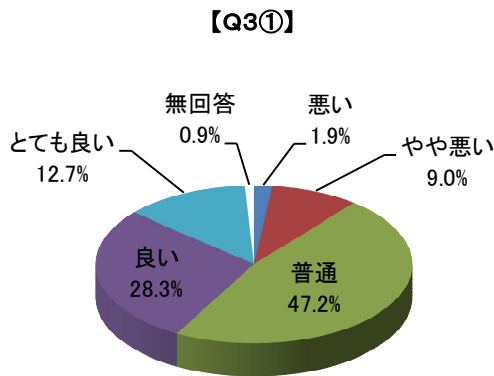
Q3① 案内表示のわかりやすさ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	6	29	152	91	41	3
	割合(%)	100.0	1.9	9.0	47.2	28.3	12.7	0.9
平成27年度	回答数(件)	178	4	17	92	55	10	
	割合(%)	100.0	2.2	9.6	51.7	30.9	5.6	

Q3② 席に案内するまでの時間

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成28年度	回答数(件)	322	3	20	93	124	82
	割合(%)	100.0	0.9	6.2	28.9	38.5	25.5
平成27年度	回答数(件)	178	18	10	150	-	-
	割合(%)	100.0	10.1	5.6	84.3	-	-

※「悪い」は平成27年度の選択肢では「遅い」、「やや悪い」は平成27年度の選択肢では「やや遅い」、「普通」は平成27年度の選択肢では「適当」、「良い」と「とても良い」は平成28年度のみを選択肢



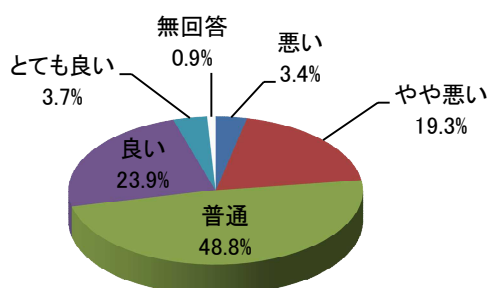
Q3③ メニューの種類の豊富さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	11	62	157	77	12	3
	割合(%)	100.0	3.4	19.3	48.8	23.9	3.7	0.9
平成27年度	回答数(件)	177	3	28	89	49	8	
	割合(%)	100.0	1.7	15.8	50.3	27.7	4.5	

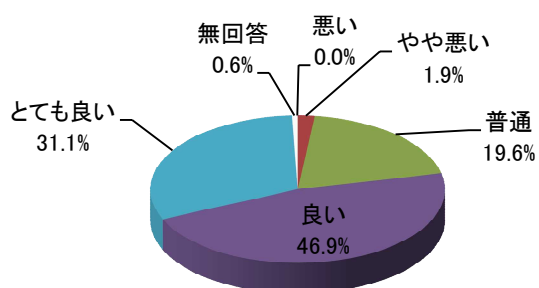
Q3④ 味

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	0	6	63	151	100	2
	割合(%)	100.0	0.0	1.9	19.6	46.9	31.1	0.6
平成27年度	回答数(件)	179	0	4	42	86	47	
	割合(%)	100.0	0.0	2.2	23.5	48.0	26.3	

【Q3③】



【Q3④】



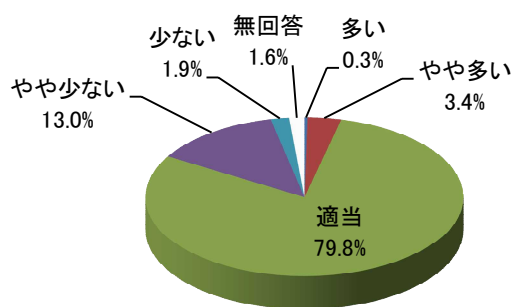
Q3⑤ 量

		全体	多い	やや多い	適当	やや少ない	少ない	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	1	11	257	42	6	5
	割合(%)	100.0	0.3	3.4	79.8	13.0	1.9	1.6
平成27年度	回答数(件)	175	2	3	150	19	1	
	割合(%)	100.0	1.1	1.7	85.7	10.9	0.6	

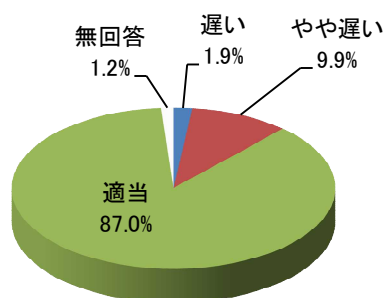
Q3⑥ 料理が出るまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	6	32	280	4
	割合(%)	100.0	1.9	9.9	87.0	1.2
平成27年度	回答数(件)	178	9	20	149	
	割合(%)	100.0	5.1	11.2	83.7	

【Q3⑤】



【Q3⑥】



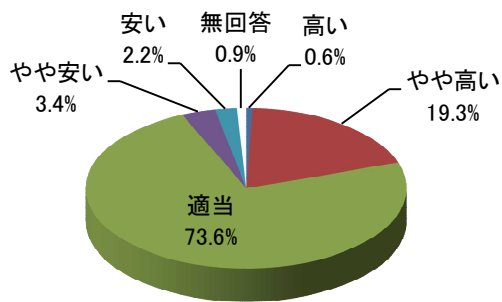
Q3⑦ 値段

		全体	高い	やや高い	適当	やや安い	安い	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	2	62	237	11	7	3
	割合(%)	100.0	0.6	19.3	73.6	3.4	2.2	0.9
平成27年度	回答数(件)	177	2	16	142	15	2	
	割合(%)	100.0	1.1	9.0	80.2	8.5	1.1	

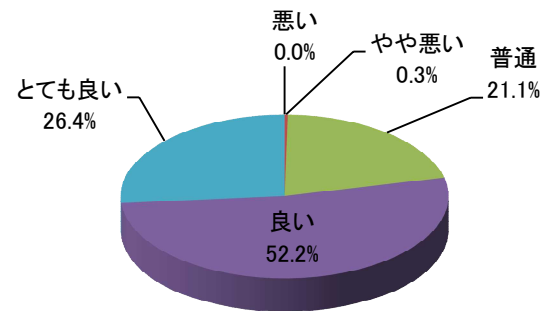
Q3⑧ 店の雰囲気・清潔さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成28年度	回答数(件)	322	0	1	68	168	85
	割合(%)	100.0	0.0	0.3	21.1	52.2	26.4
平成27年度	回答数(件)	181	0	0	48	96	37
	割合(%)	100.0	0.0	0.0	26.5	53.0	20.4

【Q3⑦】



【Q3⑧】



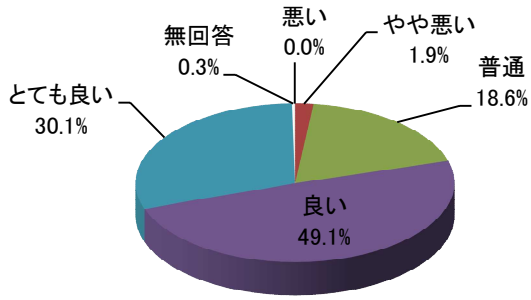
Q3⑨ 従業員の態度

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	0	6	60	158	97	1
	割合(%)	100.0	0.0	1.9	18.6	49.1	30.1	0.3
平成27年度	回答数(件)	180	0	4	39	93	44	
	割合(%)	100.0	0.0	2.2	21.7	51.7	24.4	

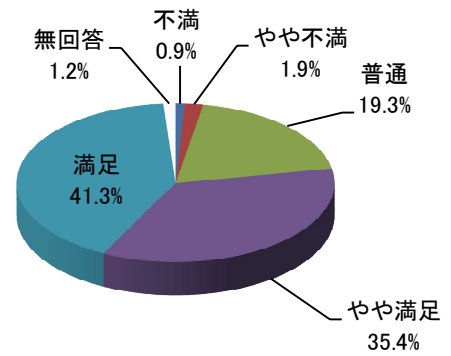
Q3⑩ 満足度

		全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	3	6	62	114	133	4
	割合(%)	100.0	0.9	1.9	19.3	35.4	41.3	1.2
平成27年度	回答数(件)	181	3	7	52	46	73	
	割合(%)	100.0	1.7	3.9	28.7	25.4	40.3	

【Q3⑨】



【Q3⑩】



Q 4 不満や改善点 (略)

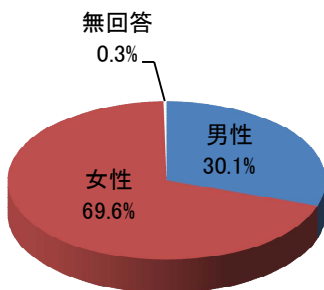
F 1 性別

		全体	男性	女性	無回答
平成 28年度	回答数 (件)	322	97	224	1
	割合 (%)	100.0	30.1	69.6	0.3
平成 27年度	回答数 (件)	181	51	130	0
	割合 (%)	100.0	28.2	71.8	0.0

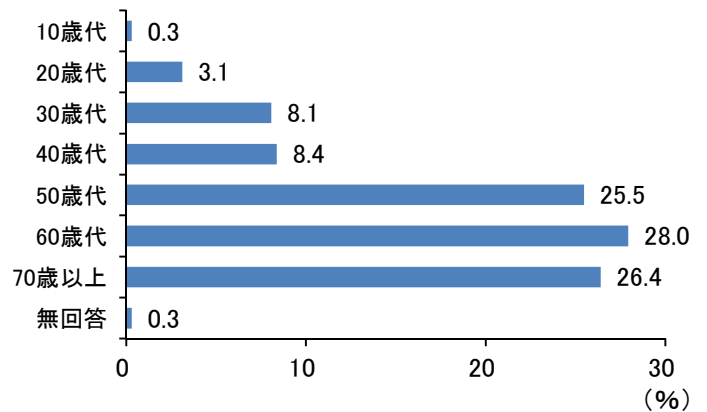
F 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
平成 28年度	回答数 (件)	322	1	10	26	27	82	90	85	1
	割合 (%)	100.0	0.3	3.1	8.1	8.4	25.5	28.0	26.4	0.3
平成 27年度	回答数 (件)	181	6	2	15	16	36	47	59	
	割合 (%)	100.0	3.3	1.1	8.3	8.8	19.9	26.0	32.6	

【F1】



【F2】

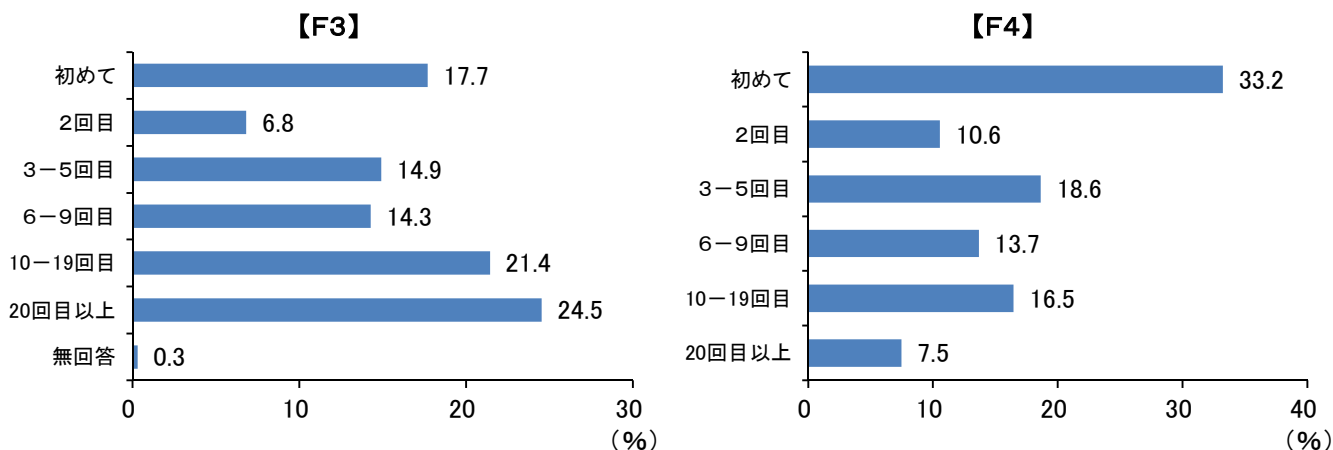


F 3 美術館への来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	57	22	48	46	69	79	1
	割合(%)	100.0	17.7	6.8	14.9	14.3	21.4	24.5	0.3
平成27年度	回答数(件)	181	32	7	20	21	39	62	
	割合(%)	100.0	17.7	3.9	11.0	11.6	21.5	34.3	

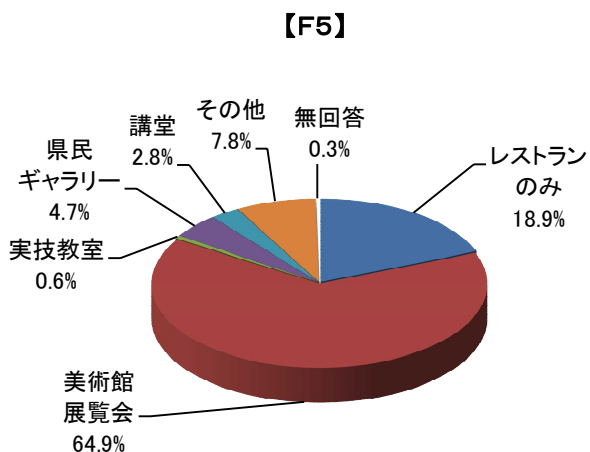
F 4 レストランの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
平成28年度	回答数(件)	322	107	34	60	44	53	24
	割合(%)	100.0	33.2	10.6	18.6	13.7	16.5	7.5
平成27年度	回答数(件)	181	49	14	39	26	31	22
	割合(%)	100.0	27.1	7.7	21.5	14.4	17.1	12.2



F 5 当日の来館の主な目的

		全体	レストランのみ	美術館 展覧会	実技教室	県民 ギャラリー	講堂	その他	無回答
平成28年度	回答数(件)	322	61	209	2	15	9	25	1
	割合(%)	100.0	18.9	64.9	0.6	4.7	2.8	7.8	0.3
平成27年度	回答数(件)	181	41	96	2	34	2	6	
	割合(%)	100.0	22.7	53.0	1.1	18.8	1.1	3.3	



6 カフェアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

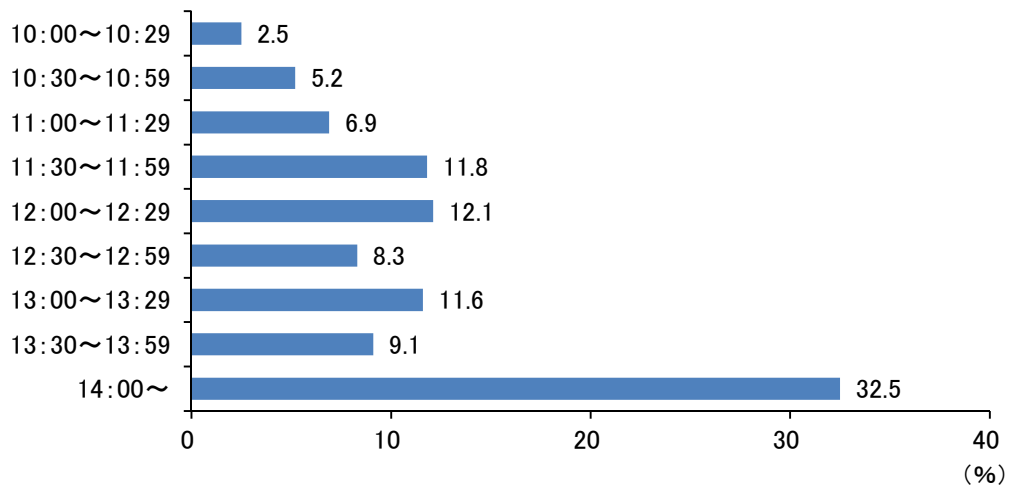
美術館に行こう！	108 件
徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)	149 件
再発見！ニッポンの立体	106 件
合計	363 件

(2) アンケート結果

Q1 入店時刻

		全体	10:00 ~ 10:29	10:30 ~ 10:59	11:00 ~ 11:29	11:30 ~ 11:59	12:00 ~ 12:29	12:30 ~ 12:59	13:00 ~ 13:29	13:30 ~ 13:59	14:00 ~
平成 28年度	回答数 (件)	363	9	19	25	43	44	30	42	33	118
	割合 (%)	100.0	2.5	5.2	6.9	11.8	12.1	8.3	11.6	9.1	32.5
平成 27年度	回答数 (件)	126	2	12	10	16	24	11	14	14	23
	割合 (%)	100.0	1.6	9.5	7.9	12.7	19.0	8.7	11.1	11.1	18.3

【Q1】



Q2 注文内容

注文した料理	回答数(件)	注文した料理	回答数(件)
コーヒー	122件	クロワッサン	2件
ホットプレスサンド	62件	クルミパン	2件
パン	58件	クッキー	2件
アイスコーヒー	44件	お菓子	2件
サンドイッチ	30件	いちごミルク	2件
ブレンドコーヒー	25件	アイスココア	2件
紅茶	23件	抹茶のシフォンケーキ	1件
クリームブリュレ	21件	富良野メロンパン	1件
カフェラテ	21件	日本平ホテルケーキ	1件
ケーキ	19件	日替わりサンドイッチ	1件
アイ스티ー	14件	りんごとはちみつのラスク	1件
オレンジジュース	11件	モンブラン	1件
グレープフルーツジュース	9件	メロンパン	1件
ツナサンド	7件	ミックスサンド	1件
ジュース	7件	ベーグル	1件
アイスカフェラテ	7件	日替わりサンド	1件
ケーキセット	7件	はちみつりんご	1件
ラスク	6件	クリームパン	1件
シフォンケーキ	6件	カレーパン	1件
紅茶プリン	6件	お茶のシフォンケーキ	1件
アイスクリーム	6件	オペラ	1件
ホットプレスサンド(ペッパーポーク)	6件	ウィンナーパン	1件
ショートケーキ	5件	いちじくのラスク	1件
菓子パン	4件	いちじくとプルーンのラスク	1件
ホットプレスサンド(ツナ)	4件	いちごショートケーキ	1件
ロールケーキ	3件	あんパン	1件
プリン	3件	あんずパイ	1件
ココア	3件	あらびきフランク	1件
ホットプレスサンドセット	3件	アイスマルク	1件
サンドイッチセット	3件	アイスオーレ	1件
レモンティー	2件	紅茶プリンとアイスコーヒーのセット	1件
ホットココア	2件	紅茶セット	1件
ポークサンド	2件	パンセット	1件
ふんわりいちごミルク	2件	ドリンクセット	1件
ピンクグレープフルーツジュース	2件	シフォンセット	1件
ピーナッツパン	2件	アイスコーヒーセット	1件
パウンドケーキ	2件	アイスクリームセット	1件
ナッツミルク	2件	ランチ	1件
ドーナツ	2件		

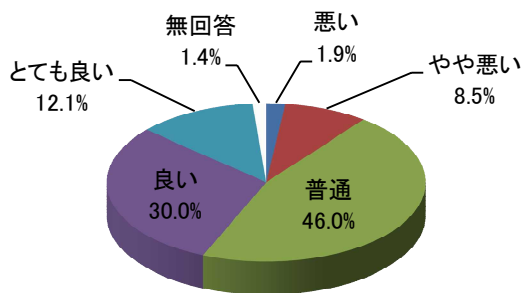
Q3① 案内表示の分かりやすさ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成28年度	回答数(件)	363	7	31	167	109	44	5
	割合(%)	100.0	1.9	8.5	46.0	30.0	12.1	1.4
平成27年度	回答数(件)	124	0	13	59	39	13	
	割合(%)	100.0	0.0	10.5	47.6	31.5	10.5	

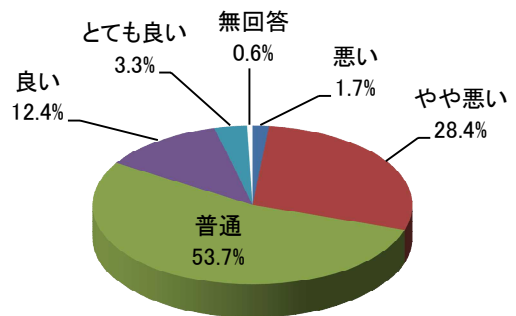
Q3② メニューの種類豊富さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成28年度	回答数(件)	363	6	103	195	45	12	2
	割合(%)	100.0	1.7	28.4	53.7	12.4	3.3	0.6
平成27年度	回答数(件)	122	4	26	68	21	3	
	割合(%)	100.0	3.3	21.3	55.7	17.2	2.5	

【Q3①】



【Q3②】



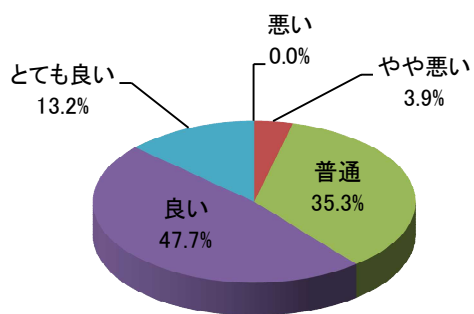
Q3③ 味

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成28年度	回答数(件)	363	0	14	128	173	48
	割合(%)	100.0	0.0	3.9	35.3	47.7	13.2
平成27年度	回答数(件)	122	0	3	59	47	13
	割合(%)	100.0	0.0	2.5	48.4	38.5	10.7

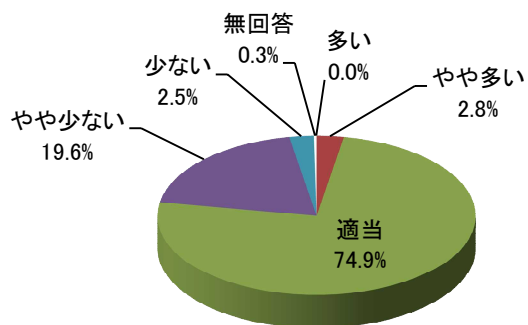
Q3④ 量

		全体	多い	やや多い	適当	やや少ない	少ない	無回答
平成28年度	回答数(件)	363	0	10	272	71	9	1
	割合(%)	100.0	0.0	2.8	74.9	19.6	2.5	0.3
平成27年度	回答数(件)	116	0	2	98	15	1	
	割合(%)	100.0	0.0	1.7	84.5	12.9	0.9	

【Q3③】



【Q3④】



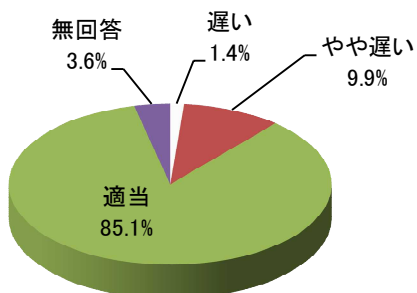
Q3⑤ 料理が出てくるまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当	無回答
平成28年度	回答数(件)	363	5	36	309	13
	割合(%)	100.0	1.4	9.9	85.1	3.6
平成27年度	回答数(件)	117	3	11	103	
	割合(%)	100.0	2.6	9.4	88.0	

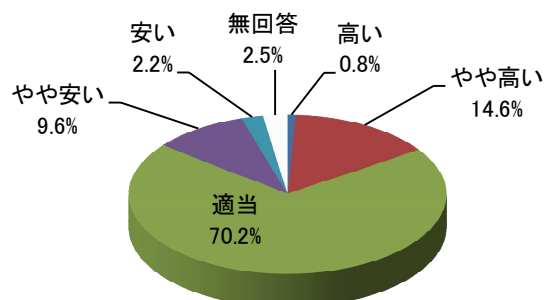
Q3⑥ 値段

		全体	高い	やや高い	適当	やや安い	安い	無回答
平成28年度	回答数(件)	363	3	53	255	35	8	9
	割合(%)	100.0	0.8	14.6	70.2	9.6	2.2	2.5
平成27年度	回答数(件)	122	2	17	87	11	5	
	割合(%)	100.0	1.6	13.9	71.3	9.0	4.1	

【Q3⑤】



【Q3⑥】



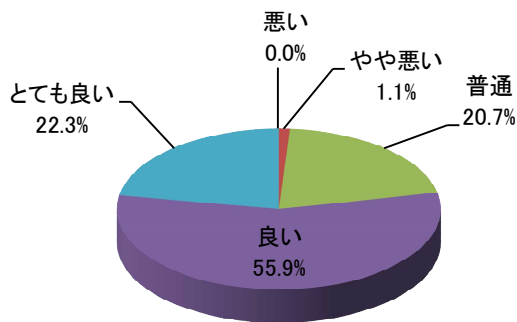
Q3⑦ 店の雰囲気・清潔さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成28年度	回答数(件)	363	0	4	75	203	81
	割合(%)	100.0	0.0	1.1	20.7	55.9	22.3
平成27年度	回答数(件)	125	1	3	31	71	19
	割合(%)	100.0	0.8	2.4	24.8	56.8	15.2

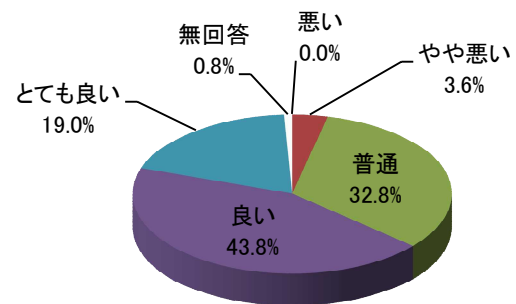
Q3⑧ 従業員の態度

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成28年度	回答数(件)	363	0	13	119	159	69	3
	割合(%)	100.0	0.0	3.6	32.8	43.8	19.0	0.8
平成27年度	回答数(件)	125	0	3	48	59	15	
	割合(%)	100.0	0.0	2.4	38.4	47.2	12.0	

【Q3⑦】



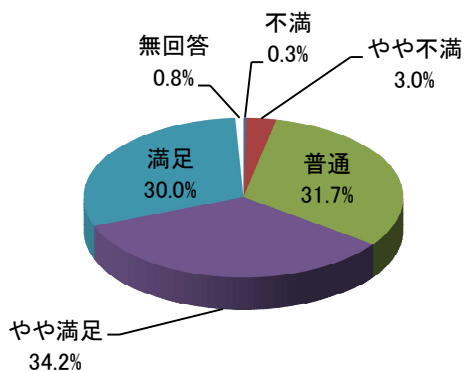
【Q3⑧】



Q3⑨ 満足度

		全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
平成28年度	回答数(件)	363	1	11	115	124	109	3
	割合(%)	100.0	0.3	3.0	31.7	34.2	30.0	0.8
平成27年度	回答数(件)	126	1	7	49	29	40	
	割合(%)	100.0	0.8	5.6	38.9	23.0	31.7	

【Q3⑨】



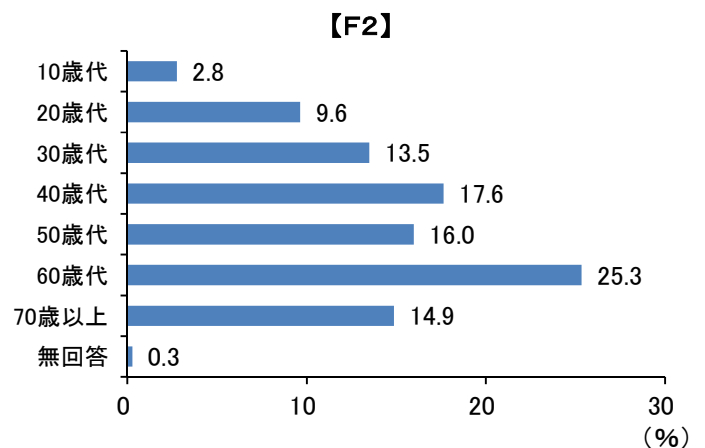
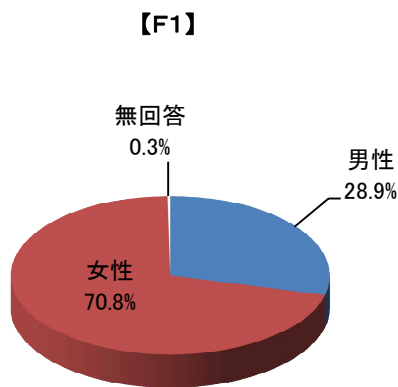
Q 4 不満や改善点 (略)

F 1 性別

		全体	男性	女性	無回答
平成 28年度	回答数(件)	363	105	257	1
	割合(%)	100.0	28.9	70.8	0.3
平成 27年度	回答数(件)	126	38	88	
	割合(%)	100.0	30.2	69.8	

F 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
平成 28年度	回答数(件)	363	10	35	49	64	58	92	54	1
	割合(%)	100.0	2.8	9.6	13.5	17.6	16.0	25.3	14.9	0.3
平成 27年度	回答数(件)	126	8	12	12	18	15	29	32	
	割合(%)	100.0	6.3	9.5	9.5	14.3	11.9	23.0	25.4	



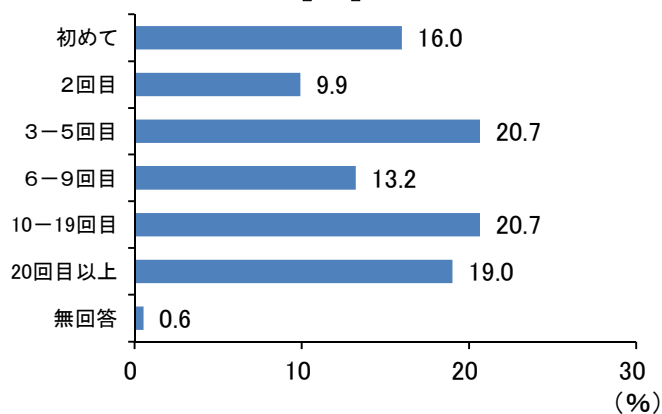
F 3 美術館への来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成 28年度	回答数(件)	363	58	36	75	48	75	69	2
	割合(%)	100.0	16.0	9.9	20.7	13.2	20.7	19.0	0.6
平成 27年度	回答数(件)	126	15	10	19	5	30	47	
	割合(%)	100.0	11.9	7.9	15.1	4.0	23.8	37.3	

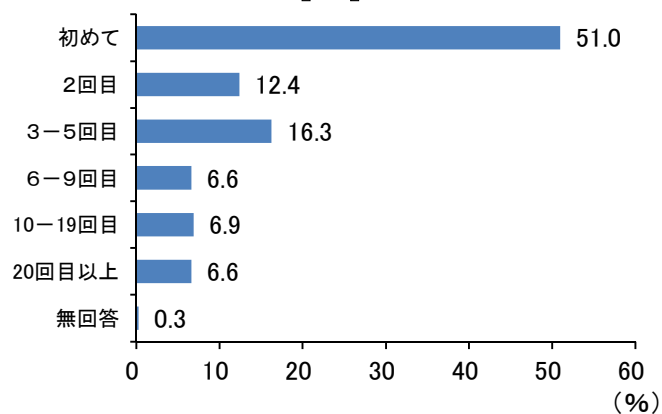
F 4 カフェの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成 28年度	回答数(件)	363	185	45	59	24	25	24	1
	割合(%)	100.0	51.0	12.4	16.3	6.6	6.9	6.6	0.3
平成 27年度	回答数(件)	126	56	15	20	15	8	12	
	割合(%)	100.0	44.4	11.9	15.9	11.9	6.3	9.5	

【F3】



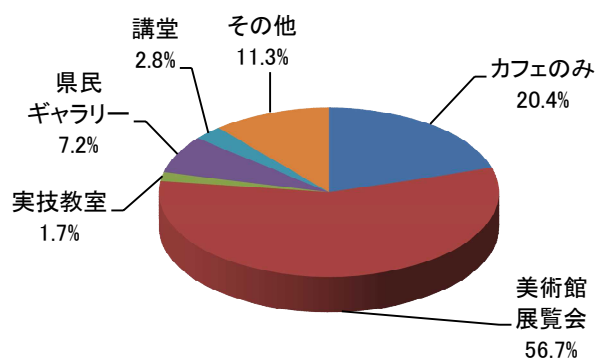
【F4】



F 5 当日の来館の主な目的

		全体	カフェのみ	美術館 展覧会	実技教室	県民 ギャラリー	講堂	その他
平成 28年度	回答数(件)	363	74	206	6	26	10	41
	割合(%)	100.0	20.4	56.7	1.7	7.2	2.8	11.3
平成 27年度	回答数(件)	126	16	66	8	17	3	16
	割合(%)	100.0	12.7	52.4	6.3	13.5	2.4	12.7

【F5】



7 ミュージアム・ショップアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

美術館に行こう！	158 件
徳川の平和 (パクス・トクガワーナ)	180 件
再発見！ニッポンの立体	127 件
合計	465 件

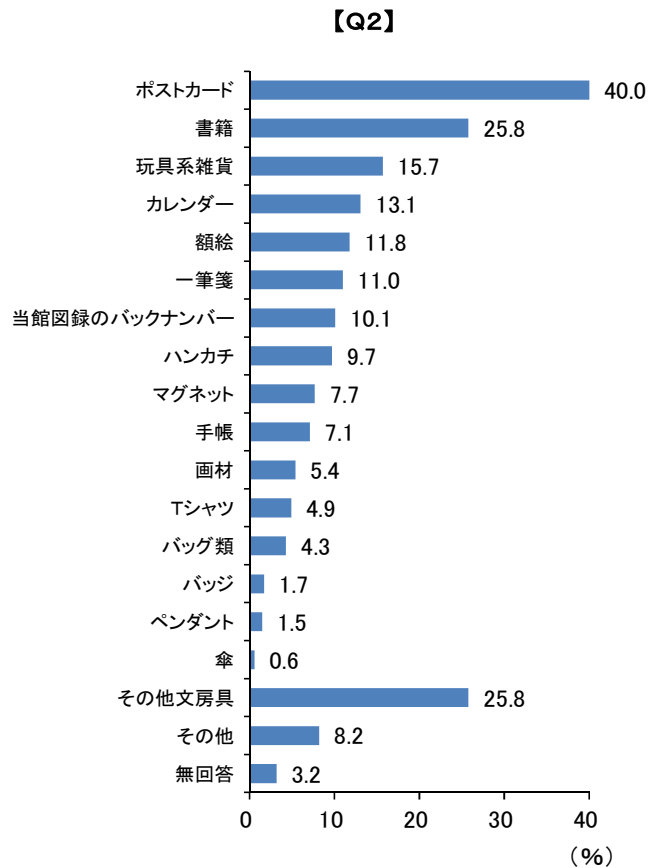
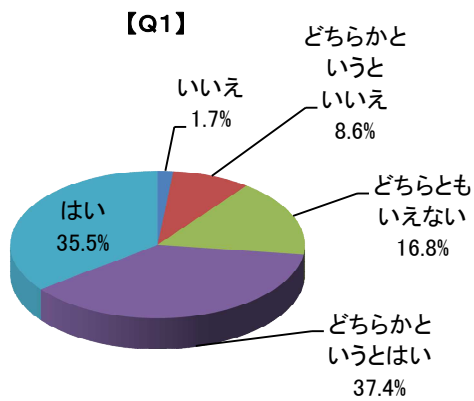
(2) アンケート結果

Q1 品揃えの充実さ

		全体	いいえ	どちらかという といいえ	どちらとも いえない	どちらかという とはい	はい
平成 28年度	回答数 (件)	465	8	40	78	174	165
	割合 (%)	100.0	1.7	8.6	16.8	37.4	35.5
平成 27年度	回答数 (件)	190	1	14	49	79	47
	割合 (%)	100.0	0.5	7.4	25.8	41.6	24.7

Q2 充実してほしい商品 (複数回答可)

		全体	書籍	当館図録 のバック ナンバー	額絵	ポスト カード	一筆箋	カレンダー
平成 28年度	回答数 (件)	465	120	47	55	186	51	61
	割合 (%)	100.0	25.8	10.1	11.8	40.0	11.0	13.1
平成 27年度	回答数 (件)	190	29	14	22	66	17	24
	割合 (%)	100.0	15.3	7.4	11.6	34.7	8.9	12.6
		手帳	その他 文房具	ハンカチ	画材	マグネット	玩具系 雑貨	傘
平成 28年度	回答数 (件)	33	120	45	25	36	73	3
	割合 (%)	7.1	25.8	9.7	5.4	7.7	15.7	0.6
平成 27年度	回答数 (件)	15	65	22	8	16	54	6
	割合 (%)	7.9	34.2	11.6	4.2	8.4	28.4	3.2
		Tシャツ	ペンダント	バッジ	バッグ類	その他	無回答	
平成 28年度	回答数 (件)	23	7	8	20	38	15	
	割合 (%)	4.9	1.5	1.7	4.3	8.2	3.2	
平成 27年度	回答数 (件)	14	13	17	11	27		
	割合 (%)	7.4	6.8	8.9	5.8	14.2		

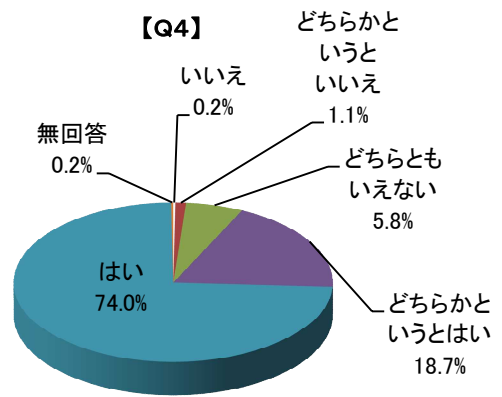
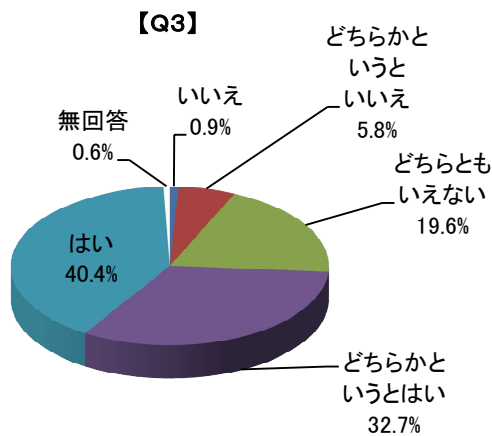


Q 3 商品の価格の適当さ

		全体	いいえ	どちらかというといいえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成28年度	回答数(件)	465	4	27	91	152	188	3
	割合(%)	100.0	0.9	5.8	19.6	32.7	40.4	0.6
平成27年度	回答数(件)	190	2	12	83	63	30	
	割合(%)	100.0	1.1	6.3	43.7	33.2	15.8	

Q 4 従業員の対応の良さ

		全体	いいえ	どちらかというといいえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成28年度	回答数(件)	465	1	5	27	87	344	1
	割合(%)	100.0	0.2	1.1	5.8	18.7	74.0	0.2
平成27年度	回答数(件)	189	0	1	34	73	81	
	割合(%)	100.0	0.0	0.5	18.0	38.6	42.9	

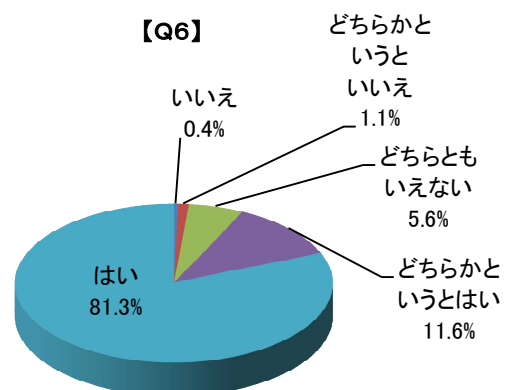
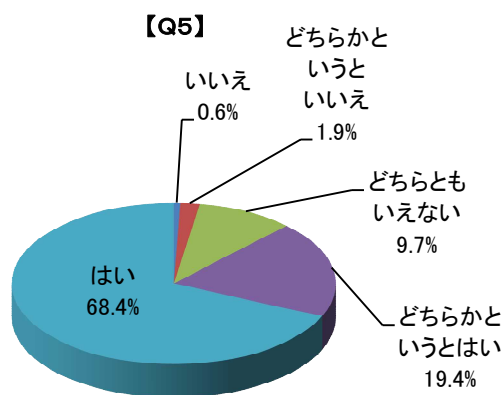


Q5 雰囲気への相応しさ

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい
平成28年度	回答数(件)	465	3	9	45	90	318
	割合(%)	100.0	0.6	1.9	9.7	19.4	68.4
平成27年度	回答数(件)	191	1	11	27	69	83
	割合(%)	100.0	0.5	5.8	14.1	36.1	43.5

Q6 次回のショップへの来店意向

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい
平成28年度	回答数(件)	465	2	5	26	54	378
	割合(%)	100.0	0.4	1.1	5.6	11.6	81.3
平成27年度	回答数(件)	178	1	1	12	47	117
	割合(%)	100.0	0.6	0.6	6.7	26.4	65.7



A7 ご意見・ご感想 (略)

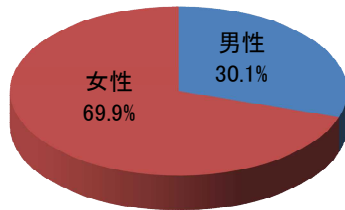
F 1 性別

		全体	男性	女性
平成 28年度	回答数(件)	465	140	325
	割合(%)	100.0	30.1	69.9
平成 27年度	回答数(件)	191	83	108
	割合(%)	100.0	43.5	56.5

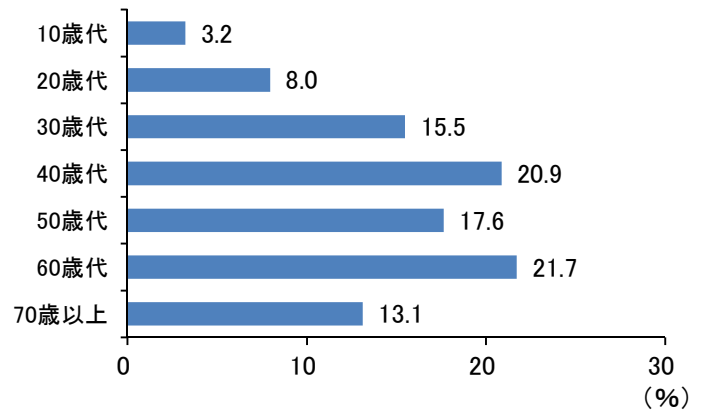
F 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成 28年度	回答数(件)	465	15	37	72	97	82	101	61
	割合(%)	100.0	3.2	8.0	15.5	20.9	17.6	21.7	13.1
平成 27年度	回答数(件)	191	20	23	38	37	36	27	10
	割合(%)	100.0	10.5	12.0	19.9	19.4	18.8	14.1	5.2

【F1】



【F2】

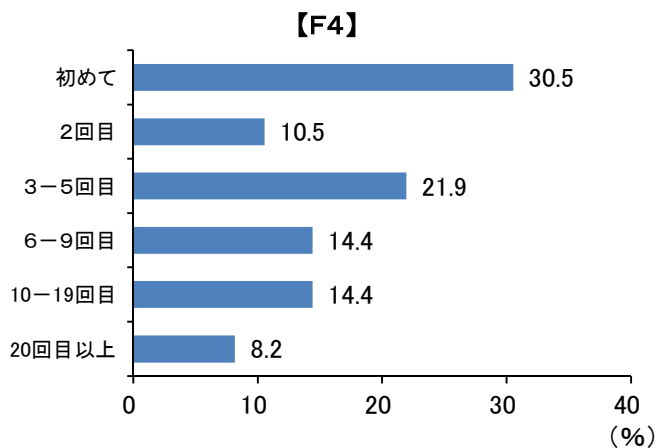
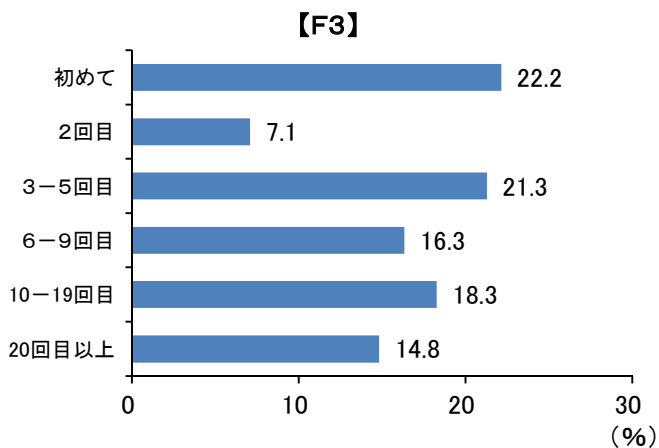


F 3 美術館への来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
平成28年度	回答数(件)	465	103	33	99	76	85	69
	割合(%)	100.0	22.2	7.1	21.3	16.3	18.3	14.8
平成27年度	回答数(件)	191	47	20	39	23	33	29
	割合(%)	100.0	24.6	10.5	20.4	12.0	17.3	15.2

F 4 ショップの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
平成28年度	回答数(件)	465	142	49	102	67	67	38
	割合(%)	100.0	30.5	10.5	21.9	14.4	14.4	8.2
平成27年度	回答数(件)	191	58	27	42	28	19	17
	割合(%)	100.0	30.4	14.1	22.0	14.7	9.9	8.9



8 美術館ホームページアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

162 件

(2) アンケート結果

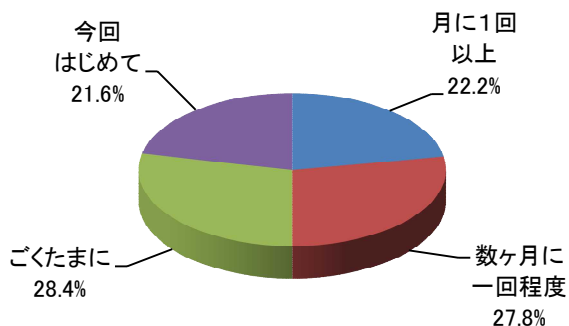
Q1 ホームページの閲覧頻度

		全体	月に1回以上	数ヶ月に一回程度	ごくたまに	今回初めて
平成28年度	回答数 (件)	162	36	45	46	35
	割合 (%)	100.0	22.2	27.8	28.4	21.6
平成27年度	回答数 (件)	75	19	29	12	15
	割合 (%)	100.0	25.3	38.7	16.0	20.0

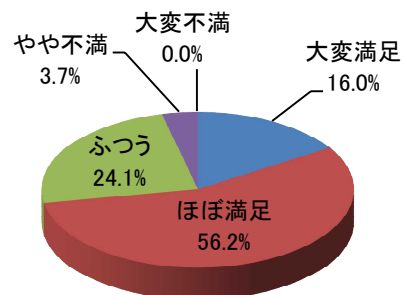
Q2 ホームページの情報内容

		全体	大変満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	大変不満
平成28年度	回答数 (件)	162	26	91	39	6	0
	割合 (%)	100.0	16.0	56.2	24.1	3.7	0.0
平成27年度	回答数 (件)	75	9	44	21	1	0
	割合 (%)	100.0	12.0	58.7	28.0	1.3	0.0

【Q1】



【Q2】

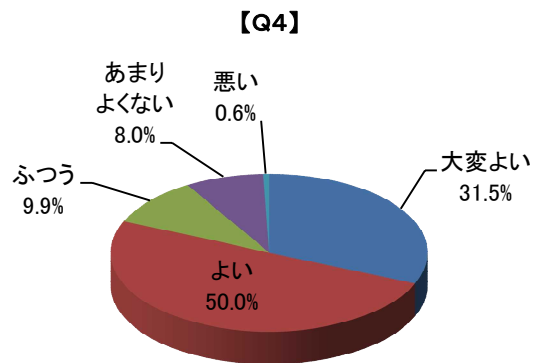
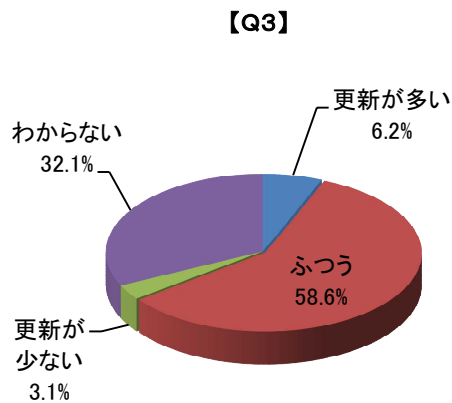


Q3 ホームページの更新頻度

		全体	更新が多い	ふつう	更新が少ない	わからない
平成28年度	回答数(件)	162	10	95	5	52
	割合(%)	100.0	6.2	58.6	3.1	32.1
平成27年度	回答数(件)	75	3	53	1	18
	割合(%)	100.0	4.0	70.7	1.3	24.0

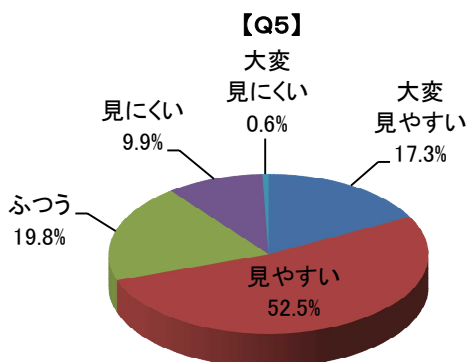
Q4 ホームページのデザイン

		全体	大変よい	よい	ふつう	あまりよくない	悪い
平成28年度	回答数(件)	162	51	81	16	13	1
	割合(%)	100.0	31.5	50.0	9.9	8.0	0.6
平成27年度	回答数(件)	75	16	41	13	5	0
	割合(%)	100.0	21.3	54.7	17.3	6.7	0.0



Q5 ホームページの見やすさ

		全体	大変見やすい	見やすい	ふつう	見にくい	大変見にくい
平成28年度	回答数(件)	162	28	85	32	16	1
	割合(%)	100.0	17.3	52.5	19.8	9.9	0.6
平成27年度	回答数(件)	75	11	35	22	6	1
	割合(%)	100.0	14.7	46.7	29.3	8.0	1.3



※1 年齢

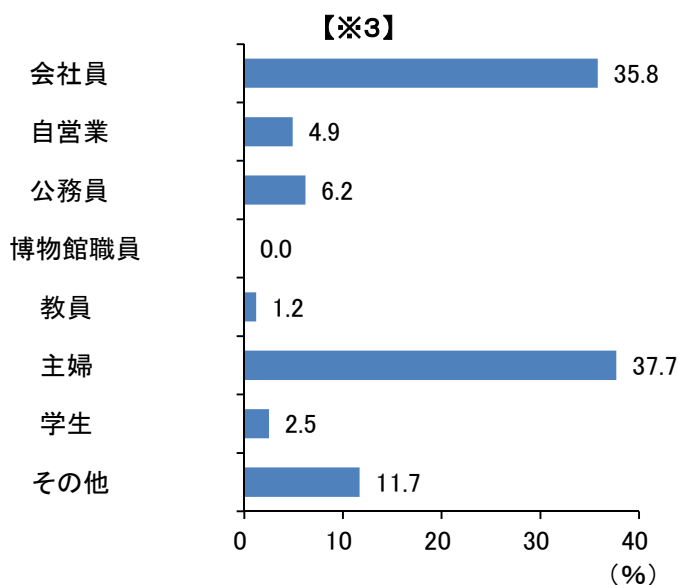
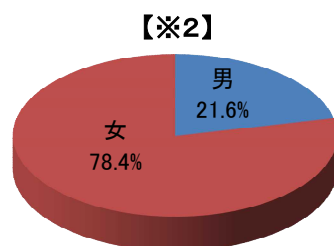
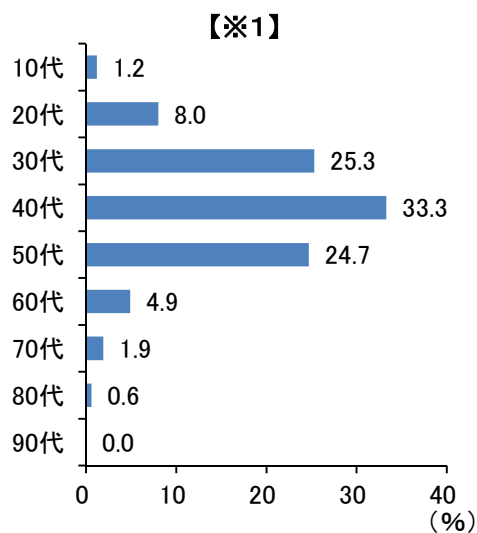
		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
平成28年度	回答数(件)	162	2	13	41	54	40	8	3	1	0
	割合(%)	100.0	1.2	8.0	25.3	33.3	24.7	4.9	1.9	0.6	0.0
平成27年度	回答数(件)	75	3	4	12	25	22	9	0	0	0
	割合(%)	100.0	4.0	5.3	16.0	33.3	29.3	12.0	0.0	0.0	0.0

※2 性別

		全体	男	女
平成28年度	回答数(件)	162	35	127
	割合(%)	100.0	21.6	78.4
平成27年度	回答数(件)	75	24	51
	割合(%)	100.0	32.0	68.0

※3 職業

		全体	会社員	自営業	公務員	博物館職員	教員	主婦	学生	その他
平成28年度	回答数(件)	162	58	8	10	0	2	61	4	19
	割合(%)	100.0	35.8	4.9	6.2	0.0	1.2	37.7	2.5	11.7
平成27年度	回答数(件)	75	29	8	1	0	1	18	4	14
	割合(%)	100.0	38.7	10.7	1.3	0.0	1.3	24.0	5.3	18.7



ご意見・ご感想 (略)

9 自由意見

この展覧会または当美術館についてのご指摘やご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。とたずねたところ、596件の自由意見があり、分類・性質別に整理をし掲載する。

自由意見の分類・性質別件数

	1			2			3			4			5		
	今回の展覧会			企画全般			展示方法			施設・環境			運営・スタッフ		
	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情
美術館に行こう！	123	8	0	8	22	0	2	7	3	10	4	7	4	3	4
徳川の平和 (バクス・トクガワーナ)	87	12	2	10	17	1	11	6	5	26	9	19	1	8	2
再発見！ ニッポンの立体	72	6	0	18	12	1	10	14	3	16	5	7	0	8	3
全 体	282	26	2	36	51	2	23	27	11	52	18	33	5	19	9

単位：件

<A 感想>

【1 今回の展覧会】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
絵一つひとつに思いや感情が込められていて、とっても良かったです。	女性	12歳以下
ミッフィーの彩色が好きで来ました。作者が使う色に意志を込め、意味を持って使っているとわかって面白かった。	男性	13～19歳
ミッフィーの作者がミッフィーの世界に込めた表現など観られて面白かったです。	男性	13～19歳
絵とか興味はそんなになかった。興味が深まった。	男性	13～19歳
モダンアートを見る機会が少ないので楽しかった。色は複雑でないが伝わるものが複雑で、素晴らしくインパクトがある。	女性	13～19歳
小さな子どもでも親しみやすいミッフィーだったので楽しく観ることができました。	女性	13～19歳
ミッフィー以外にも面白い展示があったのでとても楽しかったです。	女性	13～19歳
カンカン鳴らすのが楽しかった。	女性	13～19歳
たくさんの展示物があり見応えがありました。	女性	13～19歳
小さい頃から好きだったミッフィーがこんなにも色々工夫されていたアニメだと知って、すごく興味が持てました。	女性	13～19歳
ディック・ブルーナについて理解することができた。	女性	13～19歳
ミッフィーとモダンアートが一緒にあるというのは不思議だったけど楽しんで観ることができた。	女性	13～19歳
色を使って表現をするのは、自分も絵を描く時に意識したいと思われた。	女性	13～19歳
ミッフィー大好きで感動した。絵がいっぱいあり良かった。	女性	13～19歳

内容	性別	年齢
とても素晴らしく感動しました。	女性	13～19 歳
ドラマの絵が良かった。	女性	13～19 歳
色々なミッフィーを見られて良かったです。	女性	13～19 歳
有名なミッフィーの元を知ることができて良かったです。とてもかわいい。	女性	13～19 歳
ミッフィーを描いている人を初めて知り、色の使い方など個性的で素晴らしかった。	女性	13～19 歳
私はミッフィーが好きですが、絵本やテレビでしか見たことがなかったので、今回の展覧会でミッフィーについて様々なことを知れて良かったです。	女性	13～19 歳
色々な体験コーナーがあって楽しかった。	男性	20 歳代
多くの作品がとても見ごたえがありました。楽しかったです。これからはもっと美術館に来る機会を増やしたいと思います。	男性	20 歳代
作家がどのように作品を作っているかのプロセスがわかったことはとても良かったです。	男性	20 歳代
原画の作品がかわいかったです、改めてミッフィーが好きになりました。	女性	20 歳代
子どもが楽しめるような展示がとても良かったと思います。	女性	20 歳代
ブルーナさんの作品をたくさん拝見でき、非常に満足しております。	女性	20 歳代
製作者と作品が生まれるエピソードが添えてあるのが良かったです。制作過程をもう少し見たかったです。ミッフィーと現代アートを組み合わせた展示は意外性がありました。	女性	20 歳代
ミッフィーの絵本を通じて、他の美術作品にも触れることができとても良かったです。	女性	20 歳代
ミッフィーをきっかけとして色々な作品に出会える機会になりとても楽しく見られました。	女性	20 歳代
ミッフィー展ではディック・ブルーナの登場人物にかける思いが、シンプルにそして温かく伝わってきてとても楽しかったです。	女性	20 歳代
美術館に来たことのない子どもを連れて来たいと思いました。	女性	20 歳代
ミッフィーの色などのこだわりがわかって良かった。	女性	20 歳代
色合いがかわいく、小さい子どもも見て楽しんでた。	女性	20 歳代
楽しむことができた。	女性	20 歳代
楽しかったです。	女性	20 歳代
勉強になりました。	女性	20 歳代
楽しかったです。	女性	20 歳代
またミッフィー展をやってもらいたいです。	女性	20 歳代
色々な作品を見ることができて良かった。	女性	20 歳代
ロダン館がいつも良い。ミッフィーがいて笑えた。	女性	20 歳代
絵本を読めるスペースがあって嬉しかったです。ロダン館の明るさが良かったです。	女性	20 歳代
ミッフィーの原作者さんの知らない作品が見られて面白かったです。今までよりも興味がわきました。	女性	20 歳代
元々ミッフィーちゃんよりもモダンアートに興味があって来たのですが、ミッフィーちゃんのシンプルなかawaiiさが発見できて良かったです。	男性	30 歳代
子どもと一緒に来やすいと思いました。	男性	30 歳代
楽しかったです。	男性	30 歳代
楽しく拝見させていただきました。	男性	30 歳代

内容	性別	年齢
子どもがミッフィーを好きで、美術館も近いので来た。	男性	30 歳代
子どもと楽しく足を運ばせてもらっています。	女性	30 歳代
ミッフィーが好きだったのでこの展覧会を聞きました。知らなかったこともあったので、今回来て良かったです。	女性	30 歳代
音が出るもの、絵本、創作ができたので、子どもが楽しそうで良かった。	女性	30 歳代
ディック・ブルーナ氏の幅広い仕事内容を知ることができて満足でした。	女性	30 歳代
今回の企画展はとても良かった。	女性	30 歳代
とてもかわいらしくて楽しかったです。	女性	30 歳代
かわいくて楽しかったです。	女性	30 歳代
子どもが小さい頃よくテレビで見ていたけど、どんな人が作者なのか知らなかったので、少しでもわかって良かったです。	女性	30 歳代
とてもかわいかったです。	女性	30 歳代
ミッフィーの絵本をもとに色々な美術品を展示しているのが興味深かった。もっとミッフィーの絵本を見たいと思った。	女性	30 歳代
ミッフィーが好きなので、たくさんの作品が観られて良かったです。	女性	30 歳代
色々な年代のブルーナの作品が観られて良かったです。	女性	30 歳代
とてもかわいい展示でした。美術館に行くことに親しみが持てそうです。	女性	30 歳代
子どもが飽きずに最後まで見られた。絵本やお絵かきのコーナーがあって良かった。制作の裏話など見られて良かった。	女性	30 歳代
今までと違う視点でミッフィーを観られて良かった。ミッフィーと仲間達に今までより愛着がわいた。	女性	30 歳代
ミッフィーの展示だけだと思って来たので他のものも観ることができて良かった。小さい頃から親しんでいるがブルーナさんのこと、思いを知ることができ気づくことが多かった。	女性	30 歳代
子どもも楽しめる内容だったので3歳の娘も一緒に楽しむことができました。音の出るものや工作が特に良かったです。	女性	30 歳代
ミッフィーが好きな子と一緒に見られて良かった。色が綺麗だった。	女性	30 歳代
ミッフィーのぬりえやお面作りなど、ちょっとした体験コーナーが楽しかった。子どもが2歳、4歳と小さく、迷惑をかけては大変と来ることをためらいましたが、夏休み最終日、最後の思い出作りに来てみて良かったです。ありがとうございました。	女性	30 歳代
子どもも一緒に楽しみながら観られそうなので、後日連れて来たいと思いました。	女性	30 歳代
子どもと来る初めての美術館として楽しめました。	女性	30 歳代
とても興味深く観ることができました。楽しかったので、近いうちに子どもとも来館したいと思います。	女性	30 歳代
楽しかったです。	女性	30 歳代
絵が描きたくなった。	女性	30 歳代
子どもと一緒に楽しめるイベントで良かった。普段は子どもは入りづらいので。	女性	30 歳代
本物の芸術に触れて感動しました。	女性	30 歳代

内容	性別	年齢
幼い子どもを連れてきても遊びのスペースがあり、退屈なくて親子でゆっくり楽しむ工夫がされていて良かった。	女性	30 歳代
子どもが産まれる前には主人とは何度か来られていたのですが、今回の企画展で4歳、1歳の娘も初めて来館することができました。娘達も楽しめたようです。ありがとうございました。	女性	30 歳代
子どもが飽きないように工夫がされていたと思う。大人も楽しめました。	女性	30 歳代
子どもが見られるものがあり、良かったです。	女性	30 歳代
見やすく良かったです。	女性	30 歳代
子どもも一緒に楽しむことができたのは良かったです。普段一緒に楽しむことができないので。	女性	30 歳代
写メを撮ってもいいところが良かった。帰ったら色んな人にも見せてあげようと思います。	女性	30 歳代
ミッフィーを見に来て十分すぎる内容でした。	女性	30 歳代
空間の構成がシンプルでありながらよく考えられていた。	男性	40 歳代
作品の作り方に驚いた。	男性	40 歳代
興味が深まりました。	男性	40 歳代
音を鳴らす展示作品が面白かった。	女性	40 歳代
ディック・ブルーナについて知らないことがわかって興味深かった。	女性	40 歳代
ミッフィーが楽しめた。	女性	40 歳代
子どもの遊べる場所があるので良かった。	女性	40 歳代
モダンアートの視点を与えているのが見やすい。	女性	40 歳代
夏休みだったので子どもも楽しめるブルーナで良かった。	女性	40 歳代
ミッフィー展はかわいらしい作品がたくさんありました。	女性	40 歳代
ミッフィーの色合いがシンプルで良かったです。	女性	40 歳代
小さい時から大好きなミッフィー、ブルーナさんの絵、色使いが好きです。見ているとやさしい気持ちになります。	女性	40 歳代
子どもも楽しめるもので良いと思う。美術館を身近に感じられる。	女性	40 歳代
とても懐かしい気持ちになりました。	女性	40 歳代
私自身ミッフィーがとても好きで、子どもも2歳になり2人で初めて来てみました。とてもかわいかったです。	女性	40 歳代
絵本と現代アート、こういう見方も面白いと思いました。	女性	40 歳代
子どもと一緒に楽しめて良かった。	女性	40 歳代
今回のミッフィー展は子どもがとても喜びました。その他の作品も観ることができたので、子どものためにも良かったです。	女性	40 歳代
ミッフィーだけの展示と思ってきたが、収蔵作品と重ね合わせての内容で面白い試みだと思いました。	女性	40 歳代
親になって子どもと来ると、公共の場所でのルールや会話を一緒に学ぶことができ、今回はとても良い時間が持てました。ありがとうございました。	女性	40 歳代
ミッフィーがかわいくて楽しかったです。	女性	40 歳代

内容	性別	年齢
ブルーナの絵本は娘が小さい頃よく読んであげていたが、改めて大人になった娘と一緒に見ていて感慨深いものがありました	男性	50 歳代
原画、シルクスクリーンを観ることができたこと。ブルーナさんの他の作品を観ることができた。	男性	50 歳代
美術館での見方がわかって良い。	男性	50 歳代
うさ子の物語制作、絵の作り方の秘密が解説されていて興味深かった。	男性	50 歳代
キャラクターが好きなので良かった。	男性	50 歳代
子どもにわかりやすく考えられた展覧会だと思うが、大人が見ても十分に楽しめた。	男性	50 歳代
子ども達にもわかりやすい親しみやすい企画だと思います。	女性	50 歳代
コンセプトがわかりやすく良かった。見やすかった。	女性	50 歳代
ミッフィーが感じたことから作品を紹介するというのが面白かった。ミッフィーの言葉を借りて鑑賞のポイントが語られていてわかりやすかったです。	女性	50 歳代
面白い切り口で作品を展示していたので興味深く見られました。	女性	50 歳代
ブルーナの絵本の色合いがとても温かい感じでとても好きです。かわいいミッフィーをたくさん見られて良かったです。	女性	50 歳代
子どもも楽しめる企画で良かった。癒されました。	女性	50 歳代
全部がミッフィーというわけではないですね。	女性	50 歳代
草間彌生の作品があったので驚いた。	女性	60 歳代
孫と来ましたが夏休みはやっぱり子ども向けの企画が良いです。楽しんで帰りました。	女性	60 歳代
子どもが楽しめる工夫があって楽しかったです。	女性	60 歳代
是非またゆっくりと来たいです。ミッフィー展を孫に見せたく来ましたが、4歳は少し無理だったかと。とても良かったです。	女性	60 歳代
なじみのあるものなので、大人だけでも十分楽しめました。	女性	60 歳代
今回の企画は子どもの頃を思い出し楽しかった。	女性	70 歳以上
一つひとつのうさぎを描くのに苦労して描かれているのがわかった。	女性	70 歳以上
子ども達が小さい頃から見ているミッフィー展で、ひ孫にも見せたいです。	女性	70 歳以上
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）		
見ごたえのある金の屏風絵がたくさんあって、とても良かったです。	女性	13～19 歳
二条城の絵がとても良かった。	男性	20 歳代
心地良く拝観できました。	男性	20 歳代
伊藤若沖の絵を観られて良かったです。	女性	20 歳代
若沖の展示があるので気に入っています。	女性	20 歳代
伊藤若沖の絵が好きなので、実物を観ることができて感動しました。	女性	20 歳代
元々ロダン館を観たくて来たのですが、展覧会も素晴らしく、観られて良かったです。	女性	20 歳代
東西の絶景の際に、若沖の屏風が観たかったが行く機会を逃してしまったので、間をあげずに展示されて嬉しい。	女性	20 歳代
若沖展では混雑のためよく観られなかった作品が、思いがけず細部まで鑑賞できたのが良かったです。	女性	20 歳代

内容	性別	年齢
勧められて久しぶりに美術館に来ました。普段ゆっくり美術鑑賞をすることもないので、たまには企画展を鑑賞してみたいと思いました。	男性	30 歳代
感動した。	男性	30 歳代
伊藤若沖の絵が観られたので良かった。	女性	30 歳代
綺麗な絵をたくさん観られて良かったと思います。	女性	30 歳代
若沖の作品が観られて良かったです。	女性	30 歳代
若沖の作品が観られて満足しました。	男性	40 歳代
興味深く観ることができました。	男性	40 歳代
大振りの屏風ばかりでなく、巻物、図鑑の類の展示があったのが良かったです。	男性	40 歳代
とても良かったです。	男性	40 歳代
江戸時代の作品を久しぶりに見て、素晴らしい文化だと思いました。	男性	40 歳代
後期も楽しみにしています。	男性	40 歳代
伊藤若沖の絵もさることながら、まさか江戸時代後期の西洋画に関する資料を目にすることができるとは。来た甲斐がありました。	男性	40 歳代
若沖さんの屏風が観られて良かった。	男性	40 歳代
若沖が観たかったので、観ることができて良かったです。	女性	40 歳代
屏風が全て素敵でした。	女性	40 歳代
見ごたえのある展示で満足の時間でした。	女性	40 歳代
綺麗で良かったです。	女性	40 歳代
日本画の迫力を改めて感じました。西洋画も同時に観ることができて、よく違いがわかったような気がします。	女性	40 歳代
伊藤若沖の白象群獣図が初めて観られて良かったです。	女性	40 歳代
若沖を目当てに来館しましたが、見られて良かったです。	女性	40 歳代
貴重な作品を一目に見られて良かったです。	女性	40 歳代
最後が慶喜での締めは当館らしい。	女性	40 歳代
徳川の平和前半に続き、後半を観に来ましたが、前半の方が見ごたえのある作品が多かった気がして、少し残念です。	女性	40 歳代
江戸時代全体の流れの中での様々なジャンルでの秀作が網羅されており、面白かった。守景、蕪村が見られて良かった。	女性	40 歳代
伊藤若沖の樹花鳥獣図屏風をゆっくり観たいと思いました。こちらでは気分良く観えていると思う。	女性	40 歳代
日本の伝統的な作品を存分に楽しみました。	男性	50 歳代
伊藤若沖が良かったです。	男性	50 歳代
当美術館に若沖の作品があるのを、今回知ることができました。	男性	50 歳代
伊藤若沖の絵がたくさん観られるかと思っていましたが、観られず残念。	男性	50 歳代
若沖目当てで来館したが、徳川美術館も好きなので、徳川時代にテーマを絞った展示は見やすく内容も素晴らしかったと思った。	女性	50 歳代
伊藤若沖の観たかった作品を観ることができて感激しました。	女性	50 歳代

内容	性別	年齢
静岡ゆかりの徳川を題材としており、大変見ごたえもありました。	女性	50 歳代
以前観たものや新しい作品があり、とても良かった。	女性	50 歳代
素晴らしかったです。楽しめました。	女性	50 歳代
テーマが抽象的な面があり、少しかたよりがあると感じました。	女性	50 歳代
伊藤若沖が良かった。	女性	50 歳代
大変素晴らしい作品で良かった。後期も来ます。京都洛中洛外図屏風、ここで再び会えるとは思ってなくて嬉しい。	女性	50 歳代
伊藤若沖の作品が鑑賞できて良かったです。感動しました。	女性	50 歳代
今回は若沖の本物（普段はレプリカ）や、解体新書なども観られ、感動しました。	女性	50 歳代
様々な屏風画が観られて良かった。	女性	50 歳代
江戸文化に対する興味がわきました。面白いと感じました。	女性	50 歳代
とても良かった。	男性	60 歳代
企画展（徳川の平和）はとても興味深く観ることができました。次回を楽しみにしています。	男性	60 歳代
これだけの出展があつて、更に後編もあるとはさすが県立美術館。	男性	60 歳代
満足しています。	男性	60 歳代
良かった。	男性	60 歳代
伊藤若沖さんの晩年作、白象群獣図は初めて見て印象に残りました。	男性	60 歳代
今回の展示品には満足である。	男性	60 歳代
屏風や障壁画が見られ大変満足です。	女性	60 歳代
思っていない作品が観られた。お得気分。	女性	60 歳代
落ち着いて観ることができました。若沖の柵目描きを観るために来ましたが、良かったです。	女性	60 歳代
個人蔵の作品が多くあり、ワクワクしました。	女性	60 歳代
狩野探幽の絵が迫力があつた。	女性	60 歳代
日本画がとても素晴らしくまた観たい。	女性	60 歳代
心豊かな時間でした。	女性	60 歳代
狩野探幽、与謝蕪村、久隅守景など観ることができて良かった。落ち着いて観られた。	女性	60 歳代
とても興味が持てて良かった。	女性	60 歳代
昔美術の本で見ていた絵を、間近で拝見できて良かったです。次回の作品展のことも聞くことができました。	女性	60 歳代
歴史が好きなので、色々興味深く観られました。	女性	60 歳代
今回のようなテーマがあると、興味深く鑑賞することができます。	女性	60 歳代
今回はとても良かったと思います。とても見ごたえがありました。半券はとても良い。リピーターが増えると思う。	女性	60 歳代
高齢者 70 才以上 500 円に好感。徳川家の出展品が少なかった感じがする。	男性	70 歳以上
素晴らしい企画でした。	男性	70 歳以上
見ごたえがあつて良かった。	男性	70 歳以上
徳川期に的を絞った展示は面白いと思う。	男性	70 歳以上
素晴らしいロケーションと企画展を拝見できてありがたい。	男性	70 歳以上

内容	性別	年齢
徳川展、前期の方が良かった。	男性	70歳以上
久隅守景の納涼図が観られて幸いでした。	男性	70歳以上
探幽、若冲がないのが残念。	男性	70歳以上
今回の企画は思った以上に充実していた、音声ガイドも面白かった。	女性	70歳以上
とても良かった。	女性	70歳以上
今回は特に資料が充実していてわかりやすかった。ひとつのテーマを掘り下げた企画が良いと思います。	女性	70歳以上
展覧会良かったです。	女性	70歳以上
良かった。	女性	70歳以上
前後展示共、素晴らしいものを見せていただきました。	女性	70歳以上
前期と2回見学させていただきました。	女性	70歳以上
徳川の平和を表現した作品、色々勉強になった。	女性	70歳以上
初めてですが、素晴らしかったです。	不明	70歳以上
再発見！ニッポンの立体		
たくさんの作品があって、とても良かった。	女性	12歳以下
普段観る人形は古くからある、というようなことも学べて良かったです。	男性	13～19歳
立体の展示、楽しく観させていただきました。昔の作品だけでなく現代のものもあり、可愛い立体物に目が惹かれました。私も彫刻をしているので、色々な見方ができた展覧会でした。	女性	13～19歳
普段はあまり観ない世界観を知ることができました。日本の芸術をまたひとつ知る、良い機会になったと思います。	女性	13～19歳
現代の彫刻家もいて、とても見ごたえがあった。	女性	13～19歳
立体館の人形が楽しかった。	女性	13～19歳
作品がすごくリアルで、普段観られない世界観を知ることができた。	女性	13～19歳
マネキンよりも精巧にできていたものがあったので、驚いた。	女性	13～19歳
面白かったです。	女性	13～19歳
様々な年代のものがあり、興味深かったです。	男性	20歳代
各章の間で、何となく繋がりが見えやすかったです。	男性	20歳代
色々あって、面白かった。	男性	20歳代
大変面白かったです。彫刻について関心がわきました。	女性	20歳代
根付の展示が素晴らしかったです。	女性	20歳代
絵ではなく立体も観られるのが、意外で面白かったです。	女性	20歳代
元々立体に興味があったが、今回の展覧会で益々深まった。	男性	30歳代
美術館で立体を中心に観る機会はなかったので、レリーフなども含め、興味深く鑑賞しました。	男性	30歳代
本質に迫っていたというか、かなり深い内容だったと思います。授業の参考にしたいと思います。	男性	30歳代
他の美術館の美術品が展示してあったことに、魅力を感じました。	男性	30歳代

内容	性別	年齢
マネキン人形が本物そっくりで驚きました。しかも部屋の中央に立っていたので、遠目で人間に見えました。	男性	30 歳代
企画展、見ごたえがありました。	女性	30 歳代
小さいものが好きなので、水滴や根付をまとめて展示してくださっていたのが、とても嬉しかったです。	女性	30 歳代
生き人形がどんなものかわかった。	女性	30 歳代
良かったです。	女性	30 歳代
自分の好きなものがもっとあれば面白い。	女性	30 歳代
今まで知らなかった作品を観ることができて、有意義でした。	女性	30 歳代
サブカルチャー的な内容が不足していたと思います。	男性	40 歳代
学芸員のこだわりや、研究が生かされた展示会でした。	男性	40 歳代
企画者の存在感が強く、興味を持ちました。	女性	40 歳代
生き人形が観たくて来たのですが、前にテレビで観た大きいものが観られると思っていたので、少し残念です。その他は良かったです。	女性	40 歳代
興味がわく展示と、「？」と感じる展示がありました。	女性	40 歳代
予想より面白く観ることができました。	女性	40 歳代
昔のものの良さを、再発見できました。	女性	40 歳代
たくさん観られて、良かったです。こんなにたくさんの作品があると思わなかった。	女性	40 歳代
昔のものの方が、味わいがあって良いと思った。	女性	40 歳代
立体が好きなので、とても楽しく拝見しました。彫刻がフィーチャーされている展示は嬉しいです。小谷元彦さん・橋本平八さん・高村光雲さんの作品が、一度に観られたのも良かったです。	女性	40 歳代
島根出身の方の小さなフィギュアが良かったです。ロダン館の建物、空間が好きです。	女性	40 歳代
今回の企画をなさったところの知識の深さ、幅広さに驚いて、感動しました。とても嬉しく、楽しかったです。水滴の説明をした方が良かった。醤油さしと言っていた人がいて残念です。	女性	40 歳代
人形が本物そっくりで、ちょっと気持ち悪かった。	女性	40 歳代
企画展、楽しめました。	女性	40 歳代
古いものから現代と、色々あって面白かったです。	女性	40 歳代
今回はあまり期待をしていませんでしたが、とても面白かった。満足しています。	男性	50 歳代
竹の上に乗ったトカゲが、とても精巧で良かった。	男性	50 歳代
もっと現代アートの展示があると思っていた。	男性	50 歳代
フィギュアが精巧でした。	男性	50 歳代
人形なのに実物のような感じを受け、作者の技術力・観察力等の深さ・高さの素晴らしさを感じ、強く訴えるものがあつた。	男性	50 歳代
フィギュアに感動した。	女性	50 歳代
企画展に対しては、少々もの足りなかった。ロダン展は立派だった。	女性	50 歳代
面白かったです。	女性	50 歳代
様々な形の立体、その技法に驚かされました。	女性	50 歳代

内容	性別	年齢
江戸期から現代までいつの時代もフィギュアがあり、表現の仕方に流行があり、楽しく鑑賞できました。	女性	50 歳代
展示の仕方がユニークでした。リアルな3人の人形は、わかっていてもそれが目に入るたびに、ドッキリさせられました。	女性	50 歳代
様々な見方で立体について考えることができて、良い機会を得ました。ありがとうございます。	女性	50 歳代
マネキン人形に驚きました。	女性	50 歳代
像などの作品はあまり見たことがなかったので、面白かったです。像にも抽象的なものがあるのだなど。	女性	50 歳代
同じ作家の作品を一度に観られて良かったかもしれない。	女性	50 歳代
今までにない企画で面白かった。子どもや若い男性などが来る、良いきっかけになったと思う。	女性	50 歳代
思ったよりも、たくさんの展示品で満足しました。	女性	50 歳代
年代、ジャンルを問わず、日本の造形を観ることができ、充実した時間を過ごせました。	女性	50 歳代
久しぶりに、ペコちゃんなど懐かしいものが観られて良かった。	女性	50 歳代
富士山三保子さんを観に来た。大変良いものを観て、感動した。	男性	60 歳代
確かに、立体作品についての関心は一般にあまり高くないので、良い視点を提供してもらった。ロダンの作品を今後も活用して、企画展を続けてほしい。	男性	60 歳代
久しぶりの来館でしたが、色々観ることができて良かったです。富士山三保子さんに寄せられて。	女性	60 歳代
富士山三保子の人形が観られて良かったです。	女性	60 歳代
立体について、考えることができました。	女性	60 歳代
土偶から現在のフィギュアまで通して観ることができ、立体像についての関心が深まりました。	女性	60 歳代
非常に興味深く拝見しました。近頃の企画展のグレードアップを感じます。	男性	70 歳以上
思ったより良くなかった。	男性	70 歳以上
円空が良かった。	女性	70 歳以上
小さい彫刻が素晴らしい。	女性	70 歳以上
本当の人間が存在しているように見えて感動した。	女性	70 歳以上
よく観られて、大変良かったです。	女性	70 歳以上

【2 企画全般】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
トルソーが理解できた。娘を誘って来た。興味深く見ていたので良かった。	女性	12 歳以下
ロダン展の地獄の作品を見た、大変良かった。	女性	13～19 歳
また来たいと思います。	女性	20 歳代
近年、都内でやるようなとても素晴らしい巡回展もやるので、近くで来場できありがたいです。	女性	30 歳代
初めて来たけど思った以上に良かった。	女性	30 歳代
NHKのビジュチューンのファンでロダンを見に来ました。	女性	30 歳代

内容	性別	年齢
興味深い企画展が多くて良いと思う。	女性	30 歳代
友人も好きな作品があると都内から足を運んでくれるので、興味あるものを楽しみにしています。	女性	50 歳代
徳川の平和（パクス・トクガワナ）		
駅から少し遠いですが、大きな展覧会が多く見がいがあります。最近では館長さんのパワーが発揮されていて楽しみです。	女性	40 歳代
よく来る。大好き。日本画、洋画ともに良し。	男性	50 歳代
今後の企画展にも期待しています。	女性	50 歳代
いつも展示が豊富で、内容、稀少性、珍しいし良いと思いました。	女性	50 歳代
満足です。機会があればまた来てみたい。	男性	60 歳代
ロダン館。	女性	60 歳代
ロダン作品の豊富さに驚き。	男性	70 歳以上
いとこ会の企画で仙台から参りました。上野の美術館は知っていましたが、当館は今回知りました。	男性	70 歳以上
静岡商業の先輩に有名画家がいることを、初めて知りました。	男性	70 歳以上
数年前なので記憶がありません。	女性	不明
再発見！ニッポンの立体		
また来たくなった。	男性	12 歳以下
前回ロダンの彫刻を観させてもらい、今回も前回と同じく感動しました。	男性	20 歳代
印象派の企画展など観てみたい。	男性	20 歳代
普段美術館には行かないだけに、とても刺激を受けました。	男性	20 歳代
いつも楽しく来館させていただいています。テーマ展が特に好きです。これからも素敵な展示会を期待しています。	女性	20 歳代
ロダン展の地獄の門を、初めて観ることができて良かった。	女性	20 歳代
面白い視点での企画が多く、いつも楽しみにしています。	男性	30 歳代
何回も来ていますが、大変勉強になっています。	男性	30 歳代
また来たいです。	女性	30 歳代
西洋画の展示が良かったです。	男性	40 歳代
ロダンの展示が良かったです。	女性	40 歳代
ロダンを観に来ました。企画展も良かった。	男性	50 歳代
地元のゆかりある作品などの展示。	男性	60 歳代
古典から現代まで、興味深い企画展を期待しています。	男性	60 歳代
人々が親しみやすい印象派のヨーロッパ絵画が良い。日本人、静岡出身の画家の展示を。	男性	60 歳代
興味深い企画が多いので、楽しみにしている。	女性	60 歳代
至福の時を味わっています。心が豊かになります。	女性	60 歳代
1 階には家内と催しで、年に 1 から 2 回来ます。	男性	70 歳以上

【3 展示方法】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
キャプションの作りがおしゃれでした。	女性	30 歳代
見やすく良かった。	女性	50 歳代
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）		
少しだけ、作品の紹介が見にくい点がある。その他はとても満足だった。	男性	13～19 歳
配置が良く、非常に見やすかった。	男性	30 歳代
巡りやすい。	男性	40 歳代
順路、動線がわかりやすく、観るのに楽でした。	女性	50 歳代
ワンフロアで観やすかった。	男性	60 歳代
音声ガイドが大変良かったです。	男性	60 歳代
音声ガイドを利用したので、わかりやすく興味深く鑑賞できた。	女性	60 歳代
タイトルの付け方がいつも上手。	女性	60 歳代
芳賀館長さんの文章がいつも素晴らしい。	男性	70 歳以上
平面なので、移動しやすい。	女性	70 歳以上
小さい作品は遠くて見づらいものもありました。その他は楽しく鑑賞させていただきました。	女性	70 歳以上
再発見！ニッポンの立体		
作品を近くで観られる展示が良かった。	男性	20 歳代
仲間という作品の配置が、とても目に行きやすく良かったです。	男性	20 歳代
作品の作家さんの説明はあったのですが、作品の説明がなかったのが少し残念でした。	女性	30 歳代
所々にある説明パネルが、かしまり過ぎず、学芸員さんの個人的な考えなども書いてあったのが楽しかったです。	女性	40 歳代
整頓されていて、鑑賞しやすい。	男性	50 歳代
解説に加えて、企画した方（県立美術館の方と思いますが）の思いが綴られたパネルがあり、読んでいくにしたがって、関心が高まりました。	男性	50 歳代
展示がとてもわかりやすかった。	男性	60 歳代
音声ガイドの内容が、少し物足りませんでした。	女性	60 歳代
良いものがいっぱいあった。レイアウトに注意。次回を楽しみにしている。	男性	70 歳以上
音声ガイドというものを初めて使ってみました。ちょっと番号がわからなくて、ガイドの方にお世話になりました。ありがとうございました。	女性	70 歳以上

【4 施設・環境】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
とても静かで見やすかったし、楽しかった。	女性	20 歳代
空調がちょうど良くて快適でした。	女性	20 歳代
落ち着いて鑑賞できました。またゆっくり来たいです。	女性	30 歳代
静かで整理されていて気持ち良く、印象が良かった。	男性	40 歳代

内容	性別	年齢
駐車場から美術館への道すがら、色々な彫刻を見ることができ、今から芸術に触れるという心の準備ができてとても良い。	女性	40歳代
いつ来てもよく手入れされていて、気持ち良く利用できます。	女性	40歳代
静かな雰囲気の中で見学でき、良い環境にいつも満足します。	女性	50歳代
平日のため、ゆっくり見ることができて良かった。	女性	50歳代
静かな雰囲気です。ゆっくり鑑賞できる場所で、気に入っています。	女性	60歳代
平日だったので静かにゆっくり観られて良かった。札幌からの友人にも喜んでもらった。	女性	70歳以上
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）		
冷房が寒く感じる時もあったけれど、貴重な資料・絵画がじっくり観られて良かった。	女性	30歳代
3連休で混んでいるのが残念。	男性	40歳代
入館してすぐ、ロビーの雰囲気が良い。	男性	40歳代
駐車場からのアプローチも景色が良かった。	女性	40歳代
ゆっくり鑑賞できるので、また来たい。	女性	40歳代
落ち着いて鑑賞できて良かったです。	女性	40歳代
静かでゆっくりと観ることができました。	女性	40歳代
ゆっくり落ち着いて観ることができました。	女性	40歳代
入口のところのスロープの馬が、美術館の建物と合っていないなとも思います。	男性	50歳代
ゆっくりと静かに拝見できるのが静岡美術館の好きなおところです。	女性	50歳代
ゆっくり観ることもできて、作品数も多く満足しました。	女性	50歳代
混雑していませんでした。	男性	60歳代
静かで良い。	男性	60歳代
静か、心地良い、OK。	男性	60歳代
美術館の立地から、春、秋の季節感を目で感じられることが素晴らしい。	男性	60歳代
いつも平日に来ますが、落ち着いていてとても良いです。	女性	60歳代
ゆっくりと観ることができました。	女性	60歳代
スケールも大きく、ゆったりと作品が観られて良かった。	女性	60歳代
今回は静かに観ることができ、良かったです。	女性	60歳代
比較的静かにゆったりと観ることができます。	女性	60歳代
建物も落ち着いていて、色々なところに行っているが一番良い。	女性	60歳代
色々行っているけど一番良い。	女性	60歳代
ロダン美術館の雰囲気がとても良い。	女性	60歳代
環境の良さ、館内の落ち着きが大変良い。	男性	70歳以上
心落ち着きます。	男性	70歳以上
ゆったりした展示スペースで鑑賞しやすかった。	女性	70歳以上
再発見！ニッポンの立体		
とても心地良く、ゆったりと観られるので、とても好きです。	女性	13～19歳
大学の近くに美術館があって、とても嬉しいです。	女性	20歳代
静かで落ち着いているので、また来たいです。	女性	20歳代

内容	性別	年齢
静かにゆっくりできて良かったです。	女性	20 歳代
落ち着いて観ることができました。面白そうな企画があれば、また来たいです。	男性	40 歳代
ゆったりとした雰囲気、とても良い美術館だと思います。	男性	40 歳代
ゆったり観られて良かった。	女性	40 歳代
駐車場もあって、ありがたいです。	女性	40 歳代
観やすい。絵が綺麗に見える。	女性	40 歳代
落ち着いた雰囲気で、周りの景色も綺麗ですごく良いです。	女性	50 歳代
平日だったので、人が少なく残念だと思いました。	女性	50 歳代
美術館のロケーションが良い。全体的な雰囲気が、他の美術館と比べて1番好きで良い。日本平ホテル経営のレストランのメニューが減ってつまらない。	男性	60 歳代
鑑賞しやすかった。	男性	60 歳代
いつでも気持ち良く観ています。	女性	60 歳代
雑音がなくて良い。	男性	70 歳以上
場所が好きなので、特にプログラムがなくても、不定期に来させていただいています。	男性	70 歳以上

【5 運営・スタッフ】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
市、県のホームページをあまり見ないので、講座などを実施しているのを知らなかった。	男性	40 歳代
今回スタッフがエプロン姿で、いつもより親しみやすかったです。	女性	60 歳代
静大生のロダン館の説明が良かった。	女性	70 歳以上
偶然ロダン展の説明を 30 分聞きながら見学しました。見方を教えてもらい良かったです。	女性	70 歳以上
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）		
前回、東西の絶景展の時に、入れ替え展がよくわからず残念だった覚えがあります。今回はわかりやすいPRで良かったです。今後も楽しみにしています。	女性	50 歳代

< B 要望 >

【1 今回の展覧会】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
ブルーナさん以外の作品が観られるとは知らなかった。その部分も広報があると嬉しい。草間彌生作品を観ることができて、中学生の娘も驚きました。嬉しいです。	女性	30 歳代
ミッフィー展は子どもが多いと思うので、ワークショップをやればもっと良いと思う。	女性	30 歳代
ミッフィーちゃんの展覧会は小さな子と一緒に来られたので良かった。また小さい子も来られる展覧会があると嬉しいです。	女性	30 歳代
絵本を読むようになって来ました。絵本のコーナーやぬり絵のコーナーが楽しかったですが、ワークショップはもう少しにぎやかにできる場所が良かったです。	女性	30 歳代
子どもの美術教育、鑑賞に向いている。もっと学校にPRしたら良い。	女性	40 歳代
ブルーナさんのコンセプトや作風の変化についてもっと知りたいと思いました。美術館として何を伝えたいのか、もっとはっきりする展示会にしていくと良いのではないのでしょうか。	女性	40 歳代
今回子どもも連れて行こうか迷ったのですが、一人でじっくりと絵を見たくて一人で来ました。ミッフィーなので工作や絵本などのコーナーあり良かったのですが、クイズスタンプラリーっぽいものもあっても良かったかなと思いました。	女性	40 歳代
全部がミッフィーかと思った。もう少し作者についてクローズアップしても良かった。	女性	50 歳代
徳川の平和（パクス・トクガワナ）		
洛中洛外図屏風で、有名なところなど、どこがどこといった現在の地名が書いてあるような解説があると探しやすかったです。また、歌が現代語訳されていないところがあったので、あるとよりわかりやすかったです。	男性	20 歳代
前期のみ後期のみ展示する作品を、もっとわかりやすく入口前等に表示してほしい。	女性	30 歳代
伊藤若沖の展示がもっとあると嬉しいです。	女性	40 歳代
若沖の真筆の作品が拝見できて幸せでした。できましたら、特集を組んでくださると嬉しいです。	女性	40 歳代
伊藤若沖様の他の作品をもっと観たいです。	女性	50 歳代
琳派の絵画がたくさん観られると良い。	男性	60 歳代
浮世絵も観たかった。庶民文化なので。	男性	60 歳代
徳川の平和は2回連続で観た。2回目は割引があった。良かった。次回もお願いしたい。	男性	60 歳代
とても充実していた。それぞれの作品についてもっと知りたい。もっと宣伝して、多くの人に見てもらえるようにしてほしい。	女性	60 歳代
伊藤若沖は10日で終わりと聞いているが、期間が短いと感じる。	女性	60 歳代
前半の期間には都合で来られなかったので、伊藤若沖の作品を後半の期間も観たかったです。	女性	60 歳代
今回の美術展は楽しめた。今後も良い企画を望む。テーマごとに各所蔵者から良いものを集めてほしい。	男性	70 歳以上
再発見！ニッポンの立体		
もっと野口哲哉さんの作品を観たいです。	女性	13～19 歳
今回の展示から関連して、キャラクターフィギュアを特集した展示も観てみたいと思った。	男性	20 歳代

内容	性別	年齢
今回のように、写真を撮ることを許可している作品・人形を増やすと面白いかも。	男性	40 歳代
もっと野口哲哉さんの作品があると良かったです。	女性	40 歳代
野口哲哉さんの作品が目当てで来ましたが、他のものも興味深く拝見しました。明治期の工芸品の作品展もやっていただけたらと思います。	女性	50 歳代
もう少し展示数やジャンルが多ければ良かった。	男性	60 歳代

【2 企画全般】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
美少女の美術史が見たいです。	女性	13～19 歳
外国人の作品をもう少し見てみたい。	女性	13～19 歳
学校などで習う見て変わる絵などは、見ると面白いので増えたら良いなと思います。	女性	13～19 歳
歴史を感じる展示会をやっていただきたいです。	女性	20 歳代
元々美術館は好きですが、親しみのあるキャラが展示に使われていると、更に行こうかなという気持ちになります。また絵本のキャラクターとコラボしてほしいです。	女性	20 歳代
写真展を多めにお願いします。	男性	30 歳代
子どもができて以来なかなか来ることが難しいので、子連れで楽しめる展覧会があればまた是非来たい。	女性	30 歳代
絵本原画展などをやってほしいです。	女性	30 歳代
天野喜孝展。	女性	30 歳代
子ども向けのもの。	女性	30 歳代
赤ちゃんでも楽しめるものがあると良い。	女性	30 歳代
子ども向けの展覧会を今後もお願いしたいです。	女性	30 歳代
子どもと初めて美術館に来ることができて良かった。他にも子どもが来られる展示があれば嬉しい。	女性	30 歳代
子どもと来館がしやすい企画展をもっとしてほしい。	女性	30 歳代
徳川家の企画物が多いが今川家や北条家の企画物が観たい。	男性	40 歳代
浮世絵展をもっと増やしてほしいです。	女性	40 歳代
これからも子どもから大人まで楽しめるイベントを開催してほしい。	女性	40 歳代
子ども向けの催し物をもっと行ってもらいたい。	女性	40 歳代
子どもも観られるような企画を作ってもらえると、小さい頃から興味が持て、美術館でのマナーも身に付き良いかと思います。	女性	40 歳代
土日祝日に説明会やセミナーをやってほしい。	男性	50 歳代
常設を充実させていただけると良いのですが、若沖とか大観をいつも見たいです。	女性	60 歳代
こうした企画も良いですが、奈良の仏様をやってください。	女性	70 歳以上
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）		
美少女の美術史をもう 1 回やってほしいです。	女性	13～19 歳
西洋画、東洋画の両方を観ることが好きなので、東西の絶景展のように、ひとつのテーマに沿って各地域の絵画などを観られる企画展をもっと開いていただきたいと思います。	男性	20 歳代

内容	性別	年齢
近代の作品もまた取り上げていただきたいです。	男性	30 歳代
スイス以外の北欧デザイン展があると嬉しいです。	女性	30 歳代
若沖を通年展示してほしい。	女性	30 歳代
所蔵の絵を常に展示してほしい。常設展示スペースを拡大してほしい。	男性	40 歳代
どんな展示があるかは、いつも気にしていますが、美術に詳しくないとダメかなと感じることがあります。親近感のわくテーマがありがたいです。	女性	40 歳代
以前のエジプト展をまた展示してもらえたら嬉しく思います。あと、ピカソ展なども企画してほしいです。	女性	40 歳代
収蔵品の西洋画が展示されている期間が短いような気がします。良いものも持っているのに、伊藤若沖も含む常設スペースが狭く、お目見えすることが少ないのがもったいないです。	女性	40 歳代
テーマを選ぶ際に、専門家に議論してもらおうとどうでしょう。	男性	50 歳代
引き寄せる作品に乏しさを感じる。1年に1度くらいは大作品をやってほしい。東京美術館で若沖の作品展をやったが、行列で観られなかった。	男性	60 歳代
藤田嗣治などの作品をお願いしたい。	男性	60 歳代
今年の夏のように、子どもと一緒に入れる企画をお願いしたいです。	女性	60 歳代
常設の展示物があると良いと思います。	女性	60 歳代
秋野不矩展をやってください。	女性	60 歳代
身近の画人、または近年の方も観たい。	女性	70 歳以上
遺跡の発掘品の展示を観たい。	女性	70 歳以上
再発見！ニッポンの立体		
前にあった美少女の世界のようなものもやってもらいたいです。	女性	20 歳代
マニアックな展示がもっと多くなると良い。	男性	30 歳代
考える人を初めて観ました。ロダンのことが少しずつわかってきました。油絵が好きなので、もっとたくさん置いてほしいです。	女性	30 歳代
若手の美術家の企画展を期待しています。	男性	40 歳代
西洋絵画を中心に観てきたが、もう少し常設展示をしてほしいと感じる。	男性	40 歳代
彫刻、絵に限らず、染め物などの企画展などをしていただけたら、また来たいと思います。	女性	40 歳代
古代エジプト展やマヤ文化があれば、また来たいと思います。	女性	50 歳代
彫刻が好きなので、彫刻関係の展示をしてもらいたい。	男性	60 歳代
もっと現代を。	男性	60 歳代
現代美術の紹介に、もっと力を入れていただきたい。	女性	60 歳代
お友達に誘われてぶらっと来ましたが、とてもたくさん作品を拝見できて満足しました。これからも時々来館しようと思います。スケジュールがもっとわかりやすいと良いのですが。	女性	60 歳代
世界の美術を観たいです。	女性	70 歳以上

【3 展示方法】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
絵を観て何が良い絵なのかよくわからないので、どこがどのように素晴らしいのかを教えてください。	男性	13～19 歳
作品に関する説明などがもう少し欲しい。	女性	20 歳代
子ども向けのワークショップや触れることのできる展示物があると嬉しい。	女性	20 歳代
触れる絵があると子どもが良いと思う。	女性	30 歳代
子どもが触れる作品があると嬉しいです。子どもが触らないように注意するのに気を取られ、作品をゆっくり観られませんでした。	女性	30 歳代
解説の漢字に振り仮名があると、子どもでも読めると思います。	女性	40 歳代
土曜日だったので一緒に話をしながら見られたのはとても良かった。実際に触ることができる展示があると楽しいと思った。	女性	40 歳代
徳川の平和（パクス・トクガワナ）		
絵の中に描かれているモチーフの説明が、もう少し欲しいように思いました。	女性	20 歳代
江戸、京都の画派の説明を図示しておくとうわかりやすいと思います。	男性	40 歳代
作品がどのような場面で使用されていたのか、説明が欲しかった。	男性	50 歳代
説明文の文字が小さいので見えにくい。音声ガイドで画の鑑賞ポイントが聞けたら良い。	男性	60 歳代
音声ガイドの語りは普通の言葉の方がわかりやすい。	女性	60 歳代
音声ガイドがとてもわかりやすいので、利用されると良い。あと 100 円値下げしたら利用者が増えそうな気がしました。	女性	60 歳代
再発見！ニッポンの立体		
とても楽しめました。ニッポンの立体展の音声ガイドに、もう少し作品、作家の情報があつたら嬉しい。	男性	30 歳代
作品一つひとつにも簡単な説明があればわかりやすいと思う。	男性	30 歳代
小さな作品には、虫眼鏡がついていると見やすかった。	男性	40 歳代
子ども達が楽しめる展示があると良い。触って良いもの、動かして良いものなどがあるスペースを作ってくれたら良い。	女性	40 歳代
美術館に行こうの時には、子どもと一緒に楽しめたこともあったので、子どものための解説があれば良かったです。	女性	40 歳代
立体品の小さなものは、拡大写真などを付けてほしい。	男性	50 歳代
音声ガイドを借りましたが、音声ガイドならではの情報が少なく、ナレーターの感想の押し付けで、内容が薄いところは改善した方が良いと思いました。	男性	50 歳代
説明書がもう少し大きい方が良い。	男性	50 歳代
手で触ることのできる展示物があると、感覚が刺激される。文字の解説は最小限で良い。若干多い。	男性	50 歳代
順路がわかりづらいので、誰でもわかるようにしてほしい。	女性	50 歳代
作家の作品が、もう少し見やすいようにしていただきたい。	男性	60 歳代
展示物の高さがもう少し高い方が、見やすいと思いました。	女性	60 歳代

内容	性別	年齢
彫刻を周囲から観られるようにしてほしい。正面のみでは、もう少し細かいものをアップで観たかったと思った。	女性	60 歳代
説明は、イヤホンなしでも更に理解できるように願いたい。	男性	70 歳以上

【4 施設・環境】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
おむつ替えスペースが近くに欲しかったです。おむつ替えシートが付いているトイレが少ないですね。	女性	40 歳代
飲み物も自販機を置いてください。	男性	50 歳代
水飲みが欲しい。	男性	50 歳代
夏の冷房の温度をもう少し高めに。	男性	60 歳代
徳川の平和（パクス・トクガワナ）		
磯田道史先生の講演を聞き逃してしまったので、また開場していただけると嬉しいです。展示室がもう少し明るいと、細かいものも見やすくて助かります。	女性	30 歳代
路線バスの本数がもう少し多いと助かります。	女性	40 歳代
少し早く来て待ち時間があつた。カフェを9時頃から開いてくれればありがたい。	男性	50 歳代
静鉄やバスでの交通の便が良いと更に良いと思う。	女性	50 歳代
開館時間まで、ゆっくり待つスペースがもう少しあると良かった。	女性	50 歳代
駐車場を増やして。	男性	60 歳代
絵画への照明は色々難しい点もあると思いますが、技術的に工夫が進み、もっと明るい中で観ることができたらと思います。	男性	60 歳代
特に館に近いところの駐車場がもう少し広いと、より良いと思います。	女性	60 歳代
もう少し照明が明るい方が良い。	男性	70 歳以上
再発見！ニッポンの立体		
途中で座るところがもう少しあると、より快適に観覧できると感じました。	女性	13～19 歳
ロダン館に椅子の配置を。	男性	50 歳代
静鉄の駅からのアクセスが、もっと良いと来場しやすい。シャトルバスなど。	男性	50 歳代
部屋がもう少し明るいと良かった。	女性	50 歳代
床に貼ってある魚は不要。	女性	50 歳代

【5 運営・スタッフ】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
スタッフの人は服を統一した方が良い。遠くから見てわかりやすいので。	男性	50 歳代
ポスターを J R の駅に出してほしい。美術館まで来ないとわからない。	男性	70 歳以上
学芸員さんもとても良い人もいますが、もう少し見方を教えてくださる方がいると良い。	女性	70 歳以上
徳川の平和（パクス・トクガワナ）		
トークフリーデイが多くあると良い。	男性	40 歳代
10 時開場前、外の並び列を作る。	男性	40 歳代
いつも月曜日が休みで来られないので、月に 2 回くらいは月曜日にも営業してほしいです。	男性	50 歳代
ロダン館は別料金で、企画展の料金を下げる。	男性	50 歳代
毎週土曜日がフリートーク日ということですが、話をされている方はほとんどが年配の方。できれば、平日にしてほしい。また、ホームページでそのことをもう少しわかりやすくしていただきたい。たまたま家族と時間を合わせて来館したのに、館内が騒がしくゆっくり鑑賞できなかった。	女性	50 歳代
大人が観るために、無料になるため子どもを連れてくるのはどうかと思います。無料の年齢の幅を狭くして良いかも。	女性	50 歳代
気付かなかったかもしれないが、もう少し宣伝してほしい。	女性	60 歳代
チラシを図書館、J R の駅に。予約不要の講演会を希望します。	女性	70 歳以上
再発見！ニッポンの立体		
フリートーキング・デイがもう少し増えれば良いなと思いました。	男性	40 歳代
大人向けのワークショップをもっと頻繁にやっていただけると良い。特に特別展と連動はしなくても良い。	男性	40 歳代
アンケートは任意が良いと思います。	男性	40 歳代
友の会だと、1 年間で 5 回来られないうちに期限が切れることがあるので、回数券会員のようなシステムを作ってほしい。	女性	40 歳代
スマートフォンで美術館のホームページを見る時、トップページがわかりにくく、直接スマートフォン用のサイトに飛べると良いなと思いました。	女性	40 歳代
展示場にいる係の人が静かすぎる。もっと笑顔がほしい。	男性	50 歳代
もう少し積極的に発信した方が良いと思います。今日は楽しく鑑賞させていただきました。	女性	60 歳代
県民の美術館として、多くの県民に親しみのわく企画を望む。公共交通機関のアクセスについても、県内各地からの案内がもっと必要。	男性	70 歳以上

<C 苦情>

【1 今回の展覧会】

内容	性別	年齢
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）		
作品が少ない。	男性	20 歳代
琳派の作品がない。取り上げられていないのはなぜ。音声ガイド、落語調のトークはうっとりしい。もっと落ち着いて聞きたい。	女性	60 歳代

【2 企画全般】

内容	性別	年齢
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）		
学芸員さんが変わったからか、静岡市立美術館ができてからかはわかりませんが、最近企画展の質が落ちてきたように感じます。	女性	30 歳代
再発見！ニッポンの立体		
画家の展覧会が少ない。どうしても東京へ観に行くことになる。	男性	60 歳代

【3 展示方法】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
文字が小さかった。	男性	13～19 歳
音、ドレミが気になって集中できなかった。場所を変えてほしい。	女性	50 歳代
説明文が足りなかったように思う。	女性	50 歳代
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）		
屏風の作品は低くて見にくい。	男性	30 歳代
若沖の絵の目線が少し低いような気がした。身長が 163 c m なので、下の方までよく観るにはかがむ必要があった。	女性	30 歳代
細かい描写の作品が多いため、作品が遠くて観にくかったものがあった。	女性	50 歳代
最後の部屋の順路が少しわかりにくく、交錯している人が多かった。	女性	50 歳代
見る人が 1 か所に集中しないよう、本人が周りの人を見て調整しましたが、もっと多くの人集中した場合、読んでいる時間がありません。もったいないです。	女性	60 歳代
再発見！ニッポンの立体		
自由に観られるが、順序がはっきりしてなくて、わかりにくい。	女性	40 歳代
キャプションの字が小さい。内容はやや細かい。	男性	60 歳代
説明文の文字が小さすぎ。	女性	60 歳代

【4 施設・環境】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
デザイナーの椅子、バルセロナチェアが大分傷んでいるように思った。	男性	30 歳代
ロダン館手前の、静岡体操的なビデオが気になる。無音か、なくしても良いように思う。	男性	30 歳代
駐車場が若干入れにくい。	男性	30 歳代
駐車場の案内がわかりにくい。	女性	30 歳代
ラウンジが寒い。	女性	40 歳代
学生が気になった。	男性	50 歳代
土日にファミリーのイベントの人達と同じ時間に重なってしまい、少し騒がしかった。しかし学芸員の方の説明と一緒に聞くことができとても良かった。	女性	50 歳代
徳川の平和（パクス・トクガワナ）		
バスが少なく、なかった。	女性	13～19 歳
駐車場が狭い。	男性	40 歳代
道路の案内図（説明）がわかりにくくて迷子（2回目）です。	女性	40 歳代
駐車場がいっぱい、ぐるぐる周った。	女性	40 歳代
駐車場が少ない。	男性	50 歳代
駐車場が遠すぎる。	男性	50 歳代
公共交通機関が乏しいのが残念。展示物の前に黒い柱があるのが気になる。	男性	50 歳代
雨の日の駐車場が遠い。	男性	50 歳代
時代を追えたので、解説がわかりやすかったです。2人連れなどで来る人たちが話す声になります。	女性	50 歳代
展覧会も独創性があり、美術館自体の建築様式もとても素敵だと思います。ただ、今回車で来たため、駐車場を探すのが大変だったことだけが難点でした。	女性	50 歳代
駐車場がわかりづらい。	男性	60 歳代
他に比べて少し会場が暗いと思います。展示が前期、後期と分かれていると、2回来なければならない。目当てのものが無い。	男性	60 歳代
駐車スペースが少ない。係員の知識、もう少しアップを。	男性	60 歳代
作品展示の照明が少し暗すぎ。	男性	60 歳代
遠方から来るのには交通の便が悪い。	女性	60 歳代
照明が暗い。	女性	60 歳代
高齢者には館内が暗く、現物の内容が少し見づらかった。	男性	70 歳以上
照明が暗い。	男性	70 歳以上
来館する交通手段が超不便。	女性	70 歳以上
再発見！ニッポンの立体		
暖房が少し強い。	女性	20 歳代
静かな雰囲気作品に集中することができました。一方で、話し声は小声でもよく響いてしまうので、スタッフの方の声も気になってしまうことがありました。1歳の子供がいるのですが、騒がしくしてしまうので、一緒に来られないと感じました。	女性	30 歳代

内容	性別	年齢
時々、他の方の大きい声が気になる。	男性	40 歳代
来館者の話し声が大きかった。	男性	60 歳代
暑すぎました。	女性	60 歳代
下から上ってくるのが大変。高齢者が楽に来られるための工夫が必要。	男性	70 歳以上
満車で、駐車場所に苦労した。	男性	70 歳以上

【5 運営・スタッフ】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
サイトがわかりづらかった。	男性	30 歳代
Q 3のところ、この展覧会に興味があってという項目がないのはおかしい。Q 4の1～5ですが、普通1が「はい」ではないですか。	女性	30 歳代
子どもの親も含め、子ども達への注意をもう少ししてほしい。静かに。	女性	30 歳代
展示のところにいるスタッフの方が席を立ってうろうろしているのが気になる。	女性	50 歳代
徳川の平和（パクス・トクガワーナ）		
話し声が大きい人が多くて、集中できなかった。私語を小さな声でという注意はできないでしょうか。	女性	50 歳代
ホームページを見ても、作品目録のようなものがない。	男性	70 歳以上
再発見！ニッポンの立体		
以前、売店での職員の態度に、気を悪くしたことがありました。	女性	60 歳代
ホームページの情報がいまいち。インターネットでの情報が少ないと思う。ニッポンの立体、感動しました。	男性	70 歳以上
アンケート用紙の質問Q 4、Q 6、N o 1、N o 5が大変良いの印が付けにくい。	女性	70 歳以上

平成 28 年度 静岡県立美術館評価業務 報告書
平成 29 年 3 月

発 行 静岡県立美術館

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

TEL 054-263-5755

委託先 株式会社サーベイリサーチセンター

〒420-0853 静岡市葵区追手町 8-1

TEL 054-251-3661

【平成28年度第三者評価委員会での意見と対応状況】

〔1〕達成目標等に対する二次評価

基本方針	意見	対応状況
A	<p>収蔵品を有効に活用した展示を行えば、県立美術館ならではの集客につながるのではないかと。</p> <p>より多くの寄贈を受けることができるよう、寄贈作品を展示する際は寄贈者の名前を大きく掲示するなどの工夫をすべきである。</p>	<p>平成29年7月中旬から8月上旬にかけて、夏休み特別展示として展示室全室を使用した収蔵品展を開催した。また、12月から開催予定の「アートのなぞなぞ—高橋コレクション展」をはじめ、外部のコレクションと当館の収蔵品を組み合わせる出品する展覧会を今後も企画する。</p> <p>寄贈者名については、企画展示室入口に一覧を掲示している。また作品キャプションに寄贈者名を掲載している。（ただし、掲載辞退者を除く。）</p>
B	<p>大学との連携においては、人文、芸術系の学部だけでなく、理系の学部も対象とする。広くリベラルアーツ教育を担うため、県内大学のネットワークと連携して、県の貴重なコレクションや学芸員の人的財産を有効活用する。</p> <p>大学への誘客活動においては、個々の教員に対しても、授業やゼミで美術館を訪れるよう働きかけをするべきである。</p>	<p>学芸員を大学に派遣し、講義を担当する機会を充実させていく。その他、静岡県立大学経営情報学部（渡邊研究室）と連携した、スマートフォンを使用した「ロダン館アプリ」の企画・開発を行うなど、様々な試みを実施していく。</p> <p>静岡大学と連携し、美術館内において生徒が作品解説の実習を行う授業を実施しており、同様の取組を今後も充実させていく。また、大学へ学芸員が講義のために出向く機会も活用しつつ、教育活動において美術館が更に活用されるよう大学側へ働きかけていく。</p>

C	Facebook や Twitter に加え、Instagram 等の SNS も用いて展示内容についての情報発信を図るべきである。また、来館者によって美術館についての情報が拡散されるよう館内に写真撮影可能な場所を設けるべきである。	平成 29 年 2 月開催の「蜷川実花」展から Instagram による公式情報の発信を開始し、現在も継続中である。 また、同企画展では展示室の一部を写真撮影可能とし、2,000 件を超える展示風景の画像が来館者により Instagram 上に投稿された
	美術館事業だけではなく、周囲の環境を含めた魅力を発信すべきである。	平成 28 年度末にリニューアルした公式ホームページにおいて、画像とともに周辺環境の情報を積極的に発信している。 なお、美術館周辺の草木の紹介やハイキングコースを紹介した「周辺散策マップ」についても既に作成し、継続して配布している。
D	レストランにおいては、リピーターの確保と女性客への魅力訴求が必要である。	レストラン、カフェについては平成 29 年度から委託業者が変わり、メニューやサービス内容についても大幅に刷新された。今後とも業者と連携をしながら、魅力拡大に取り組んでいく。
	最新の空調、照明機器は従来製品に比べ格段に電気使用量が下がっており、コストの削減につながるため、更新を積極的に行うべきである。	現在使用している機器の経年化の状況を十分に把握した上で、計画的に更新を実施する。

〔2〕 その他の意見に対する対応状況

意見	対応状況
予算編成における指標として来館者数を用いる場合、前年度のみ来館者数ではなく、3年から5年程度の間の平均値を用いるべきである。	予算については前年度の数値を求められているが、今後、自己評価においては、3年から5年程度の平均値を用いていくことを検討したい。

<p>広報活動にあたっては、より効果的な広報が行えるよう専門的な職員の配置や、県庁の広報担当課との連携を行うことが必要である。</p>	<p>SNS等を活用した広報実務にあたる人材を、今後配置できるよう検討を進める。また、「広報アドバイザー」制度を活用し、県が委嘱している広報の専門家に対し必要に応じて助言を求めていく。</p>
<p>館のマネジメントは、組織的に「経営」として行うことが重要である。そのためには、アートマネジメント等の専門性を持つ人材の確保が必要である。</p>	<p>美術館の効率的な運営を進めるうえで、経営面での専門性をもった人材の確保は必要であり、マネジメントを専門的に行う人材の配置について、長期的な展望に立ち検討を行っていく。</p>
<p>地域社会や静岡県内における美術館の今後のあり方を早急に検討し、増改築等の計画を作るべきである。</p>	<p>隣接する県立中央図書館の移転計画も考慮しつつ、今後の美術館の機能強化について、県庁各課と美術館との間で協働し検討を進める。</p>

平成 28 年度 設置者の取組状況

(1) 美術館実施事業への協力

- ・美術館企画展等の広報において、報道機関への情報提供や他県への周知等を行い協力した。
- ・県立美術館、グランシップ、SPAC の三館が連携して、今後の企画事業等を共同で実施するよう、推進役として三館の協議の場を設けた。

(2) 美術館の企画運営会議への参画及び支援

- ・月 1 回開催されている美術館企画運営会議に文化政策課長が出席して情報共有を図った。
- ・美術館の広報委員会に担当職員が出席し、「県民だより」等広報媒体の情報共有を図った。
- ・また、館内の施設設備担当者による打合せにおいても、本庁の技術専門職員が出席し、工事の執行管理等における助言等を行った。

(3) 電気、機械設備の更新

経年化に伴い不具合が生じている電気、機械設備の更新を計画的に実施している。28 年度においては、エレベータへの地震感知器設置工事や、分電盤内の機器修繕工事を行った。